



取扱説明書

ライティングプロジェクター

EV-100

EV-105

マニュアル中の表示の意味

• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  「用語解説」 p.163
【表記名】	リモコンのボタン名称を示しています。 例：【Esc】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例： [画質]から[明るさ]を選びます。 [画質] - [明るさ]

お使いになる前に必ず以下をお読みください。

☛ 『安全にお使いいただくために』

設置に関する警告・注意

本機を天井や壁に取り付けるには同梱の金具を使います。

配線ダクトへ取り付けたり床や卓上に置いたりするには、オプションの金具が必要です。

☛ 「オプション一覧」 p.155

警告

- 屋外や風呂、シャワー室など、水や雨のかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 天井や壁への取り付け工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下・転倒によりけがや事故の原因となります。必ず専門業者にご依頼ください。
- プロジェクターの設置金具固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
設置金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- ボールジョイントに、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着すると映像投写部を保持する力が低下し、事故やけがの原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能により、プロジェクターの電源がオンになり、火災の原因となることがあります。

警告

- 映像投写部の向きを調整するときは、投写光が本機の電源部などにあたらないようにしてください。投写光があたると本機が高温になり、けがや火災の原因となります。
- 電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の原因となります。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。指定外の電源電圧を使うと、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。
 - たこ足配線はしない。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。必ず、プラグ本体を持って抜く。
- 破損した電源コードは、使用しないでください。火災・感電の原因となります。取り扱いの際は、次の点を守ってください。
 - 電源コードを加工しない。
 - 電源コードの上に重いものを載せない。
 - 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 - 電熱器の近くに配線しない。

注意

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。転倒、落下によるけがの原因となることがあります。床などに置いて使う場合は、オプションの床置き金具を取り付けてください。

注意

- 振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。
- 高圧電線や磁気が発生するものの近くには設置しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 温度が高すぎる場所や、低すぎる場所では使用・保管しないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

下記の動作温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。

- 動作温度範囲
+5~+40℃ (結露しないこと)
- 保存温度範囲
-10~+60℃ (結露しないこと)

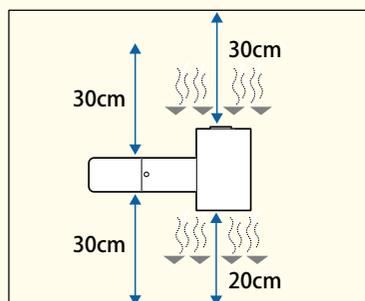
- 標高1,500mを超える場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。

☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.99

- 吸気口と排気口をふさがないように、本機の周囲に以下のスペースを確保してください。

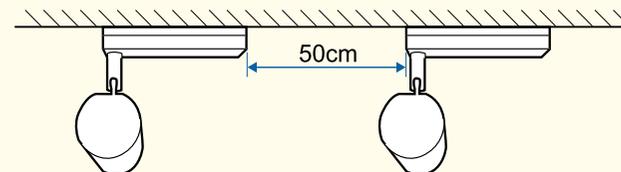
棚や箱の中などの空気が循環しない場所には設置しないでください。

- 天井や壁に設置する場合は、エアコンの送风口から離して設置してください。



注意

- 湿気やホコリの多い場所、タバコなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- 本機を並べてお使いになるときは、プロジェクターとプロジェクターの間を50cm以上あけてください。また、排気口から出た熱が吸気口に入り込まないようにしてください。



- お買い上げ時は、電源部と映像投写部をつなぐケーブルに保護用のビニールが巻いてあります。使い始める前にビニールを取り外してください。



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。フォーカス/ズームの設定は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行ってください。

使用に関する警告・注意

 **警告**

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 投写中はレンズをのぞかないでください。強い光が視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。本機から離れた場所からリモコンで電源を入れる場合は、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 投写中に、本などで投写光をさえぎらないでください。
投写光をさえぎると投写光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因となります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を中断する場合はAVミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- 本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。内部に電圧の高い部分があり、火災・感電・事故の原因となります。
- 本機に異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。

 『お問い合わせ先』

 **注意**

投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

注意

- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- 保管の際には電池をリモコンから取り出しておいてください。長期間電池を入れたままにしておくと、液もれなどを起こす原因になります。



● 液晶パネルについて

- 液晶パネルは、画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありません。
- 使用の有無に関わらず、高出力のレーザー光が投写レンズ面に入ると、液晶パネルの故障の原因となります。
- 長時間同じ映像を投写すると、液晶パネルに焼き付きが発生する場合があります。[リフレッシュモード]で焼き付きを軽減してください。
 「リフレッシュモード」[p.140](#)

● 光源について

本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

- 使用環境によって、光源の出力が低下します。温度が高くなるほど、出力の低下が大きくなります。
- 使用時間の経過にともない、光源の出力が低下します。使用時間と出力低下の関係は[明るさ設定]で変更できます。
 「明るさを設定する」[p.53](#)



● 光源キャリブレーションについて

- 使用時間が100時間を経過するたびに、電源オフと同時に自動で光源キャリブレーションが開始します。ただし、24時間以上連続して使用する場合や定期的にダイレクトシャットダウンを使用する場合は、自動で開始されません。[今すぐ実行]で実行、またはスケジュール機能で[光源キャリブレーション]を設定し、定期的に光源の補正をしてください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション] p.113
 - ☛ [イベントスケジュールを設定する] p.71
- 光源キャリブレーションを自動で開始したくない場合は、[定期的に実行]を[オフ]に設定してください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション]-[定期的に実行] p.113
- 光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスが補正されます。

レーザーに関する警告・注意

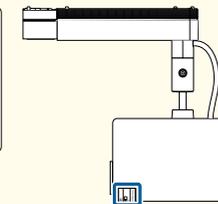
警告

- 本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



側面



- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 投写中は、投写レンズから放射される光をのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)

注意

- 本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。
- 本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。

輸送に関する注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

注意

- 近くへ移動する場合は、本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- 輸送する場合
上記の注意点に加え、以下のように準備を行い、運送業者へご依頼ください。
 - 本機にSDカードが挿入されていないことを確認します。
 - 輸送中に本機が動かないよう、ボールジョイント固定ネジを最後まで締めます。
 - 本機に衝撃が伝わらないよう、本機の周囲を保護します。
 - 堅固な箱に入れ、精密機器であることを表記します。

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 13

各部の名称と働き 15

前面	15
背面	16
インターフェイス	17
上面	18
リモコン	18

準備

プロジェクターの設置 21

設置の種類	21
ボールジョイントで投写角度を調整する	22

各種機器との接続 24

リモコンを準備する 26

リモコンの電池を入れる	26
リモコンの操作可能範囲	26

プロジェクターの初期設定 28

映像の向き（設置モード）の設定	28
リモコンで設置モードを変更する	28
メニューから設置モードを変更する	28
メニューの言語を選択する	29
日時の設定	30
その他の設定	31
基本動作に関する設定	31
表示に関する設定	32

基本的な使い方

プロジェクターの電源を入れる/切る 34

プロジェクターの電源を入れる	34
プロジェクターの電源を切る	35

リモコンで目的の映像に切り替える 36

スポットライトを使用する 37

プレイリストを再生する 38

SDカードのプレイリストを再生する	38
お気に入りのプレイリストを再生する	38
プレイリストを選択して再生する	39

モバイルデバイスやコンピューターでプロジェクターを操作する 40

Epson iProjection (iOS/Android)で操作する	40
Epson Web Control (Webブラウザ)で操作する	40
各画面の見方	42
リモコン画面	42
プレイリスト画面	43
SDカード画面	43
タイムテーブル画面	44
OSDコントロールパッド画面 (Epson Web Controlのみ)	44

エフェクトを使用する 45

エフェクトの形を設定する	45
エフェクトの色を調整する	46
エフェクトの明度を調整する	47

投写映像を調整する 48

テストパターンを表示する	48
映像のサイズを調整する	49
ピントのズレを補正する	49
映像のゆがみを補正する	49
タテヨコ補正	50

Quick Corner	51
映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）	52
明るさを設定する	53
投写映像の光量を設定する	54
投写映像のアスペクト比を切り替える	54
投写映像のガンマ値を調整する	55
音量を調整する	57
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）	58
便利な機能	
複数台で一つの映像を投写する（マルチプロジェクション） .	60
調整手順	60
事前準備	60
投写映像を調整する	60
プロジェクターのID設定	61
プロジェクターIDを設定する	61
映像のつなぎ目を調整する（エッジブレンディング）	62
映像を切り出して表示する	64
複数台の投写映像を調整する	65
色むらを調整する（ユニフォーミティー）	65
色合いを調整する（カラーマッチング）	67
複数台で同じ映像を同時に再生する（同期再生）	69
同期再生を開始する	69
ユーザーロゴの登録	70
イベントスケジュールを設定する	71
利用者を管理する（パスワードプロテクト）	73
パスワードプロテクトの種類	73
パスワードを設定する	73
パスワードプロテクトの種類を設定する	74
パスワードを入力する	74

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

有線LANでの映像投写	77
プロジェクターの有線LANを設定する	77
無線LANでの映像投写	80
プロジェクターの無線LANを設定する	81
Windowsで無線LANを設定する	83
Macで無線LANを設定する	83
無線LANのセキュリティーを設定する	84
サポートするクライアント・CA証明書の一覧	85
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する	86
セキュアHTTP	88
メニューからWebサーバー証明書を設定する	88
サポートするWebサーバー証明書の一覧	89
Webブラウザで証明書を設定する	89
環境設定メニュー	
環境設定メニューの操作	92
機能一覧	94
環境設定メニュー一覧	94
ネットワークメニュー	95
画質メニュー	96
映像メニュー	97
設定メニュー	98
拡張設定メニュー	99
ネットワークメニュー	102
ネットワークメニュー操作上のご注意	103
ソフトキーボードの操作	103
基本設定メニュー	104
無線LANメニュー	105
有線LANメニュー	108
通知メニュー	109

その他メニュー	111
初期化メニュー	112
情報メニュー（表示のみ）	112
初期化メニュー	113
一括設定機能	115
SDカードを使って設定する	115
設定値をSDカードに保存する	115
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する	117
設定がうまくいかないときは	119

困ったときに

インジケータの見方	121
故障かなと思ったら	126
映像に関するトラブル	127
映像が表示されない	127
動画が表示されない	127
プレイリストが再生されない	128
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される	128
映像信号が入力されていません。と表示される	128
ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	129
ノイズが入る、乱れる	129
映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない、反転している	129
色合いが違う	130
暗い	131
液晶パネルの焼き付きがある	131
投写開始時のトラブル	131
電源が入らない	131
ネットワークに関するトラブル	132
無線LAN認証できない	132
Webブラウザを使って設定を変更できない	132
Webブラウザを使ってSDカードを操作できない（プレイリストの保存、削除、素材のアップロード）	132
プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない	133

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	133
その他のトラブル	133
音が出ない、小さすぎる	133
リモコンで操作できない	134
メッセージやメニューの言語を変更したい	134
パスワードが入力できない	135
時刻を保持する電池残量が低下しています。と表示される	135
詳細なログやエラーメッセージが表示されない	135
Art-Netでの制御がうまくできない	135

Event IDについて	136
---------------------------	------------

メンテナンス

各部の掃除	139
本機の掃除	139
レンズの掃除	139
吸気口および排気口の掃除	139
映像のメンテナンス	140
ユニフォーミティー	140
リフレッシュモード	140
光源キャリブレーション	141

付録

監視と制御	143
Epson Projector Managementについて	143
メール通知機能で異常を通知する	143
異常通知メールの見方	143
SNMPを使って管理する	143
ESC/VP21コマンド	144
コマンドリスト	144
PJLinkについて	144
Crestron Connected®について	145
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する	146

Art-Netについて	150
チャンネル定義	150
Web APIについて	154
オプション一覧	155
スクリーンサイズと投写距離	156
対応解像度一覧	158
仕様一覧	160
本機仕様	160
外形寸法図	162
用語解説	163
一般のご注意	164
商標と著作権について	164
安全規格対応シンボルマークと説明	166
索引	168

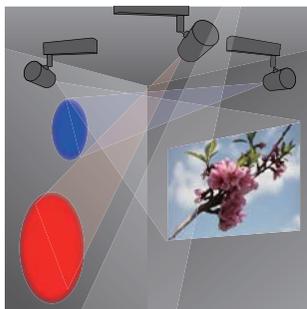


はじめに

ここでは、各部の名称について説明しています。

空間になじみやすいスポットライト型プロジェクター

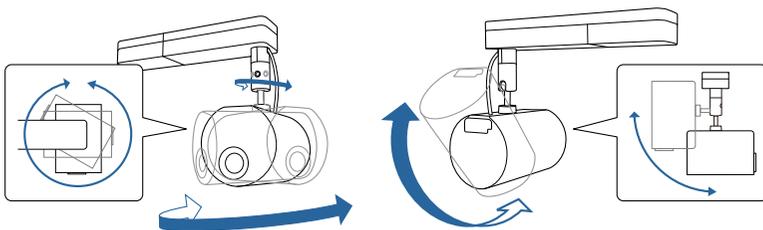
スポットライトのような外観で、店舗やイベント会場でも目立たずにお使いいただけます。



映像の位置を自由に調整

ボールジョイントを使って本機の角度を調整できるため、さまざまな方向に投写できます。

☛「ボールジョイントで投写角度を調整する」p.22



映像の色や形を変えて多彩な演出

エフェクト機能を使うと、映像の形状や色を変えて投写できます。

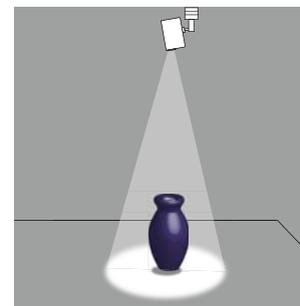
☛「エフェクトを使用する」p.45



商品を魅力的に演出するスポットライト

映像を投写する以外に、スポットライトとしてもお使いいただけます。

☛「スポットライトを使用する」p.37



プレイリストを作って投写

Epson Projector Content Managerを使うと、プレイリストを作成できます。SDカードにプレイリストを保存し、リモコンから再生できます。



プレイリストはEpson iProjectionまたはWebブラウザからも作成または再生できます。

詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

らくらくワイヤレス投写

Epson iProjectionを使うと、コンピューターやモバイルデバイスをWi-Fiでプロジェクターに接続し、映像を投写できます。

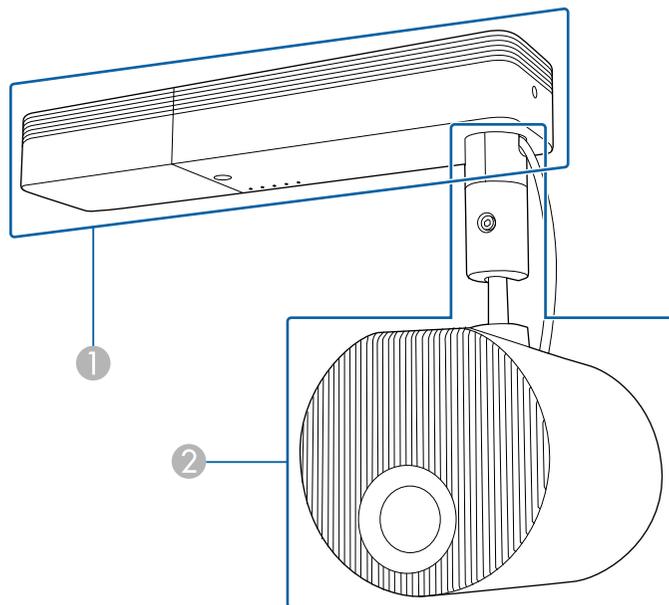
コンピューターの場合は、『Epson iProjection操作ガイド(Windows/Mac)』をご覧ください。

モバイルデバイスの場合は、以下をご覧ください。

☛「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」[p.86](#)

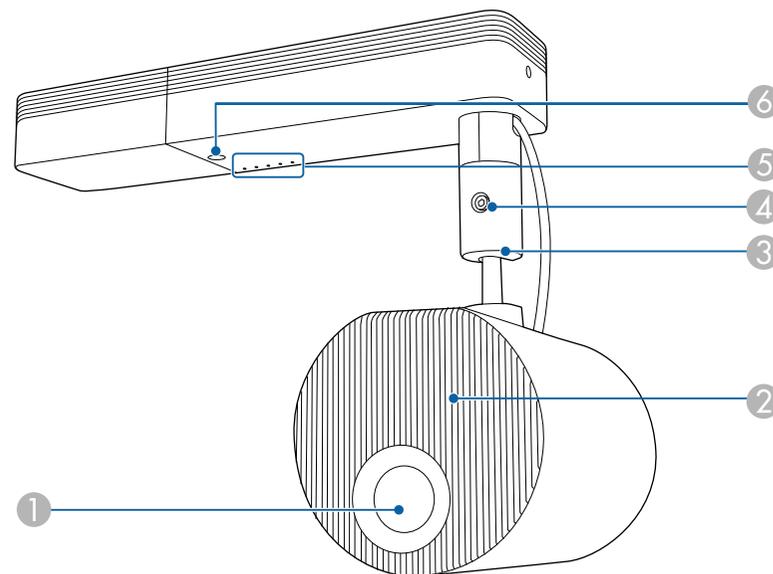


本機の各部名称とその働きについて説明します。



- ① 電源部
- ② 映像投写部

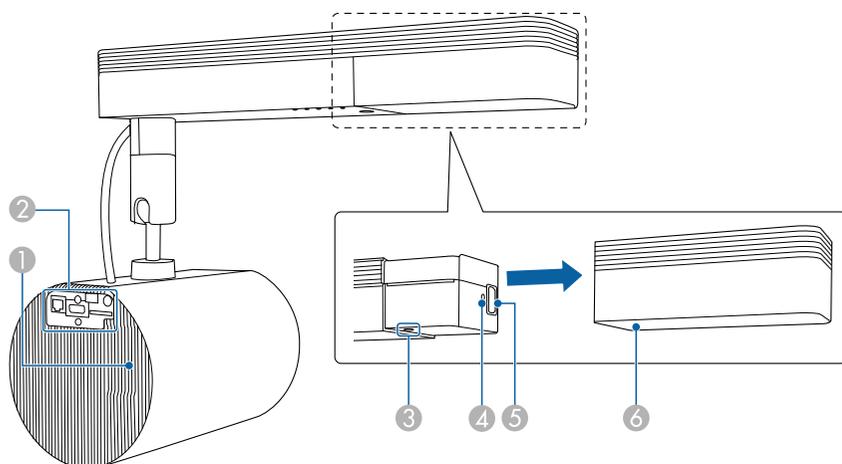
前面



名称	働き
① 投写レンズ	ここから映像を投写します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 警告 投写中はレンズをのぞかないでください。強い光で目を痛めるなどの原因となります。 </div>
② 吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 🖱️「吸気口および排気口の掃除」p.139
③ ボールジョイント	投写角度を変えるときに操作します。 🖱️「ボールジョイントで投写角度を調整する」p.22
④ ボールジョイント固定ネジ	ボールジョイントを固定するネジです。

名称	働き
⑤ インジケーター	本機の状態を表示します。 ☛「インジケーターの見方」p.121
⑥ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

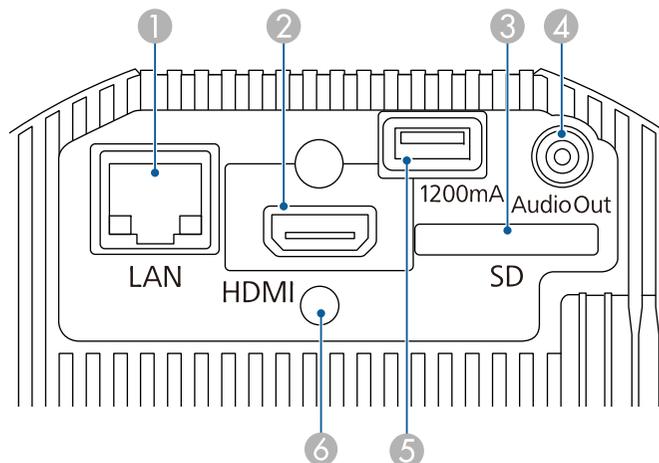
背面



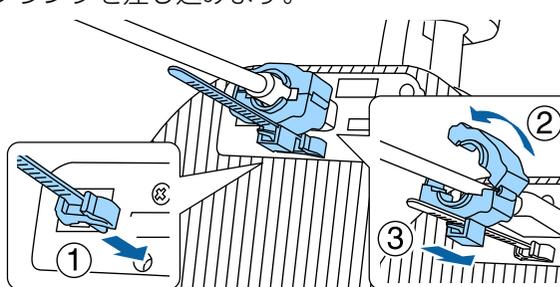
名称	働き
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p>⚠ 注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div> <p>☛「吸気口および排気口の掃除」p.139</p>

名称	働き
② インターフェイス	☛「インターフェイス」p.17
③ 【⏻】ボタン	本機の電源をオン/オフにします。
④ ケーブルホルダー	電源コードが重さで抜けないように、ケーブルクランプを差し込みます。
⑤ 電源端子	電源コードを接続します。
⑥ 電源アダプターカバー	電源端子と電源ボタンのカバーです。

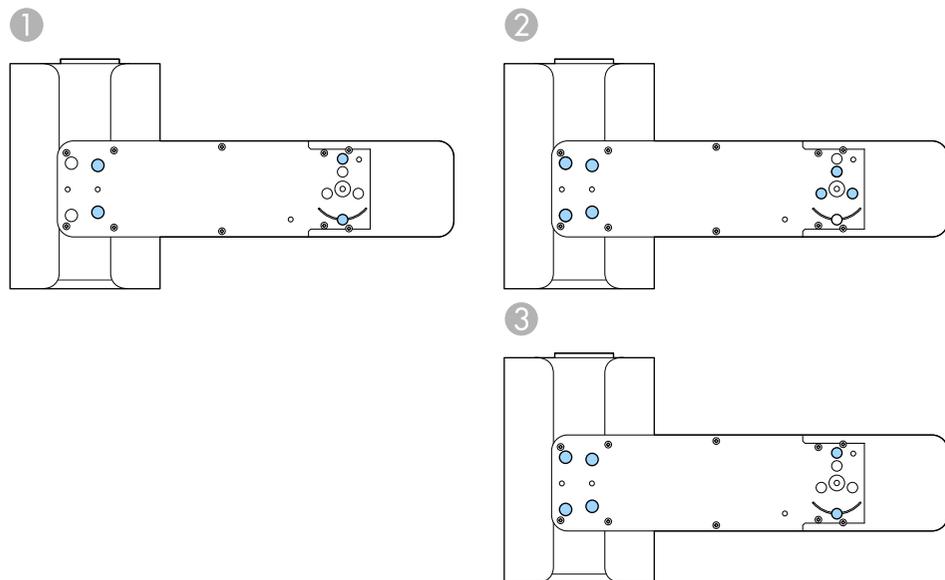
インターフェイス



名称	働き
① LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。 Art-Netに対応しています。 ☞「Art-Netについて」p.150
② HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータの信号を入力します。
③ SDカードスロット	SDカードを挿入します。
④ Audio Out端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。
⑤ USB-A端子(給電専用/1200mA)	USBケーブルを接続して、給電します。データ転送には使用できません。

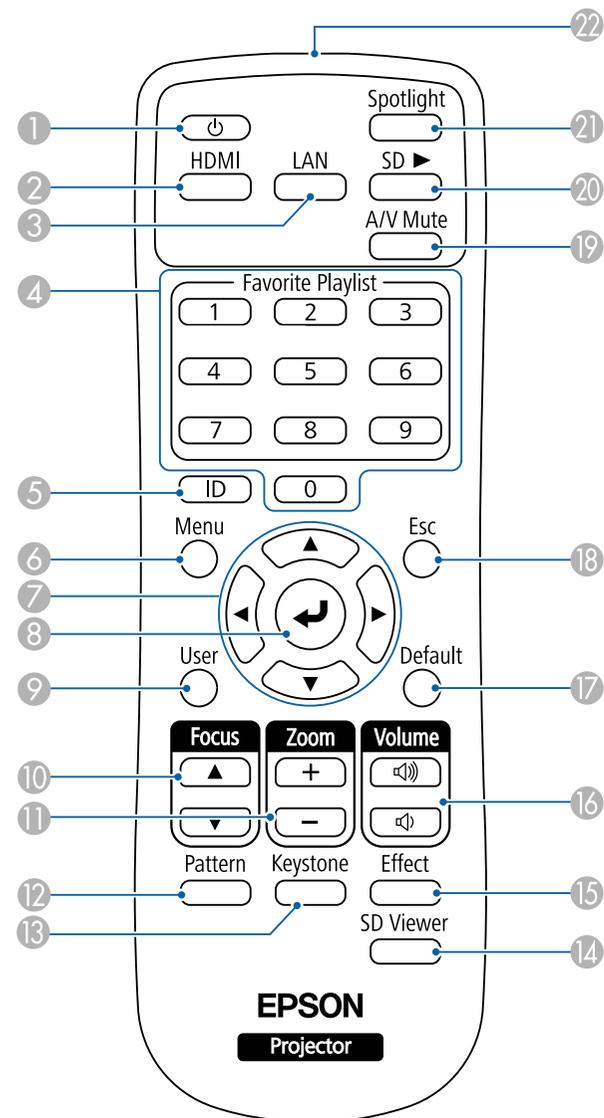
名称	働き
⑥ ケーブルホルダー	HDMIケーブルが重さで抜けないように、ケーブルクランプを差し込みます。 

上面



名称	働き
① 直付け金具固定部(4箇所)	天井や壁に設置して使うときに、直付け金具を取り付けます。 ☛「プロジェクターの設置」 p.21
② 配線ダクト取付金具固定部(7箇所)	配線ダクトに設置して使うときに、オプションの配線ダクト取付金具を取り付けます。 ☛「プロジェクターの設置」 p.21 ☛「オプション一覧」 p.155
③ 床置き金具固定部(6箇所)	床に置いて使うときに、オプションの床置き金具を取り付けます。 ☛「プロジェクターの設置」 p.21 ☛「オプション一覧」 p.155

リモコン



名称	働き
① 【 ⏻ 】ボタン	本機の電源をオン/オフにします。
② 【 HDMI 】ボタン	HDMI入力端子からの映像に切り替えます。
③ 【 LAN 】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
④ テンキー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りのプレイリストを再生します(1~9のみ)。 ☛「お気に入りのプレイリストを再生する」 p.38 パスワードを入力します。 ☛「利用者を管理する(パスワードプロテクト)」 p.73
⑤ 【 ID 】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながら数字のボタンを押します。 ☛「プロジェクターのID設定」 p.61
⑥ 【 Menu 】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.92
⑦ 【 ▲ 】【 ▼ 】【 ◀ 】【 ▶ 】 ボタン	環境設定メニューを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.92
⑧ 【 ↵ 】ボタン	環境設定メニューを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.92
⑨ 【 User 】ボタン	環境設定メニューの[ユーザーボタン]で設定した機能を実行します。 ☛「設定メニュー」 p.98
⑩ 【 Focus 】ボタン	フォーカスを調整するときに押します。 ☛「ピントのズレを補正する」 p.49
⑪ 【 Zoom 】ボタン	ズーム調整をするときに押します。 ☛「映像のサイズを調整する」 p.49
⑫ 【 Pattern 】ボタン	テストパターンを表示します。 ☛「テストパターンを表示する」 p.48

名称	働き
⑬ 【 Keystone 】ボタン	映像のゆがみを補正します。 ☛「映像のゆがみを補正する」 p.49
⑭ 【 SD Viewer 】ボタン	プレイリストの一覧を表示します。 ☛「プレイリストを再生する」 p.38
⑮ 【 Effect 】ボタン	エフェクト機能を使い、映像の形状や色を変えます。 ☛「エフェクトを使用する」 p.45
⑯ 【 Volume 】ボタン 【 🔊 】【 🔇 】	<p>【🔊] 音量を上げます。</p> <p>【🔇] 音量を下げます。</p> <p>☛「音量を調整する」 p.57</p>
⑰ 【 Default 】ボタン	環境設定メニューのガイドに[Default]:リセットと表示されているときに有効です。調整中の設定値を初期値に戻します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.92
⑱ 【 Esc 】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中の機能を終了します。 環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.92
⑲ 【 AV Mute 】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す(AVミュート)」 p.58
⑳ 【 SD ▶ 】ボタン	SDカード内のプレイリストを再生します。 ☛「プレイリストを再生する」 p.38
㉑ 【 Spotlight 】ボタン	スポットライトに切り替えます。 ☛「スポットライトを使用する」 p.37
㉒ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。



準備

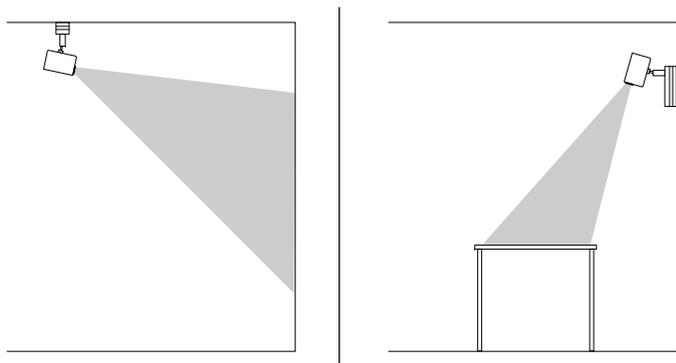
ここでは、プロジェクターの準備方法を説明します。

設置の種類

本機は以下の方法で設置できます。

天井または壁への設置

- 天井または壁に設置する場合、同梱の直付け金具を使います。
- 配線ダクトに取り付ける場合、オプションの配線ダクト取付金具が必要です。
- 天井または壁に設置する場合、水平な天井または垂直な壁に設置することを推奨します。
詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

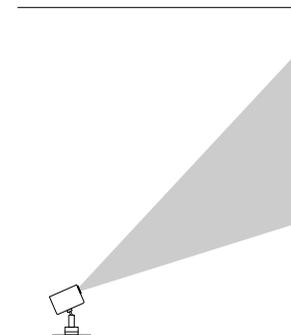


床や机への設置

- 床や机に置く場合、オプションの床置き金具が必要です。
- 同梱の直付け金具を使って床や机に設置しないでください。



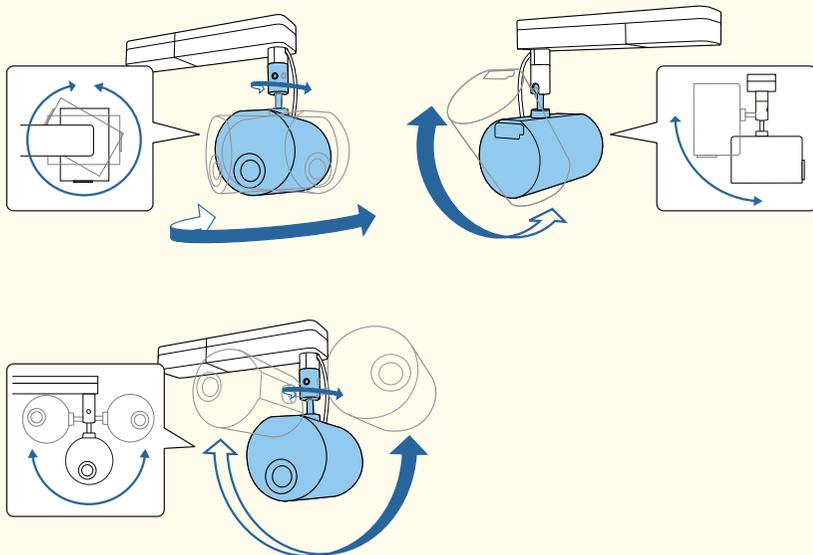
水平で安定した場所に置いてください。



設置する場所や方法に合わせて、[拡張設定]メニューで[設置モード]を選択します。



- [設置モード]の初期設定は[フロント・天吊り]です。
- リモコンの【A/V Mute】ボタンを約5秒間押し続けると、[設置モード]を次のように切り替えることができます。
[フロント・天吊り]-[リア]-[リア・天吊り]-[フロント]
- 投写距離は推奨範囲内で設置してください。
☛ 「スクリーンサイズと投写距離」 p.156
- ボールジョイントを水平方向に360°、垂直方向に90°回転できます。また、横に90°傾けて映像を縦向きにできます。



☛ 「映像の向き（設置モード）の設定」 p.28

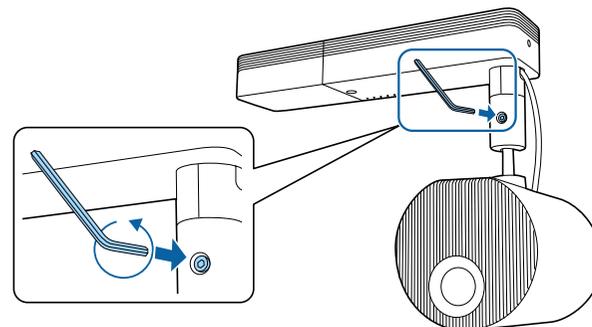
ボールジョイントで投写角度を調整する

投写角度を変えたいときは、ボールジョイントを使って調整します。

1 リモコンの【】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れます。

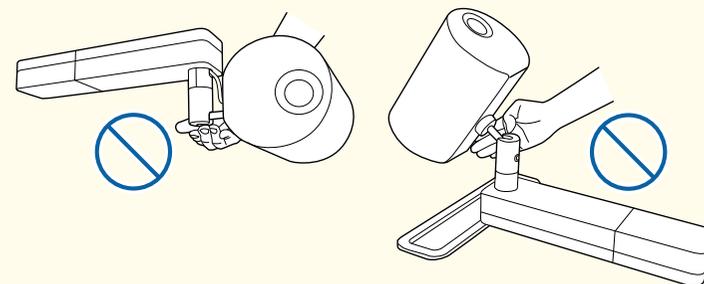
☛ 「プロジェクターの電源を入れる」 p.34

2 ボールジョイント固定ネジを六角レンチで緩めます。



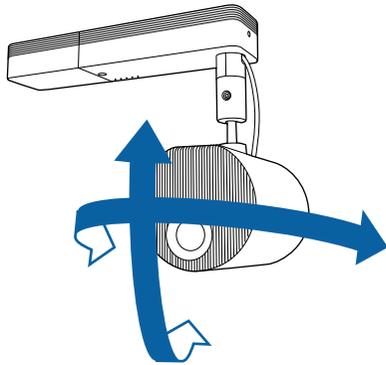
注意

- 映像投写部を傾けて設置している状態でネジをゆるめると、映像投写部が重みで勢いよく動く可能性があります。ネジをゆるめるときは、本機の映像投写部が勢いよく動かないように支えてください。



- ネジをゆるめるときは、ボールジョイントを掴まないでください。指を挟むおそれがあります。

3 投写角度を調整します。



注意

- 本機に接続されたケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。
- ボールジョイントにケーブルを巻きつけしないでください。ケーブルが破損するおそれがあります。

4 調整が終了したら、ボールジョイント固定ネジを締め直します。

注意

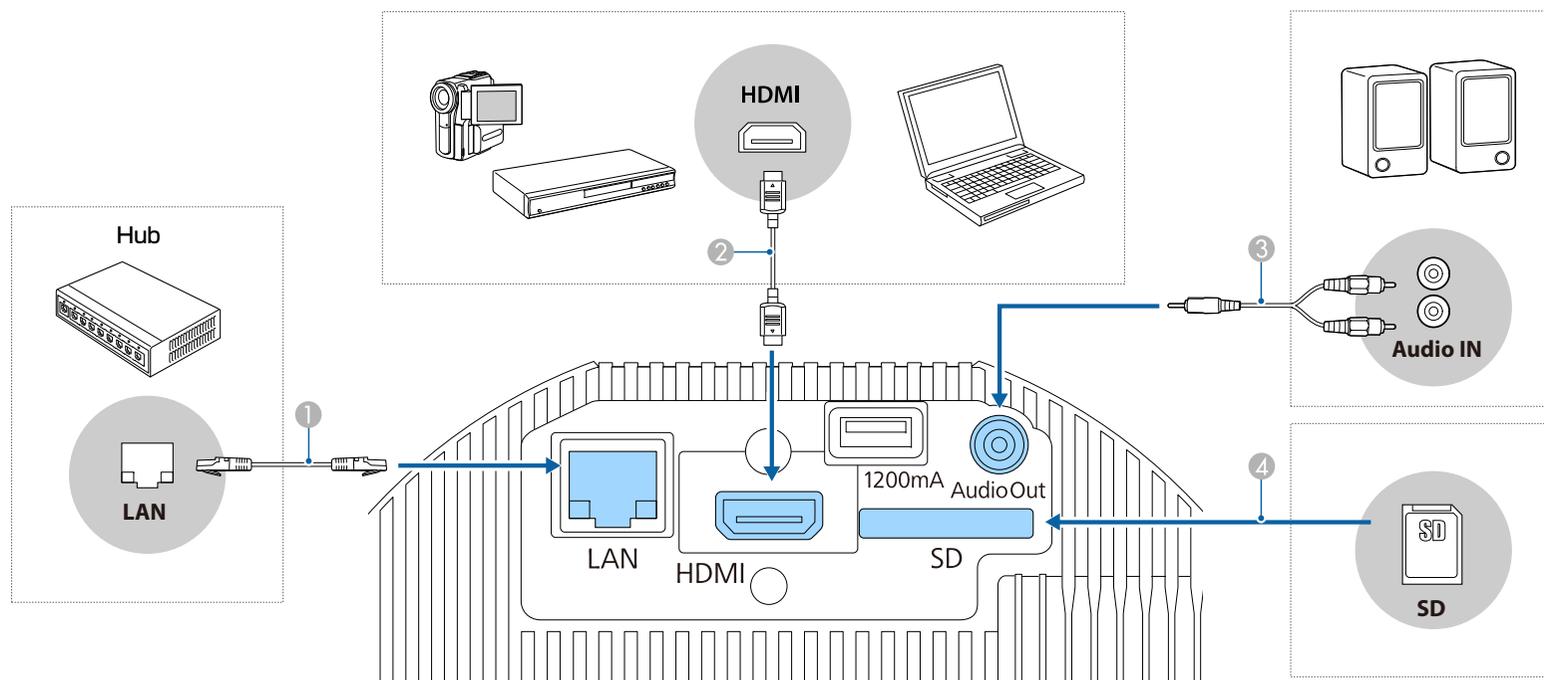
- ボールジョイントに指を挟まないようにご注意ください。
- ボールジョイント固定ネジを締めたら、無理にボールジョイントを動かさないでください。

注意

本機が動かないように映像投写部の底面を支え、同梱の六角レンチ(対辺サイズ5.0mm)で固く締めてください。



- 投写位置を変えたら、サイズやピントを調整します。
 - ☛ 「映像のサイズを調整する」 [p.49](#)
 - ☛ 「ピントのズレを補正する」 [p.49](#)
- テストパターンを表示すると、投写位置を合わせやすくなります。
 - ☛ 「テストパターンを表示する」 [p.48](#)



① 有線LANに接続するとき

市販の10BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。



誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリ5以上のシールド付きをお使いください。

② コンピューターやビデオ機器と接続するとき

コンピューターやビデオ機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターやビデオ機器の音声も転送できます。

③ 外部スピーカーと接続するとき

市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。

注意

ヘッドホンやイヤホンをお機に接続しないでください。過剰な音圧により難聴の原因になることがあります。

4 SDカードを挿入するとき

市販のSDカードを本機のSDカードスロットへ挿入します。



- 最大32GBのSDHCカードClass10以上に対応しています。
- FAT16/FAT32でフォーマットされたSDカードをお使いください。

注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因となります。



接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。

リモコンの電池を入れる

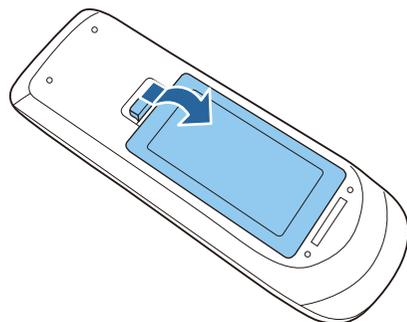
本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

注意

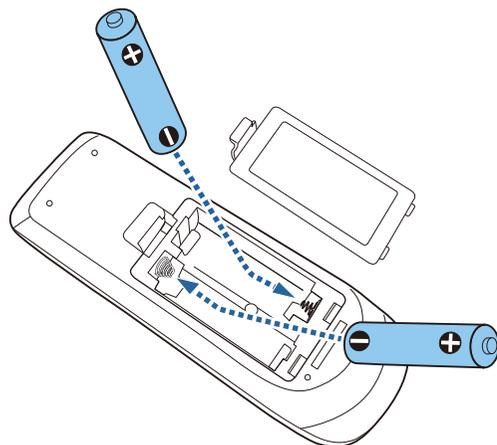
電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛ 『安全にお使いいただくために』

1 電池カバーを外します。



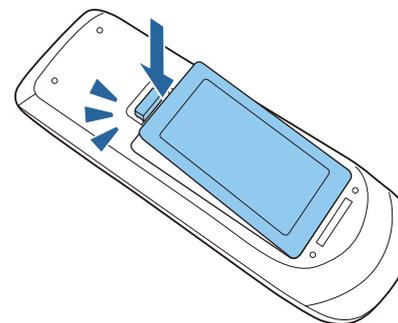
2 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



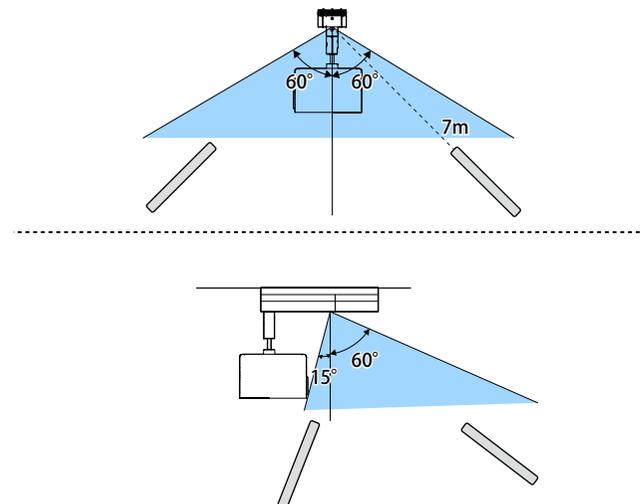
⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。
電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

3 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



リモコンの操作可能範囲





リモコンからの操作信号の受信を制限するときは、[リモコン受光部]で設定します。

☛ [設定] - [リモコン受光部] [p.98](#)

映像の向き(設置モード)の設定

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

天井に設置している場合、各設置モードの映像の向きは以下のとおりです。

フロント・天吊り(初期値)



リア・天吊り



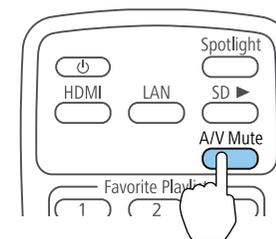
フロント



リモコンで設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
 ● 「プロジェクターの電源を入れる」 p.34
- 2 リモコンの【A/V Mute】ボタンを5秒間押します。



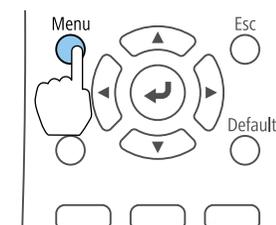
映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/V Mute】ボタンをもう一度5秒間押します。

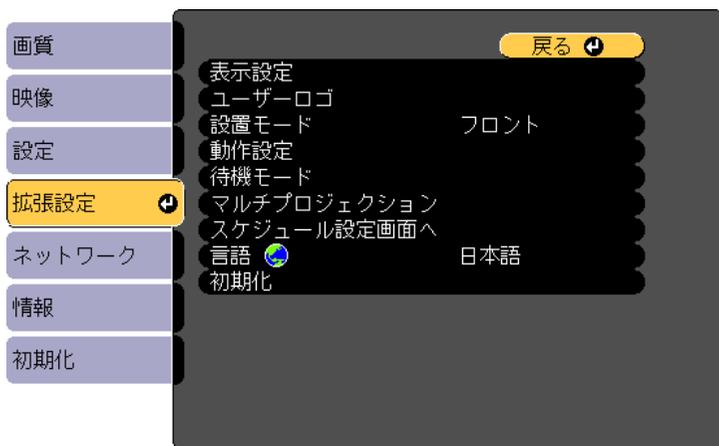
メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
 ● 「プロジェクターの電源を入れる」 p.34
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。

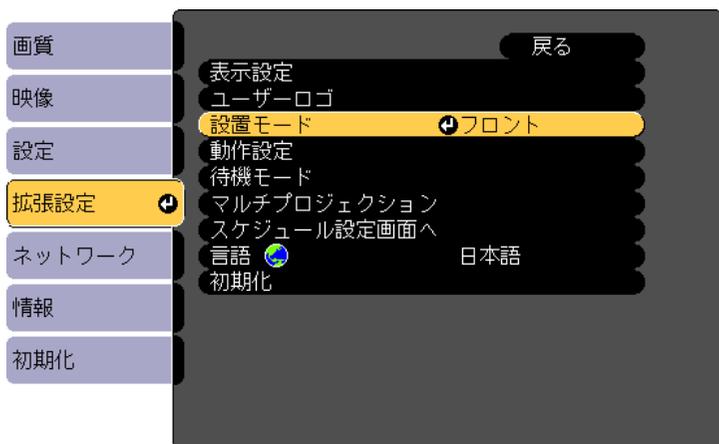


- 3 【拡張設定】を選択し、【↶】ボタンを押します。



[Esc] / [◀]: 戻る [▶]: 選択 [Menu]: 終了

4 [設置モード]を選択し、[↵]ボタンを押します。



[Esc]: 戻る [▶]: 選択 [◻]: 決定 [Menu]: 終了

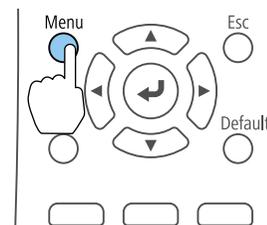
5 お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、[↵]ボタンを押します。

6 [Menu]ボタンまたは[Esc]ボタンを押してメニューを終了します。

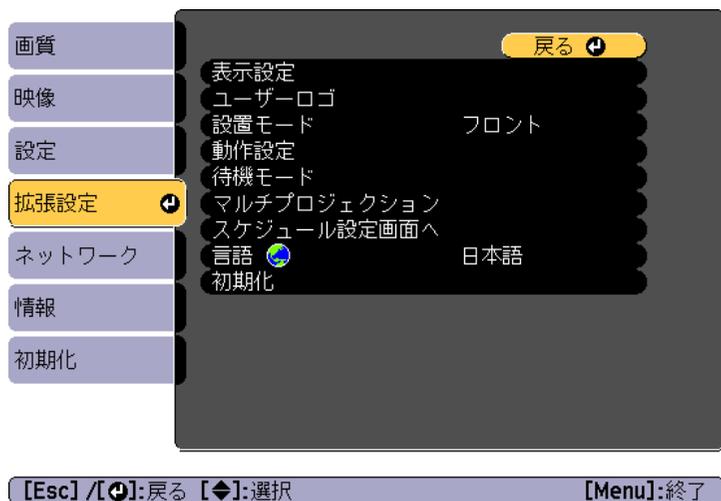
メニューの言語を選択する

メニューおよびメッセージの言語を変更します。

- 1 本機の電源を入れます。
☛ 「プロジェクターの電源を入れる」 p.34
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。



- 3 【拡張設定】を選択し、[↵]ボタンを押します。



- 4 [言語]を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

日時の設定

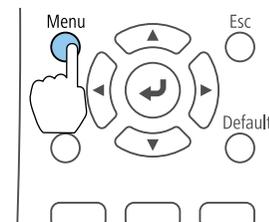
本機に日付と時刻を設定します。設定した日時はスケジュール機能で使
用します。

- ☛ 「イベントスケジュールを設定する」 p.71



- 本機を購入後初めて電源を入れたとき、「時刻を設定しますか？」とメッセージが表示されます。[はい]を選択したときは手順5の画面が表示されます。
- [パスワードプロテクト]の[スケジュール保護]を[オン]にしていると、日付や時刻に関する設定の変更はできません。[スケジュール保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。
☛ 「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 p.73

- 1 プロジェクターの電源を入れます。
☛ 「プロジェクターの電源を入れる/切る」 p.34
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
☛ 「環境設定メニューの操作」 p.92



- 3 [拡張設定]から[動作設定]を選択します。
- 4 [日付&時刻]を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 5 日付や時刻に関する設定をします。
時刻や日付の入力はソフトキーボードで行います。
☛ 「ソフトキーボードの操作」 p.103



日付&時刻

サブメニュー	機能
日付	今日の日付を設定します
時刻	現在の時刻を設定します。
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。 (日本国内：+9:00)
設定	[日付&時刻]の設定内容を反映します。

夏時間設定

サブメニュー	機能
夏時間	夏時間を有効にする([オン])/しない([オフ])を設定します。[夏時間調整(分)]では、標準時間と夏時間の差を調整します。
夏時間開始	夏時間を開始する日時を設定します。
夏時間終了	夏時間を終了する日時を設定します。
設定	[夏時間設定]の設定内容を反映します。

インターネット時刻

サブメニュー	機能
インターネット時刻	[オン]に設定すると、インターネット時刻サーバーへ接続し、時刻を自動的に更新します。

サブメニュー	機能
インターネット時刻サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。
設定	[インターネット時刻]の設定内容を反映します。



設定を変更したときは、必ず[設定]を選択し、【←】ボタンを押してください。

6 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

その他の設定

基本動作に関する設定

目的	設定方法
主電源のオン/オフまたはプロジェクターの電源プラグの抜き差しによって、投写を開始/終了したい。	[ダイレクトパワーオン]を[オン]に設定します。(初期値：[オフ]) ● [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] p.99 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。
本機が電源オフのときも、通信コマンドで本機を操作したい。	[待機モード]を[通信オン]に設定します。(初期値：[通信オフ]) ● [拡張設定] - [待機モード] - [待機モード] p.99
【0】ボタンを1回押すだけで、電源を切りたい。	[スタンバイ確認]を[オフ]に設定します。(初期値：[オン]) ● [拡張設定] - [表示設定] - [スタンバイ確認] p.99

表示に関する設定

目的	設定方法
<p>入力ソースを切り替えたときのメッセージを投写画面に表示させないようにしたい。</p>	<p>[メッセージ表示]を[オフ]に設定します。(初期値：[オン]) ● [拡張設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.99 警告状態はインジケータの表示で確認できます。 ● 「インジケータの見方」 p.121 操作や動作に関するダイアログや、レーザー警告、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能の終了、プロジェクターIDは表示されます。</p>
<p>本機の電源を入れたときにユーザーロゴを表示したい。</p>	<p>[スタートアップスクリーン]：本機の電源を入れたときに、ユーザーロゴを表示する([オン])、表示しない([オフ])を設定します。(初期値：[オン]) ● [拡張設定] - [表示設定] - [スタートアップスクリーン] p.99</p>



基本的な使い方

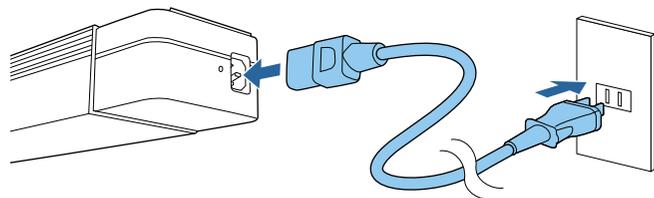
ここでは、映像の投写方法と補正方法について説明しています。

プロジェクターの電源を入れる

プロジェクターの電源を入れる前に、使用するコンピューターまたはビデオ機器を本機に接続してください。

☛ 「各種機器との接続」 p.24

1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



本機のOn/Standbyインジケータが青色に点灯します(スタンバイ状態)。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。



配線ダクトに取り付けている場合、配線ダクトの電源をオンにすると、本機がスタンバイ状態になります。

2 本機の【】ボタンまたはリモコンの【】ボタンを押して、本機の電源を入れます。

Statusインジケータが青色に点滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、Statusインジケータが青色に点灯します。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- リモコンで、投写したい入力ソースに対応するボタンを押します。

警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 投写中に本などで投写光をさえぎらないでください。投写光をさえぎると投写光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因となります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因となることがあります。投写を中断する場合はA/Vミュート機能を使うか本機の電源を切ってください。



- [拡張設定]メニューの[ダイレクトパワーオン]が[オン]に設定されていると、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
 - ☛ [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] p.99
- [オートパワーオン]で選択した入力ソースからの映像信号が入力されると、自動で電源が入ります。
 - ☛ [拡張設定] - [動作設定] - [オートパワーオン] p.99

プロジェクターの電源を切る



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、環境設定メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応しているため、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。
- 使用時間が100時間を経過するたびに、電源オフと同時に自動で光源キャリブレーションが開始します。ただし、24時間以上連続して使用する場合や定期的にダイレクトシャットダウンを使用する場合は、自動で開始されません。[今すぐ実行]で実行、またはスケジュール機能で[光源キャリブレーション]を設定し、定期的に光源の補正をしてください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション] p.113
 - ☛ 「イベントスケジュールを設定する」 p.71
- 光源キャリブレーションを自動で開始したくない場合は、[定期的に実行]を[オフ]に設定してください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション]-[定期的に実行] p.113
- [光源キャリブレーション]を実施する20分前に電源を入れてください。
- 光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスが補正されます。

- 1 本機の【⏻】ボタンまたはリモコンの【⏻】ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

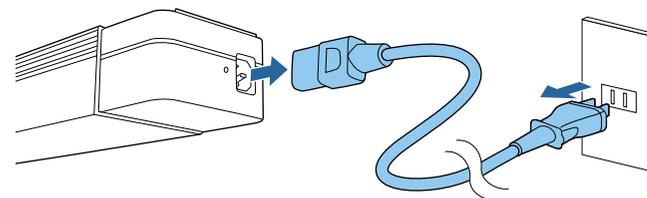
電源を切りますか？

はい : ⏻ を押す

いいえ: 他のボタンを押す

- 2 再度【⏻】ボタンまたはリモコンの【⏻】ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)
投写映像が消え、Statusインジケーターが消灯します。

- 3 本機を搬送または保管するときは、On/Standbyインジケーターが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

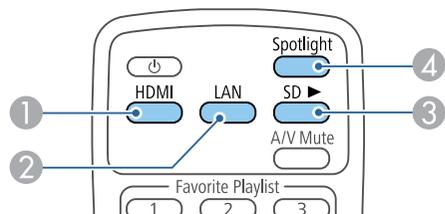


配線ダクトに取り付けている場合は、配線ダクトの電源をオフにします。

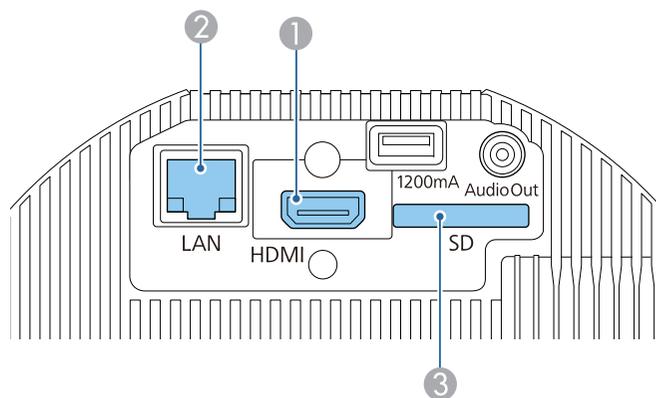
投写したい入力ソースのボタンを押します。

各ボタンに対応する入力端子は以下のとおりです。

リモコン

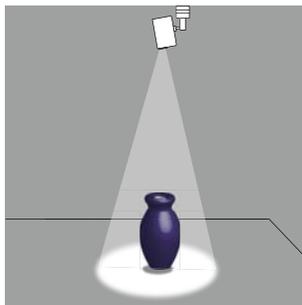


入力端子

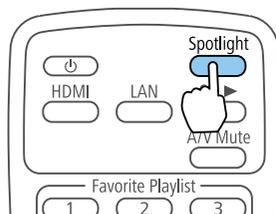


- ② ネットワークで接続しているコンピューターやモバイルデバイスの映像に切り替わります。
- ④ スポットライトに切り替わります。

本機の投写光をスポットライトとして使用できます。

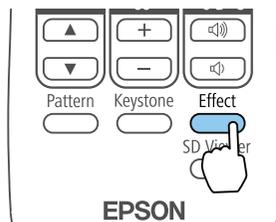


- 1 リモコンの【Spotlight】ボタンを押します。



スポットライトに切り替わります。

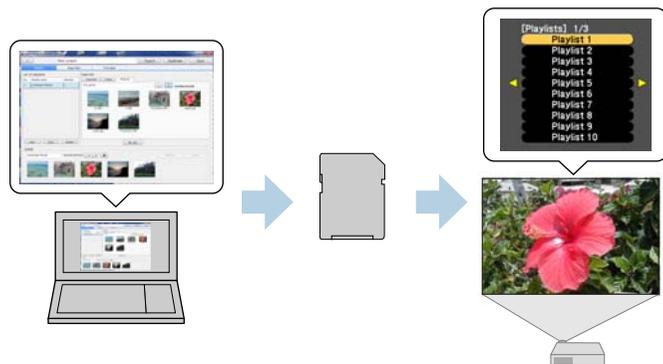
- 2 リモコンの【Effect】ボタンを押して、色や形を変更します。



詳細は以下をご覧ください。

☛ 「エフェクトを使用する」 [p.45](#)

SDカードに保存されたプレイリストを再生できます。



プレイリストは、Epson Projector Content Manager、Epson iProjection (iOS/Android)、Webブラウザのいずれかで作成します。

Epson Projector Content Managerは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

Epson Projector Content Managerの操作方法は、『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

プレイリストが保存されたSDカードを本機に挿入してください。

☛ 「各種機器との接続」 p.24

注意

以下のときは、プロジェクターからSDカードまたは電源コードを抜かないでください。

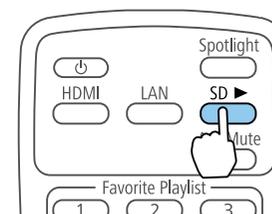
SDカードに記録されたデータが破損する恐れがあります。

- プレイリスト再生中
- プレイリスト表示中

SDカードのプレイリストを再生する

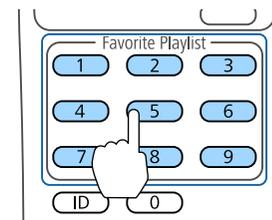
リモコンの【SD▶】ボタンを押すと、SDカードに保存されているプレイリストが再生されます。タイムテーブルが登録されている場合は、タイムテーブルに従って再生されます。

☛ 「タイムテーブル画面」 p.44



お気に入りのプレイリストを再生する

リモコンの1から9までのテンキーボタンには、プレイリストを1つずつ割り付けられます。プレイリストが割り付けられたボタンを押すことで、再生したいプレイリストを簡単に再生できます。

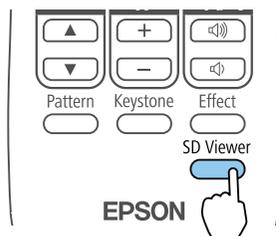


リモコンのボタンにプレイリストを割り付ける設定は、Epson Projector Content Manager、Epson iProjection (iOS/Android)、Webブラウザのいずれかでいきます。

プレイリストを選択して再生する

SDカードに保存されているプレイリストを指定して再生できます。

- 1 リモコンの【SD Viewer】ボタンを押します。
SDカードに保存されているプレイリストの一覧が表示されます。



- 2 【▲】【▼】【◀】【▶】で再生したいプレイリストを選択します。



選択したプレイリストが再生されます。

モバイルデバイスやコンピューターから本機の操作やプレイリストの編集ができます。

モバイルデバイスをお使いの場合は、Epson iProjection (iOS/Android)を使って操作します。

Epson iProjection (iOS/Android)は、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。バージョン3.0以降を使用してください。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

コンピューターをお使いの場合は、Epson Web Control機能を使ってWebブラウザから操作します。

Webブラウザは、Internet Explorer 11.0以降 (Metroは除く) またはMicrosoft Edgeを使用してください。Macをお使いの場合は、Safariを使用してください。



[待機モード]を[通信オン]に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

☛ [拡張設定] - [待機モード] p.99

注意

以下のときは、プロジェクターからSDカードまたは電源コードを抜かないでください。

SDカードに記録されたデータが破損する恐れがあります。

- プレイリスト画面表示中
- SDカード画面表示中

Epson iProjection (iOS/Android)で操作する

以下の手順で、リモコン画面を表示します。

お使いの機器とプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。

- 1** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

接続方法は機器によって異なります。お使いの機器に添付の取扱説明書をご確認ください。

- 2** お使いの機器でEpson iProjectionを起動します。

- 3** メニューからリモコンを押します。

リモコン画面が表示されます。

☛ 「リモコン画面」 p.42



- Epson iProjectionで[リモコン]を押したとき、ユーザー名とパスワードの入力を求められることがあります。
ユーザー名は「EPSONWEB」、デフォルトのパスワードは「admin」
- ユーザー名は変更できません。パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。
☛ [ネットワーク]-[基本設定]-[Web制御パスワード] p.104
- Web制御機能では、パスワードを無効にしている場合も、ユーザー名の入力が必要です。

Epson Web Control(Webブラウザ)で操作する

以下の手順で、ホーム画面を表示します。

お使いの機器とプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。



ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、ホーム画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

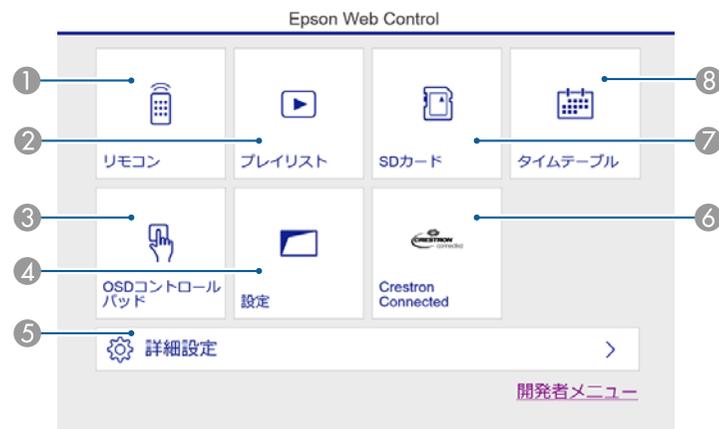
1 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

接続方法は機器によって異なります。お使いの機器に添付の取扱説明書をご確認ください。

2 お使いの機器でWebブラウザを起動します。

3 URL入力欄に接続先のプロジェクターのIPアドレスを入力して接続します。

ホーム画面が表示されます。



1 リモコン

☛ 「リモコン画面」 p.42

2 プレイリスト

☛ 「プレイリスト画面」 p.43

3 OSDコントロールパッド

☛ 「OSDコントロールパッド画面（Epson Web Controlのみ）」 p.44

4 設定

設定画面に移動します。

5 詳細設定

詳細設定画面に移動します。

6 Crestron Connected

☛ 「Crestron Connected®について」 p.145

7 SDカード

☛ 「SDカード画面」 p.43

8 タイムテーブル

☛ 「タイムテーブル画面」 p.44

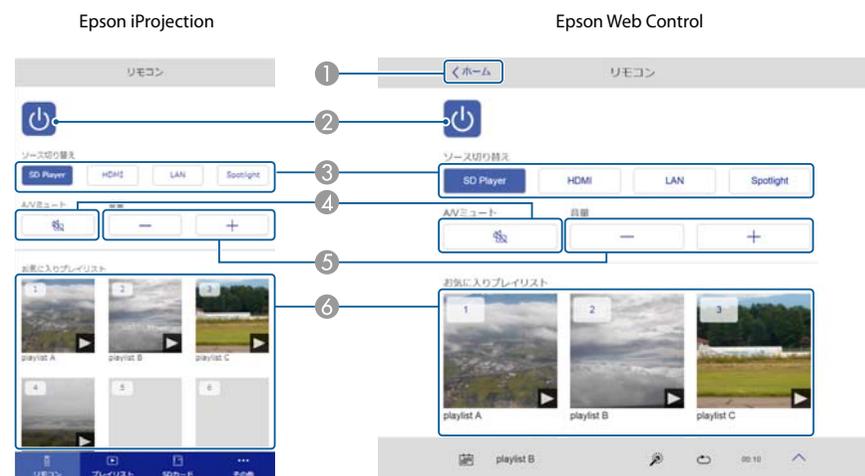


- ホーム画面から各機能を実行すると、ユーザー名とパスワードの入力を求められることがあります。
ユーザー名は「EPSONWEB」、デフォルトのパスワードは「admin」
- ユーザー名は変更できません。パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。
☞ [ネットワーク]-[基本設定]-[Web制御パスワード] p.104
- Web制御機能では、パスワードを無効にしている場合も、ユーザー名の入力が必要です。
- 以下の項目は詳細設定画面からのみ設定できます。
 - Monitorパスワード(半角英数字で16文字以内)
☞ [ネットワーク]-[基本設定]-[Monitorパスワード] p.104
 - IPv6設定(手動)
☞ [ネットワーク]-[IPv6設定] p.105、 p.108
 - HTTPポート追加(Web制御に使用するポート番号で、80(初期値)、443、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、6454、10000、10001、41794以外の番号)
☞ [ネットワーク]-[その他] p.111

各画面の見方

リモコン画面

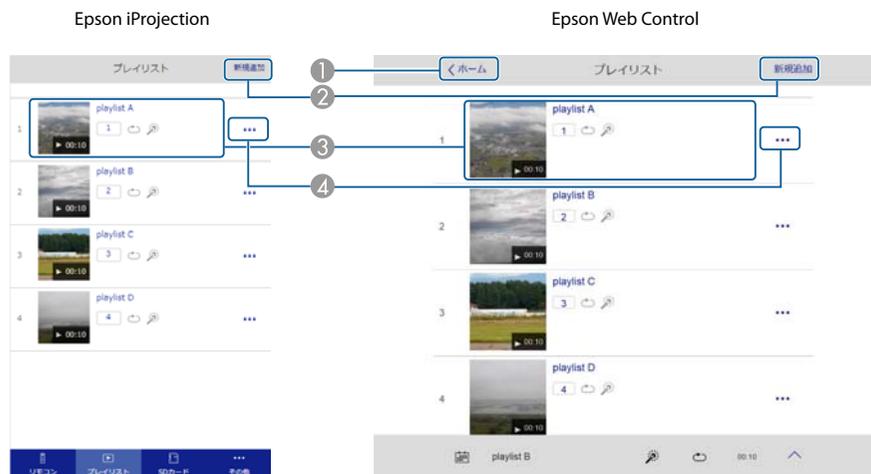
本機の基本操作を行います。



- 1 ホーム画面に移動します。(Epson Web Controlのみ)
- 2 本機の電源をオン/オフにします。
- 3 目的の映像に切り替えます。
- 4 映像と音声を一時的に遮断/解除します。
- 5 音量を調整します。
- 6 お気に入りプレイリストを選択します。

プレイリスト画面

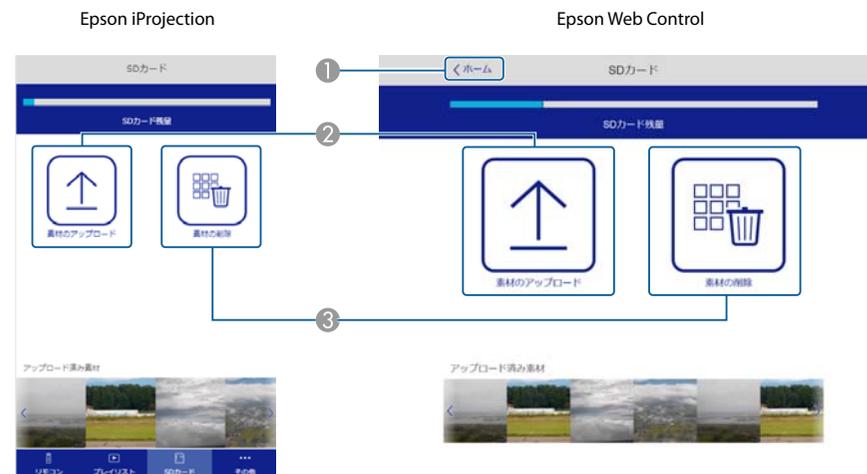
プレイリストを操作します。



- ① ホーム画面に移動します。(Epson Web Controlのみ)
- ② プレイリストを新規作成します。
- ③ プレイリストを再生/停止/エフェクト設定/AVミュート/音量調整します。
- ④ プレイリストを編集/複製/お気に入りプレイリストへの登録/削除します。

SDカード画面

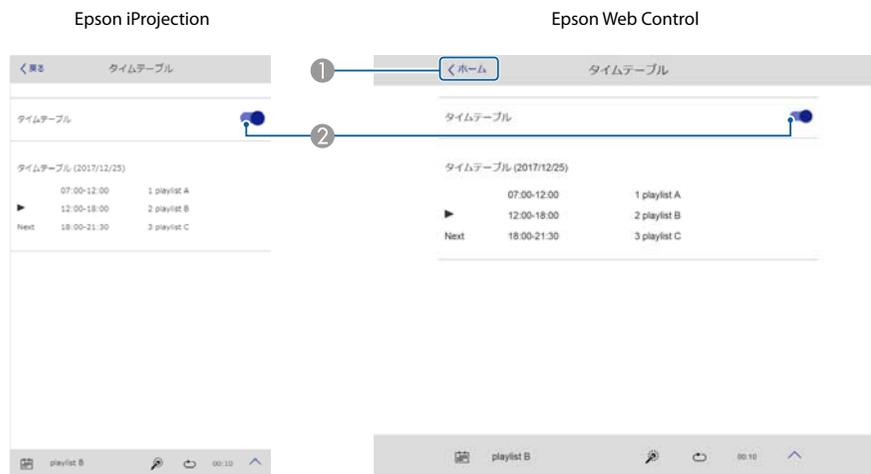
本機に挿入されているSDカードを操作します。



- ① ホーム画面に移動します。(Epson Web Controlのみ)
- ② 素材(プレイリストに使用する動画や静止画)をSDカードへ転送します。
- ③ SDカード内の素材を削除します。

タイムテーブル画面

タイムテーブルを参照します。



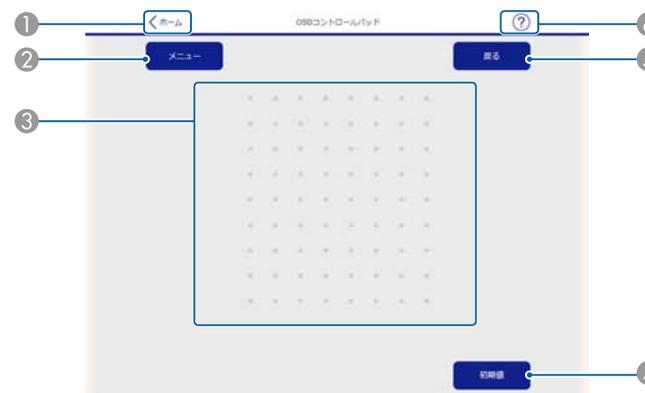
- ① ホーム画面に移動します。(Epson Web Controlのみ)
- ② タイムテーブルをオン/オフにします。



Epson Projector Content Managerのタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

OSDコントロールパッド画面(Epson Web Controlのみ)

本機の環境設定メニューを操作します。



- ① ホーム画面に移動します。(Epson Web Controlのみ)
- ② 環境設定メニューを表示/終了します。
- ③ 指やマウスで環境設定メニューを操作します。フリックして項目を選択し、タップして決定します。
- ④ 環境設定メニューのガイドに[Default]：リセットと表示されているときに有効です。調整中の設定値を初期値に戻します。
- ⑤ 環境設定メニューで、一つ上の階層に戻ります。
- ⑥ OSDコントロールパッドの使い方を表示します。

スポットライトや投写映像に以下のようなエフェクトを設定できます。

- 縁をぼかす
- 映像の形状を変える
- 映像の色を変える
- 映像の明度を調整する



注意

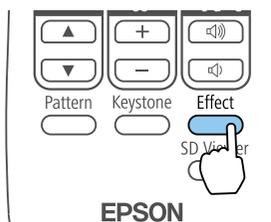
エフェクトの操作中は、プロジェクターからSDカードまたは電源コードを抜かないでください。
SDカードに記録されたデータが破損する恐れがあります。



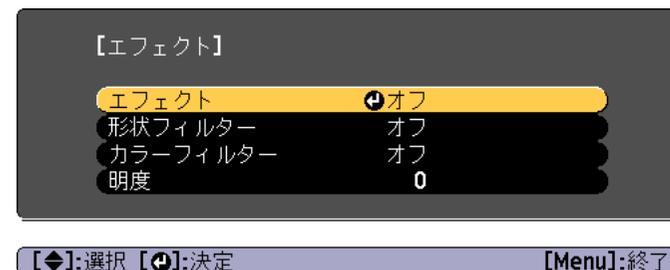
エフェクトは、入力ソースごとに設定できます。SDカードの場合、プレイリストごとに設定できます。

エフェクトの形を設定する

- 1 スポットライトや映像の投写中に【Effect】ボタンを押します。



以下の画面が表示されます。



- 2 【エフェクト】を【オン】にします。
- 3 【形状フィルター】を選択し、【Left Arrow】ボタンを押します。
- 4 【Up Arrow】【Down Arrow】ボタンで設定したい項目を選択し、【Left Arrow】ボタンを押します。



【形状】：エフェクトの形を、丸や四角、カスタムから選択します。形状フィルターを使用しないときは、【オフ】を選択します。

【フィルター効果】：マスクの色および選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするか選択します。

【サイズ】：選択した形状の【高さ】と【幅】を【Left Arrow】【Right Arrow】ボタンで設定します。

【表示位置】：選択した形状をどの位置に表示するか、【Up Arrow】【Down Arrow】【Left Arrow】【Right Arrow】ボタンで設定します。

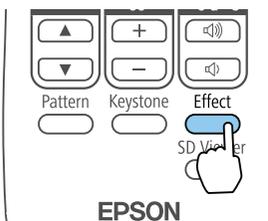


カスタム形状は、Epson Projector Content Managerで作成します。

- 5** 【Effect】ボタンまたは【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

エフェクトの色を調整する

- 1** スポットライトや映像の投写中に【Effect】ボタンを押します。



以下の画面が表示されます。



【◆】:選択 【⏏】:決定 [Menu]:終了

- 2** 【エフェクト】を【オン】にします。
- 3** 【カラーフィルター】を選択し、【↵】ボタンを押します。

- 4** 【カラーフィルター】を選択し、【◀】【▶】ボタンで設定したい色を選択します。設定にない色を設定したいときは、【カスタム】を選択します。



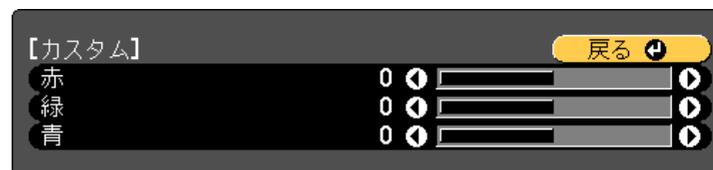
【Esc】:戻る 【◀▶】:選択 [Menu]:終了
【Default】:リセット

- 5** 【カスタム】の色を調整するときは、【カスタム】を選択し【↵】ボタンを押します。



【Esc】:戻る 【◆】:選択 【⏏】:決定 [Menu]:終了

- 6** 【▲】【▼】ボタンで調整する色を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整します。

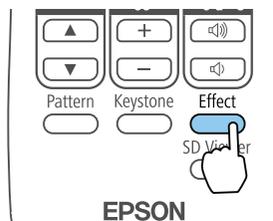


【Esc】/【⏏】:戻る 【◆】:選択 [Menu]:終了

- 7** 【Effect】ボタンまたは【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

エフェクトの明度を調整する

- 1 スポットライトや映像の投写中に【Effect】ボタンを押します。

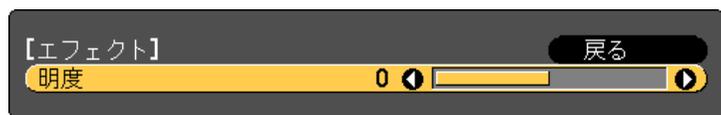


以下の画面が表示されます。



[◀]:選択 [▶]:決定 [Menu]:終了

- 2 【エフェクト】を【オン】にします。
- 3 【明度】を選択し、【▶】ボタンを押します。
- 4 【◀】【▶】ボタンで明度を調整します。



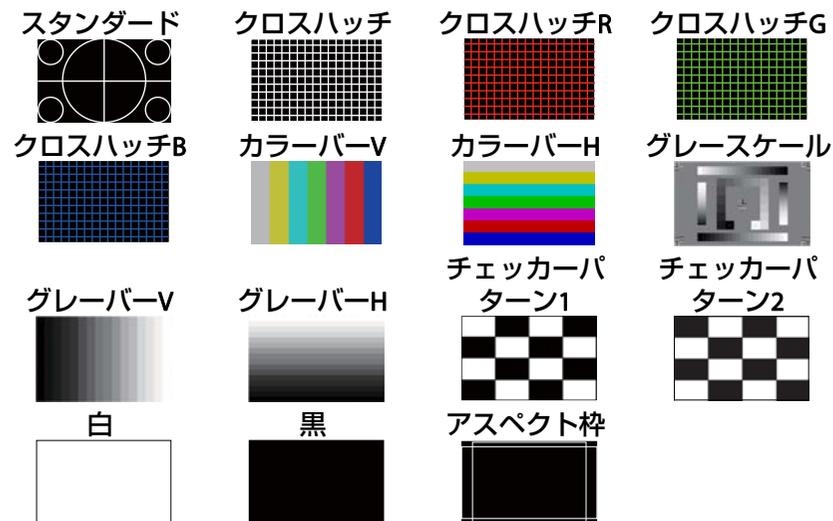
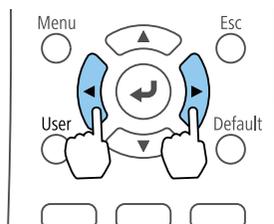
[Esc]:戻る [◀]:選択 [▶]:調整 [Menu]:終了
[Default]:リセット

- 5 【Effect】ボタンまたは【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

テストパターンを表示する

テストパターンを表示すると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。

- 1 投写中にリモコンの【Pattern】ボタンを押します。
- 2 リモコンの【◀】【▶】ボタンを押してテストパターンを切り替えます。



テストパターン表示中は、レンズ操作の他に以下の映像調整を行います。

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
画質	カラーモード p.52
	ホワイトバランス
	アドバンスト - ガンマ p.55
	ダイナミックコントラスト p.54
	初期化
設定	台形補正 p.49
	明るさ設定
拡張設定	マルチプロジェクション※ p.60

※ ユニフォーミティー、表示倍率は除く

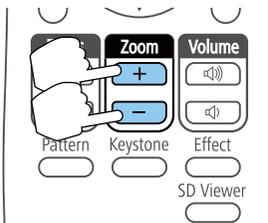


- テストパターンを表示中に設定できないメニュー項目の設定や、投写映像の細かい調整は、接続機器からの映像を投写して行ってください。
- 環境設定メニューからもテストパターンを選択できます。
 [\[設定\] - \[テストパターン\]](#) p.98

3 【Esc】ボタンを押してテストパターンの表示を終了します。

映像のサイズを調整する

1 リモコンの【Zoom】(+/-)ボタンを押して調整します。



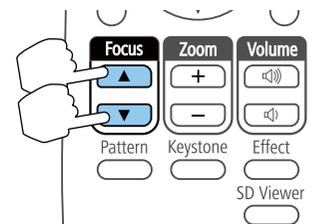
2 【Esc】ボタンを押して調整を終了します。



- 光学ズームで映像のサイズを最小にするとメッセージが表示され、デジタルズームに切り替わります。
- デジタルズームで映像のサイズを最大にするとメッセージが表示され、光学ズームに切り替わります。

ピントのズレを補正する

1 リモコンの【Focus】(▲/▼)ボタンを押して調整します。



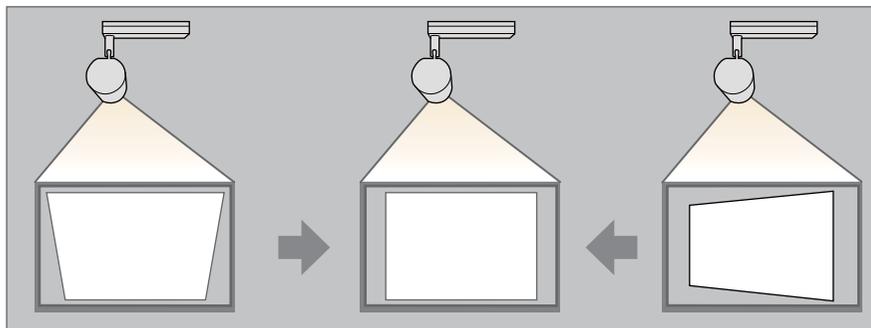
フォーカス調整の画面は、ピントが合っていないときでも見やすいように青色で表示されます。

2 【Esc】ボタンを押して調整を終了します。

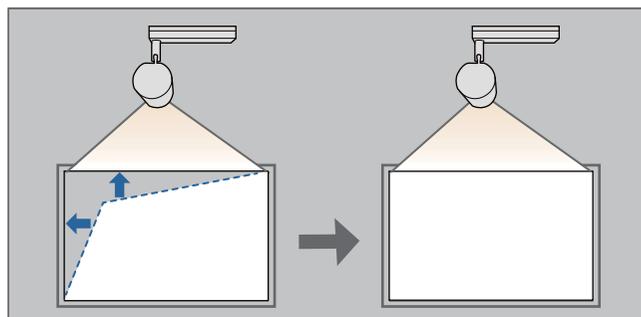
映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみを補正するには、以下の方法があります。

- タテヨコ補正
タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。
☛ 「タテヨコ補正」 p.50



- Quick Corner
4つのコーナーを個別に補正します。
☛ 「Quick Corner」 p.51



タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。

- 1 投写中に【Keystone】ボタンを押します。

- 2 【タテヨコ】を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】:戻る 【◆】:選択 【↵】:決定 【Menu】:終了

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、【↵】ボタンを押します。

- 3 【▲】【▼】ボタンで補正方法を選択し、【◀】【▶】ボタンで補正します。

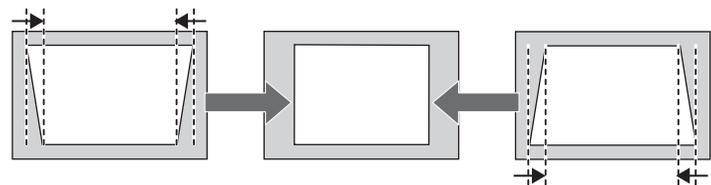


【Esc】/【↵】:戻る 【◆】:選択 【Menu】:終了

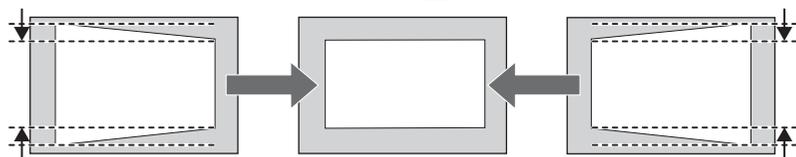
【Pattern】:表示

[タテ補正]と[ヨコ補正]で、台形にゆがんだ映像を補正します。

タテ補正



ヨコ補正



台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

4 [Menu] ボタンを押して補正を終了します。



他の補正方法と組み合わせて使うことはできません。

Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

- 1 投写中に【Keystone】ボタンを押します。
- 2 【Quick Corner】を選択し、【↶】ボタンを押します。



[Esc]:戻る [↶]:選択 [↷]:決定 [Menu]:終了

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、もう一度【↶】ボタンを押します。

- 3 補正するコーナーを【↑】【↓】【←】【→】ボタンで選択して、【↶】ボタンを押します。



[↶/↷]:選択
[↷]:決定
[Esc]:戻る(2秒間押下で初期化/切替)



【Esc】ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。

Quick Cornerで補正した結果を初期化する場合は[はい]を選択してください。

- 4** 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでコーナーの位置を補正します。
【↶】ボタンを押すと、手順4の補正するエリアを選択する画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



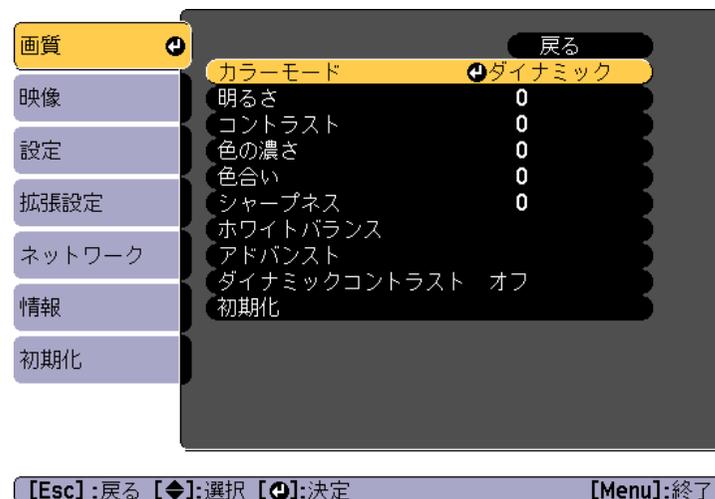
- 5** 手順3と4を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。

- 6** 【Menu】ボタンを押して補正を終了します。

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じてカラーモードを選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【画質】から【カラーモード】を選択します。



- 3** 設定したい項目を選択し、【↶】ボタンを押します。
[ダイナミック]：一番明るいモードです。明るい部屋での使用に最適です。

[ノーマル]：[ダイナミック]よりも明るさを抑え、自然な色合いの映像になります。

- 4** 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

明るさを設定する

光源の明るさを設定します。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【設定】から【明るさ設定】を選択します。



[Esc]:戻る [◆]:選択 [↵]:決定 [Menu]:終了

- 3 【光源モード】を選択し、【↵】ボタンを押します。



[Esc]:戻る [◆]:選択 [↵]:決定 [Menu]:終了

- 4 設定したい項目を選択し、【↵】ボタンを押します。
 [ノーマル]：明るさを落とさたくないときに選択します。使用時間の目安は約20,000時間です。
 [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約50%になります。使用時間の目安は約20,000時間です。
 [ロング]：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約50%になります。使用時間の目安は約30,000時間です。
 [カスタム]：明るさレベルを50～100%の範囲で設定します。
- 5 【光源モード】を【カスタム】にしたときは、【明るさレベル】を選択し、【◀】【▶】ボタンで明るさを設定します。



【明るさレベル】の数値には誤差があります。

- 6 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

投写映像の光量を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【画質】から【ダイナミックコントラスト】を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】:戻る 【◆】:選択 【↵】:決定 【Menu】:終了

- 3 【標準】または【高速】を選択し、【↵】ボタンを押します。
設定値は【カラーモード】ごとに保存されます。
- 4 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

投写映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比▶▶を切り替えます。



- 入力信号がHDMIのときのみ、【アスペクト】の設定ができます。
- 投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【映像】から【アスペクト】を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】:戻る 【◆】:選択 【↵】:決定 【Menu】:終了

- 3 【▲】【▼】ボタンで設定したい項目を選択し、【↵】ボタンを押します。

アスペクトモード	説明
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写します。
4:3	4:3のアスペクト比で投写します。
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。
フル	画面いっぱいに投写します。

アスペクトモード	説明
ズーム	入力した映像のアスペクト比のまま横方向が画面いっぱいになるように投写します。画面からはみ出した分は投写されません。
リアル	入力した映像の解像度のまま画面の中央に投写します。画面からはみ出した分は投写されません。

4 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

アスペクトモードは以下の表のように切り替わります。

■：アスペクトモードの設定により映像が表示されない領域。

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
16:9			
フル			
ズーム			
リアル*			

※ 入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

投写映像のガンマ値を調整する

接続する機器の違いにより生じる、中間調の明るさの違いを調整します。



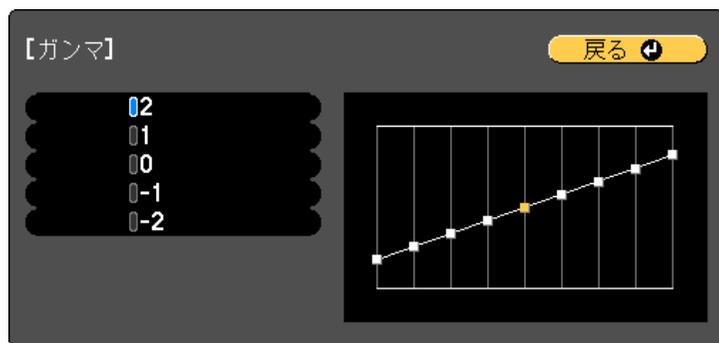
静止画を投写して調整してください。動画では正しく調整できません。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【画質】から【アドバンスト】を選択し、【←】ボタンを押します。



[Esc]:戻る [◆]:選択 [↵]:決定 [Menu]:終了

- 3 【ガンマ】を選択し、【←】ボタンを押します。
- 4 【▲】【▼】ボタンで補正值を選択し、【←】ボタンで決定します。



[Esc] / [←]: 戻る [→]: 選択 [Menu]: 終了

数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。

数値を小さくすると、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。

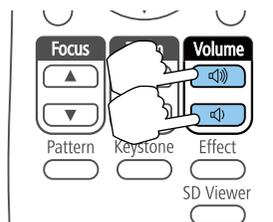
- 5** 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

Audio Out端子に接続した外部スピーカーから出力される音声の音量を調整するには、以下の方法があります。

- リモコンの【Volume】ボタンを押して調整する。

【<>】音量を上げます。

【<】音量を下げます。



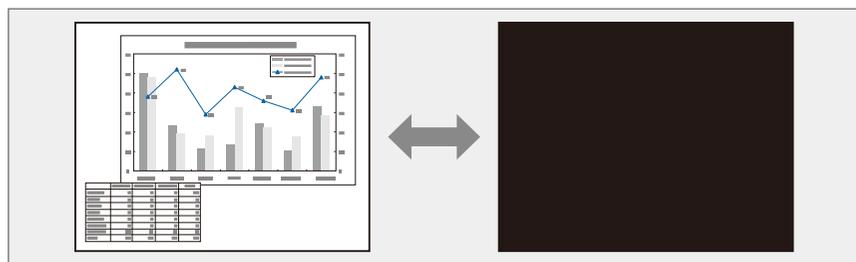
- 環境設定メニューから調整する。

👉 [設定] - [音量] [p.98](#)

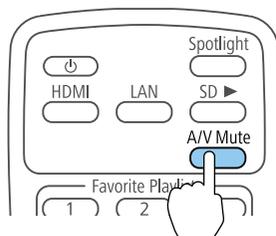
注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

投写映像と音声を一時的に消すことができます。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【A/V Mute】ボタンを押すたびにA/Vミュートが実行/解除されます。





便利な機能

ここでは、マルチプロジェクション機能や同期再生について説明しています。

複数台のプロジェクターを設置して、一つの大きな映像を投写できます。

プロジェクター間の明るさや色合いの個体差を調整したり、つなぎ目を目立たなくできます。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズームの設定は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行うことをお勧めします。
- [台形補正]の補正值が大きいと、投写映像を重ねたときに、映像の位置を合わせるのが困難になります。
- テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。
 - ☛ 「テストパターンを表示する」 p.48
- 拡大・縮小などの処理を加えずにそのまま表示できるドットバイドットの画像を使うと補正作業を簡単に行えます。

- (3) ズームとフォーカスを調整する。
 - ☛ 「映像のサイズを調整する」 p.49
 - ☛ 「ピントのズレを補正する」 p.49
- (4) 映像のつなぎ目を補正する。
 - ☛ 「映像のつなぎ目を調整する（エッジブレンディング）」 p.62
- (5) 映像を切り出す。
 - ☛ 「映像を切り出して表示する」 p.64

調整手順

事前準備

- (1) すべてのプロジェクターの電源を入れる。
- (2) すべてのプロジェクターとリモコンにIDを設定する。
 - ☛ 「プロジェクターIDを設定する」 p.61

投写映像を調整する

- (1) 投写位置を調整する。
 - ☛ 「ボールジョイントで投写角度を調整する」 p.22
 - ☛ 「映像の向き（設置モード）の設定」 p.28
 - ☛ 「映像のゆがみを補正する」 p.49
- (2) 映像のアスペクト比を調整する。
 - ☛ 「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.54

プロジェクターのID設定

プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するとき便利です。IDは最大9まで設定できます。

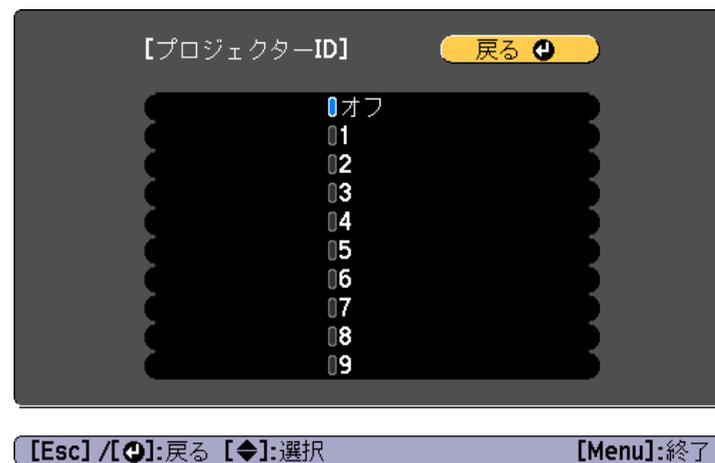


リモコンの操作範囲内にあるプロジェクターのみ、リモコンで操作できます。

☛ 「リモコンの操作可能範囲」 p.26

プロジェクターIDを設定する

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
☛ 「環境設定メニューの操作」 p.92
- 2 【拡張設定】から【マルチプロジェクション】を選択します。
- 3 【プロジェクターID】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 4 【▲】【▼】ボタンでIDを選択します。



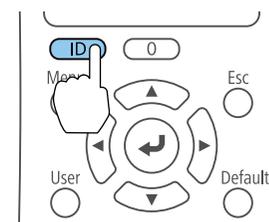
- 5 【↵】ボタンを押します。
- 6 【Menu】ボタンを押して設定を終了します。

リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

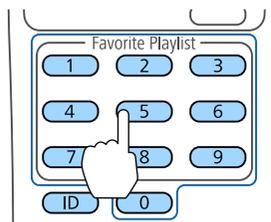
- 1 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



2 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

3 【ID】ボタンを押して、IDの設定を確認します。
以下が表示されます。

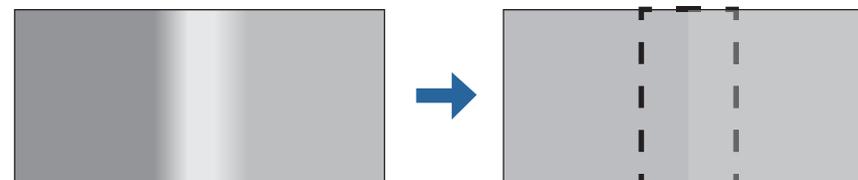
- リモコン操作：[有効]と表示：現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- リモコン操作：[無効]と表示：リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。



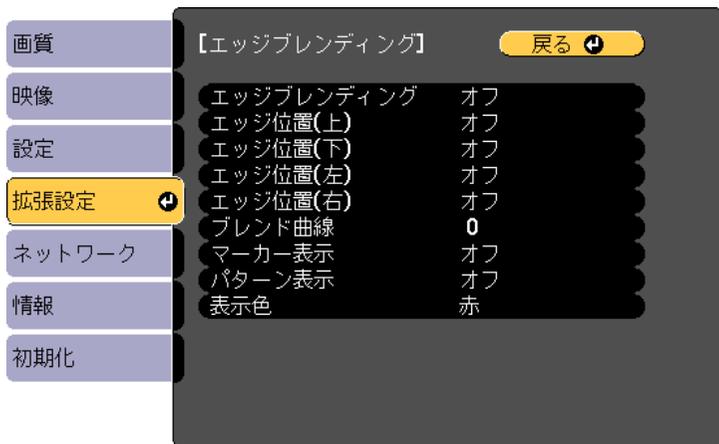
- IDを0に設定したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- プロジェクターの電源を入れ直したときは、再度リモコンでIDを選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。
- [プロジェクターID]を[オフ]に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。

映像のつなぎ目を調整する（エッジブレンディング）

映像のつなぎ目を目立たなくします。



- 1** 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2** 【拡張設定】から【マルチプロジェクション】を選択します。
- 3** 【エッジブレンディング】を選択し、【↵】ボタンを押します。
以下の画面が表示されます。



[Esc] / [↵]:戻る [◆]:選択 [Menu]:終了

サブメニュー	機能
エッジブレンディング	[オン]に設定すると、本機のエッジブレンディング機能が有効になります。
エッジ位置(上)/エッジ位置(下)/エッジ位置(右)/エッジ位置(左)	[ブレンディング]: [オン]に設定すると、設定中の方向に対してエッジブレンディング機能が有効になり、ブレンド範囲にグラデーションをかけます。 [ブレンド範囲]: グラデーションをかける範囲を調整します。1画素単位での調整が可能です。範囲の最大はプロジェクターの解像度の45%です。
ブレンド曲線	グラデーションのかけ方を3通りの中から選択できます。
マーカー表示	[オン]に設定すると、エッジブレンディングの設定範囲にマーカーが表示されます。
パターン表示	[オン]に設定すると、エッジブレンディングの設定範囲の位置を合わせるためのパターンが表示されます。
表示色	マーカーの色の組み合わせを3通りの中から選択できます。

4 [エッジブレンディング]を[オン]にします。

5 [マーカー表示]を[オン]にします。

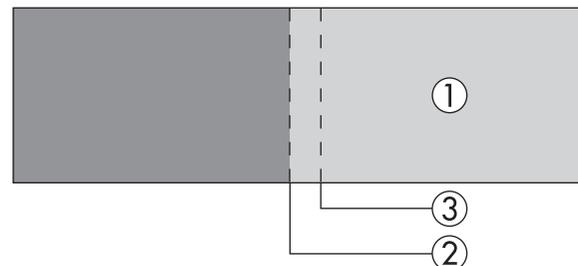


マーカーが見えにくいときは、[表示色]で色を変更できません。

6 [パターン表示]を[オン]にします。

7 映像が重なり合っている箇所に合わせて、エッジ位置を設定します。

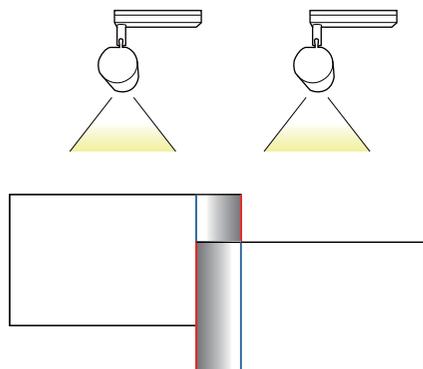
ここでは、下図①の画面を設定する場合を例に説明します。



上図①では、投写映像の左側が重なり合うので、[エッジ位置(左)]を調整します。

- (1) [エッジ位置(左)]を選択し、[↵]ボタンを押します。
- (2) [ブレンディング]を選択し、[↵]ボタンを押します。
- (3) [オン]を選択し、[↵]ボタンを押します。
- (4) [Esc]ボタンを押します。

- (5) 【ブレンド範囲】でグラデーションをかける範囲③を調整します。映像の重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなる値が最適になります。

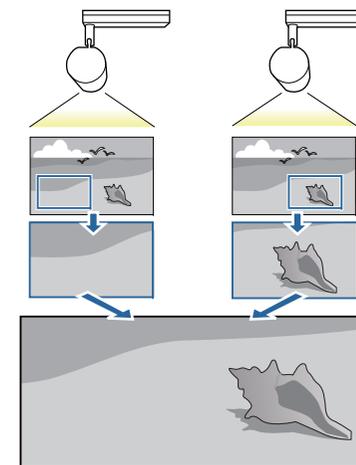


- (8) 【Esc】ボタンを押します。

8 【ブレンド曲線】を設定します。

- (1) 【ブレンド曲線】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- (2) グラデーションのかけ方を[1]～[3]から選択し、【↵】ボタンを押します。
- (3) 【Esc】ボタンを押します。

9 設定が終わったら、【マーカー表示】と【パターン表示】を【オフ】にして終了します。



- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【拡張設定】から【マルチプロジェクション】を選択します。



表示倍率は、【映像】の【表示倍率】からも設定できます。

- 3 【表示倍率】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 4 【表示倍率】を【オン】にします。

映像を切り出して表示する

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、一つの大きな映像を作ります。

5 【表示倍率モード】を選択します。

[ズーム表示]：現在表示している映像のサイズを基準にして調整します。

拡大



移動



[フル表示]：プロジェクターのパネルサイズ(映像を表示できる最大領域)を基準にして調整します。

拡大



移動



6 表示倍率を調整します。

【▲】【▼】ボタンで調整方法を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整します。

[-][+]：垂直方向、水平方向同時に映像を拡大/縮小します。

[タテ倍率]：垂直方向に映像を拡大/縮小します。

[ヨコ倍率]：水平方向に映像を拡大/縮小します。

7 切り出し範囲を調整します。

(1) [切り出し調整]を選択し、【←】ボタンを押します。

[切り出し範囲]を選択すると、本機が投写する画像の範囲と座標を表示します。

(2) 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで映像をスクロールします。

画面を見ながら、それぞれの映像の座標やサイズを調整します。



[切り出し範囲]から、映像全体に対する切り出し後の表示範囲を確認できます。

8 【Menu】ボタンを押して調整を終了します。

複数台の投写映像を調整する

色むらを調整する(ユニフォーミティー)

画面全体の色味を調整します。



ユニフォーミティーを調整後も色味が均一にならない場合があります。

1 投写中に【Menu】ボタンを押します。

2 [拡張設定]から[マルチプロジェクション]を選択します。

3 [ユニフォーミティー]を選択し、【←】ボタンを押します。



[Esc]:戻る 【◆】:選択 【▶】:決定 [Menu]:終了

[ユニフォーミティー]:ユニフォーミティーを[オン]/[オフ]します。

[調整レベル]:白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

[調整開始]:ユニフォーミティーの調整を開始します。

[初期化]:[ユニフォーミティー]の調整値、設定値をすべて初期値に戻します。



[ユニフォーミティー]を調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、元に戻ります。

4 [ユニフォーミティー]を[オン]にします。

5 [調整レベル]を選択し、【←】ボタンを押します。

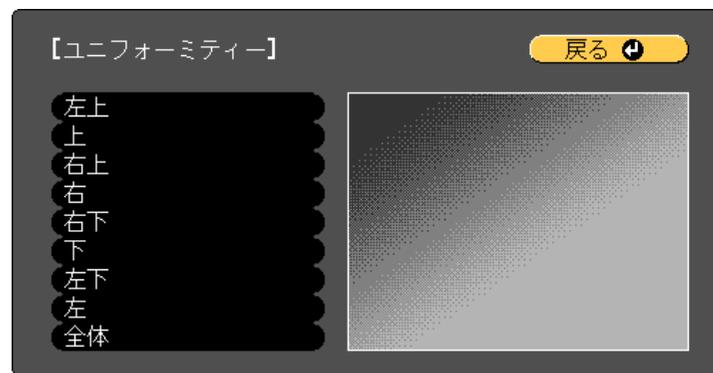
6 【◀】【▶】ボタンで調整レベルを設定します。

7 [Esc]ボタンを押して前の画面に戻ります。

8 [調整開始]を選択し、【←】ボタンを押します。

9 調整する箇所を選択し、【←】ボタンを押します。

先に周囲を調整してから、最後に画面全体を調整してください。



[Esc]/【▶】:戻る 【◆】:選択 [Menu]:終了

10 【▲】【▼】ボタンで調整する色を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整します。

【◀】ボタンを押すと色味が弱くなります。【▶】ボタンを押すと色味が強くなります。



[Esc]/【▶】:戻る 【◆】:選択 [Menu]:終了

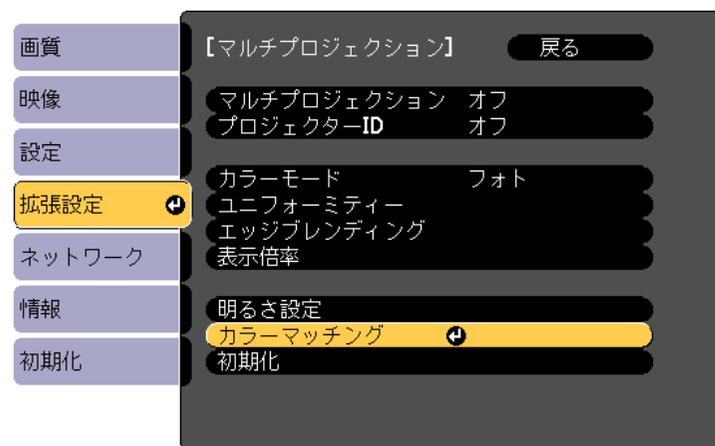
- 11 手順5に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。
- 12 【Menu】ボタンを押して調整を終了します。

色合いを調整する(カラーマッチング)

それぞれの映像の色合いを合わせます。

すべてのプロジェクターの電源を入れ、[拡張設定]メニューの[カラーマッチング]をプロジェクターごとに調整します。投写画面全体の色味と明るさが均一になるように調整します。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押します。
- 2 【拡張設定】から【マルチプロジェクション】を選択します。
- 3 【カラーマッチング】を選択し、【↵】ボタンを押します。



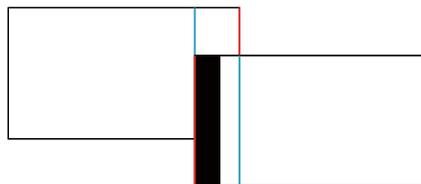
【Esc】:戻る 【◆】:選択 【↵】:決定 【Menu】:終了

以下の画面が表示されます。



[Esc] / [⏪]: 戻る [⏩]: 選択 [Menu]: 終了

映像の端を確認しやすいように、重なった範囲の半分が黒表示になります。



調整レベル：白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

赤、緑、青：各色の色味を調整します。

明るさ：明るさを調整します。

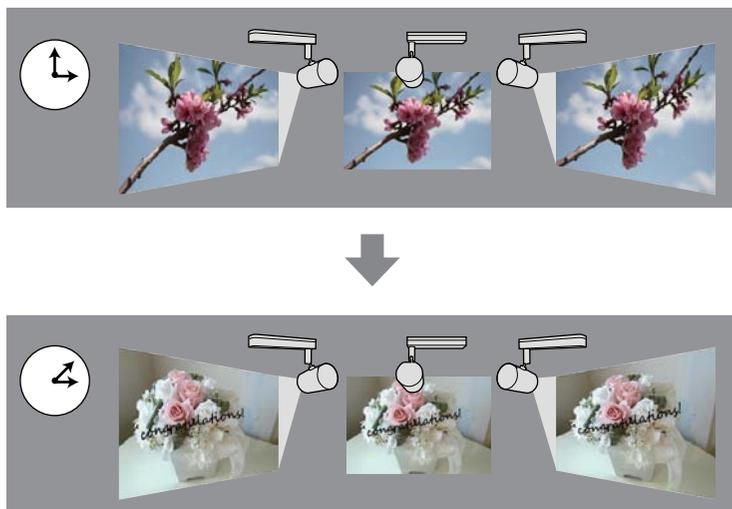


【↶】を押すたびに、投写映像/調整用画面が切り替わります。

- 4 [調整レベル]を選択し、【◀】【▶】ボタンで調整レベルを設定します。
- 5 [赤][緑][青]のいずれかを選択し、【◀】【▶】ボタンで色味を調整します。
- 6 [明るさ]を選択し、【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。

- 7 手順1に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。
- 8 [Esc] ボタンを押して、前の画面に戻ります。

タイムテーブルを設定すると、複数台で同期してプレイリストを再生できます。



プレイリストの作成やタイムテーブルの設定はEpson Projector Content Managerで行います。Epson Projector Content Managerの操作方法は、『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

同期再生をするすべてのプロジェクターに、あらかじめプロジェクター名および正しい日時を設定してください。

☛ [基本設定]-[プロジェクター名] p.104

☛ [日時の設定] p.30



- ネットワークの状況により再生のタイミングがずれることがあります。有線LANでの接続を推奨します。
- プレイリストはEpson iProjection (Android/iOS)やWebブラウザでも作成できます。
 - ☛ 「モバイルデバイスやコンピュータでプロジェクターを操作する」 p.40
- 複数台並べて投写したときに、色味を調整したい場合は以下を参照してください。
 - ☛ 「色むらを調整する (ユニフォーミティー)」 p.65

同期再生を開始する

- 1** SDカードを本機に挿入します。
- 2** リモコンの【SD ▶】ボタンを押します。
- 3** タイムテーブルで指定した日時に、同期再生が始まります。

プロジェクターの電源を入れたときに表示する画像(ユーザーロゴ)を設定します。ユーザーロゴは、入力信号が未検出のときにも表示できます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定すると、プロジェクターの所有者を明示でき、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトにより、ユーザーロゴを変更できないように設定できます。



ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【Menu】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.92

2 【拡張設定】から【ユーザーロゴ】を選択します。



• 【パスワードプロテクト】で【ユーザーロゴ保護】を【オン】に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。【ユーザーロゴ保護】を【オフ】にしてから操作してください。

☛ 「パスワードプロテクトの種類」 p.73

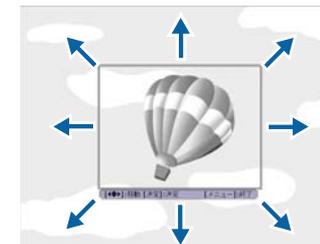
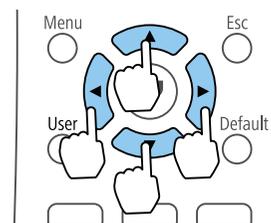
• 台形補正、アスペクトを行っているときに【ユーザーロゴ】を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、【はい】を選択します。



【↶】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。



登録できるサイズは400x300ドットです。

5 【↶】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、【はい】を選択します。

6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。

7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、【はい】を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。

特定の日、あるいは毎週の決まった時間に電源のオン/オフを行ったり、入力ソースを切り替えるなど、スケジュールに登録したイベントを自動的に実行できます。

[スケジュール]のイベントは30個まで登録できます。

警告

燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



- パスワードプロテクト画面で[スケジュール保護]を[オン]にしているときは、事前に[スケジュール保護]を[オフ]にします。
- 本機を24時間以上連続して使用する場合や、常にダイレクトシャットダウンで本機の電源を切る場合は、光源キャリブレーションは自動的に開始されません。[今すぐ実行]で実行、またはスケジュール機能で[光源キャリブレーション]を設定し、定期的に光源の補正をしてください。
 ● [初期化]-[光源キャリブレーション] p.113
- 光源キャリブレーションを自動で開始したくない場合は、[定期的に実行]を[オフ]に設定してください。
 ● [初期化]-[光源キャリブレーション]-[定期的に実行] p.113
- 光源キャリブレーションを実施する20分前に電源を入れてください。
- 光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスが補正されます。

1 投写中に【Menu】ボタンを押します。

● 「環境設定メニューの操作」 p.92

2 【拡張設定】から【スケジュール設定画面へ】を選択し、【↵】ボタンを押します。

3 【新規追加】を選択し、【↵】ボタンを押します。



4 スケジュールの内容を設定します。

サブメニュー名	機能
イベント設定	イベント実行時のプロジェクターの動作を設定します。特にイベント実行時の動作を指定しない項目は[変更しない]を選択します。以下の項目の動作を設定できます。 [スケジュール] <ul style="list-style-type: none"> • 電源 • 入力ソース • 光源モード • AVミュート • 光源キャリブレーション • 音量
日付/時刻設定	イベントを実行する日付や曜日、時刻を設定します。4週間後まで設定できます。日付や時刻の入力はソフトキーボードで行います。 ● 「ソフトキーボードの操作」 p.103

5 [保存]を選択し、[↩]ボタンを押します。

引き続きイベントを登録するときは手順3から手順5を行います。登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。



- ①  : 有効なイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 無効なイベント
- ② 選択している日付(黄色で強調表示)
- ③  : 1回限りのイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 通信監視のオン/オフ
-  : 無効なイベント

6 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、[戻る]ボタンを押します。

7 表示されたメニューから操作を選択します。

- [有効]/[無効]：選択したイベントを有効または無効にできます。
- [編集]：イベントの動作内容または日時を変更できます。
- [削除]：登録したイベントを一覧から削除できます。

8 [設定完了]を選択し、[はい]を選択して登録を終了します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化]を選択します。



パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。

本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のパスワードプロテクトを設定できます。

- [電源投入時]：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。ダイレクトパワーオンおよびオートパワーオン機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- [ユーザーロゴ保護]：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のときに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- [ネットワーク保護]：[ネットワーク]メニューの設定を変更できないようにします。
- [スケジュール保護]：スケジュール設定を変更できないようにします。

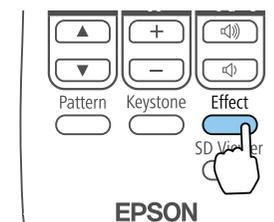
パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1 リモコンの【Effect】ボタンを約5秒間押し続けます。

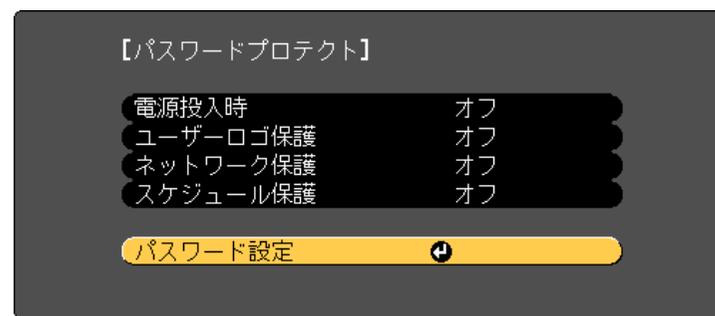


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



すでにパスワードプロテクトが有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2 [パスワード設定]を選択し、【←】ボタンを押します。



【←】:選択 【↵】:決定

【Menu】:終了

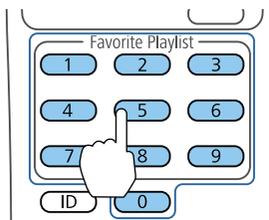
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されます。

- 3 [はい]を選択し、【←】ボタンを押します。



【いいえ】を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

4 テンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



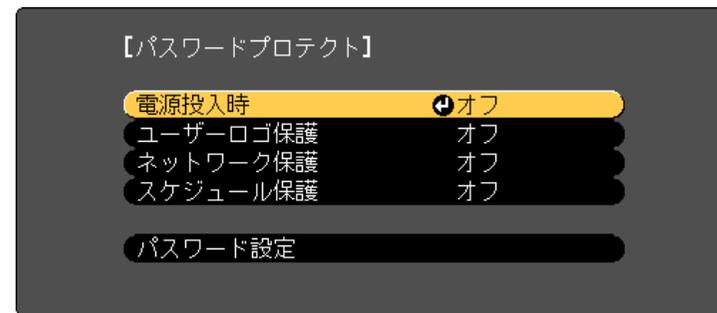
入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

5 パスワードを再入力します。

「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

6 【Esc】ボタンを押してメニューに戻ります。

7 パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。



【◀▶】:選択 【▶】:決定

【Menu】:終了

このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【Effect】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時]を[オン]に設定します。
- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護]を[オン]に設定します。
- スケジュール設定の変更を防止したいときは、[スケジュール保護]を[オン]に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。

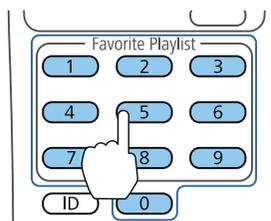
【パスワード】

設定されているパスワードを入力してください。

#操作については「取扱説明書」を参照してください。

[0-9]:入力

1 テンキーボタンを押して、パスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[[問い合わせコード]:xxxxx]」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
☛ [『お問い合わせ先』](#)
- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。



ネットワーク上のプロジェクターを使用する

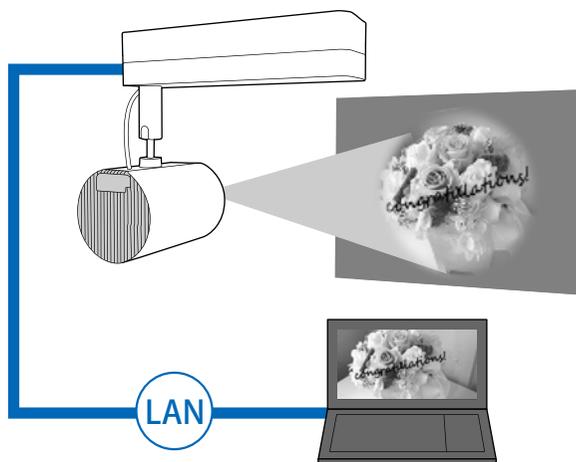
ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピューターのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、WebサイトからEpson iProjection (Windows/Mac)をダウンロードして、インストールします。

Epson iProjectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。
<http://www.epson.jp/download/>

Epson iProjectionを使用すると、コンピューターの映像をネットワーク経由で投写できます。また、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写できます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド(Windows/Mac)』をご覧ください。



プロジェクターの有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、本機のLAN端子にLANケーブルを接続してください。

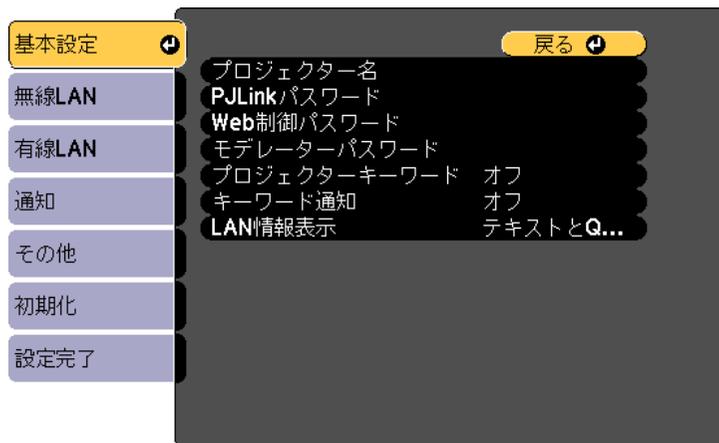
☞ 「各種機器との接続」 p.24

- 1 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【↵】ボタンを押します。



- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【↵】ボタンを押します。

4 [基本設定]を選択し、【←】ボタンを押します。



【Esc】/【←】:戻る 【↓】:選択

5 必要に応じて以下を設定します。

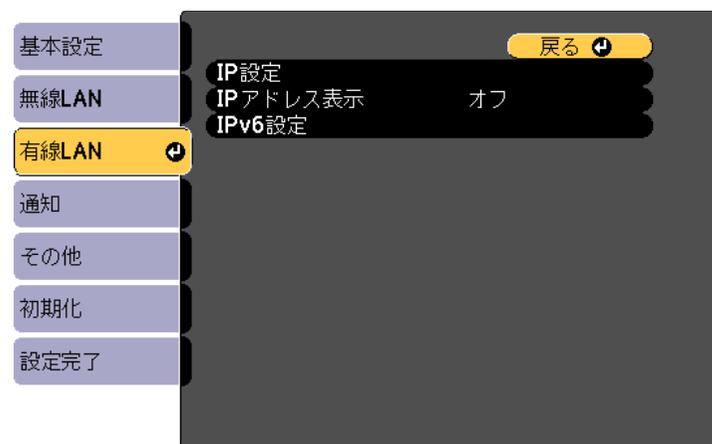
- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PLinkパスワード]：PLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Epson iProjectionやEpson Web Controlで本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。)
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)

- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。映像を投写したり、データを送受信したりするには、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- [キーワード通知]：Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを押して文字を選択し、【←】ボタンを押して入力します。

6 [有線LAN]を選択し、【←】ボタンを押します。



【Esc】/【←】:戻る 【↓】:選択

7 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定]を選択して、[DHCP]を[オン]にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択して[DHCP]を[オフ]にし、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。
 - IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、[IPv6設定]を選択します。
- ☛ 「有線LANメニュー」 p.108

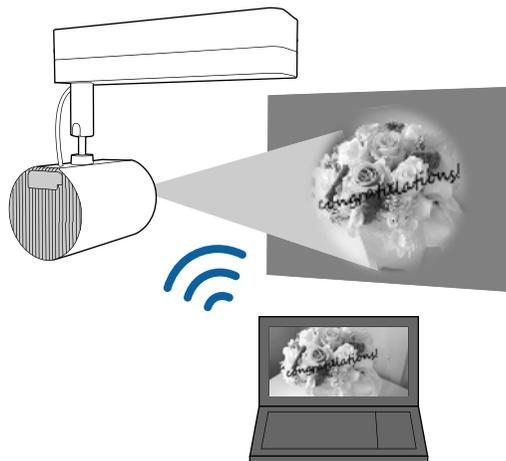


リモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを押して、表示されたソフトキーボードで入力する数字を選択します。【↵】ボタンを押して入力します。

- 8 設定したIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。
- 9 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- 10 リモコンの[LAN]ボタンを押します。
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

[LAN]	
プロジェクター名	:
SSID	:
IPアドレス 	:
IPアドレス (IPv6)	:
キーワード	:
Event ID	:

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。



[ネットワーク]メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

[ネットワーク]メニューを設定する前に、本機の時刻を設定してください。時刻を設定しないと、無線LANの設定が正しくできないことがあります。

☛ 「日時の設定」 [p.30](#)

[ネットワーク]メニューの設定が終わったら、Webサイトから必要なネットワークソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

Epson iProjection (iOS/Android)は、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

Epson iProjection (Chromebook)は、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【↵】ボタンを押します。



- 3 【無線LAN電源】を【オン】に設定します。



- 4 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 5 【基本設定】を選択し、【↵】ボタンを押します。



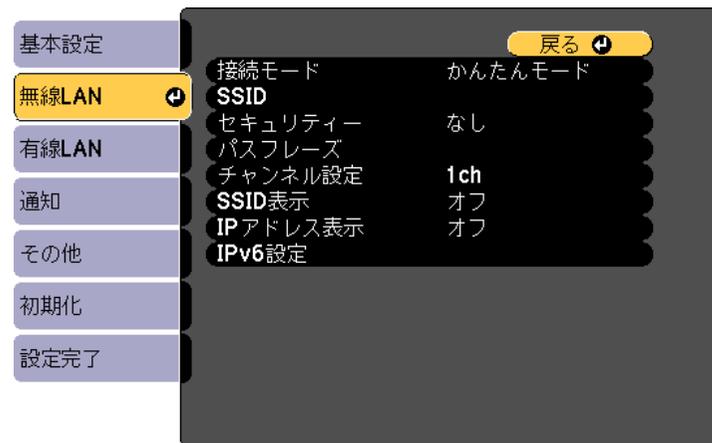
6 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Epson iProjectionやEpson Web Controlで本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。プロジェクターと接続した特定の端末間でサムネイル表示や配信機能を利用する場合は、プロジェクターキーワードを[オン]にします。
- [キーワード通知]：Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前およびパスワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを押して文字を選択し、【↵】ボタンを押して入力します。

7 [無線LAN]を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】/【↵】:戻る 【↵】:選択

8 [接続モード]を選択します。

- [かんたんモード]：スマートフォンやタブレット端末、コンピュータとワイヤレスに直接接続できます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピュータと接続できます。

9 [マニュアルモード]を選択した場合は、[アクセスポイント検索]を行って接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは、[SSID]を選択してSSIDを入力します。

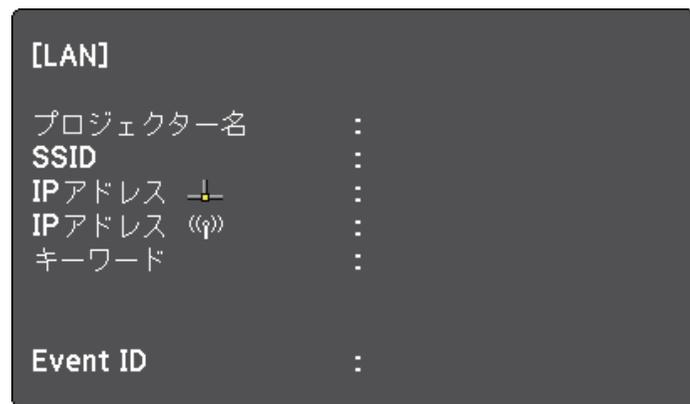
10 [マニュアルモード]の場合は、必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定]を選択して、[DHCP]を[オン]にします。

- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択して[DHCP]を[オフ]にし、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、[IPv6設定]を選択します。

☛ 「無線LANメニュー」 p.105

- 11** 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[SSID表示]または[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。
- 12** 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- 13** リモコンの[LAN]ボタンを押します。
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2** マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。
- 3** [接続]をクリックします。

Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2** マニュアルモードで接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティ
- WPA2-EAPセキュリティ*
- WPA/WPA2-PSKセキュリティ*
- WPA/WPA2-EAPセキュリティ*

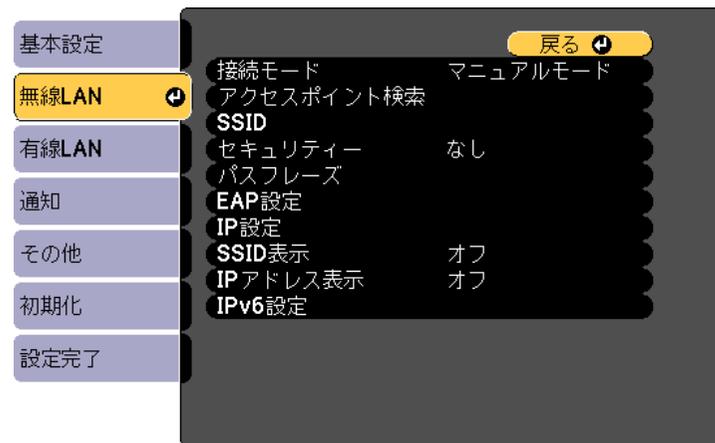
*マニュアルモードで接続しているときのみ



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

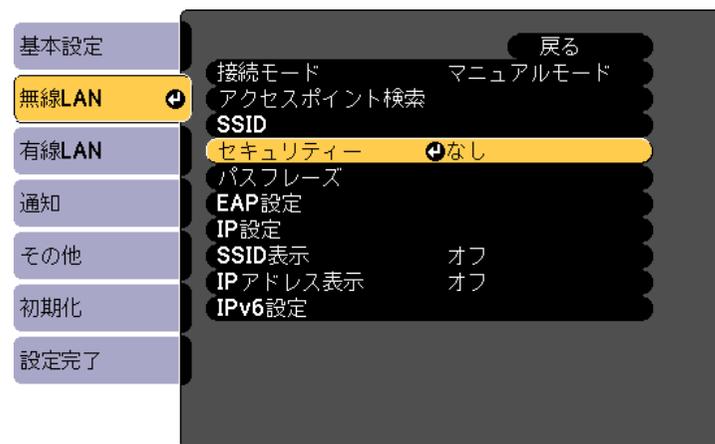
- 1 本機に対応した形式の証明書をSDカードのルートディレクトリに保存します。
☛ 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 p.85
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 4 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【↵】ボタンを押します。

- 5 【無線LAN】を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】 / 【↵】: 戻る 【↵】: 選択

- 6 【セキュリティ】を選択し、【↵】ボタンを押します。



【Esc】: 戻る 【↵】: 選択 【↵】: 決定

- 7 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。

- WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSKを選択した場合
[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAPを選択した場合
[EAP設定]を選択し、【↩】ボタンを押します。

8 [EAP種類]で認証プロトコルを選択します。

9 証明書の種類を選択し、【↩】ボタンを押します。

- [クライアント証明書]：[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]用のクライアント証明書をインポートします。
- [CA証明書]：[PEAP]、[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]、[EAP-FAST]用のCA証明書をインポートします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☞ 「Webブラウザで証明書を設定する」 p.89

10 画面の指示に従って[登録]を選択し、【↩】ボタンを押します。

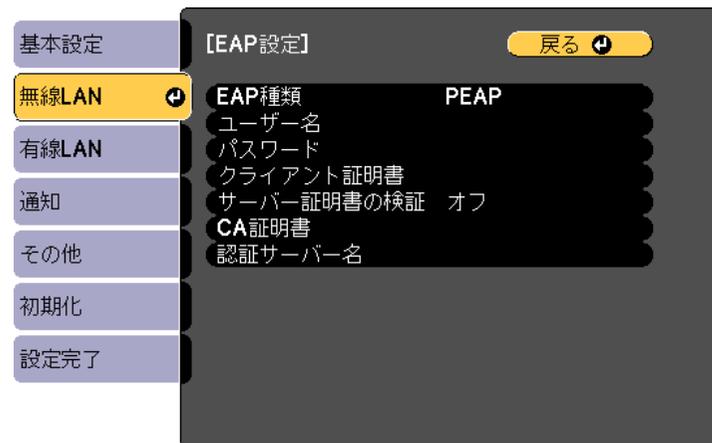
11 本機のSDカードスロットにSDカードを挿入します。

12 【↩】ボタンを押して証明書の一覧を表示します。

13 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

14 証明書のパスワードを入力し、【↩】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

15 必要に応じてEAPセキュリティを選択します。



【Esc】/【↩】:戻る 【↵】:選択

- [ユーザー名]：ユーザー名を入力します。半角英数字で64文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
- [パスワード]：[PEAP]、[EAP-FAST]、[LEAP]の認証用パスワードを入力します。半角英数字で64文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。
- [サーバー証明書の検証]：CA 証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。
- [認証サーバー名]：認証サーバー名を入力します。

16 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

クライアント証明書(PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字

CA証明書(PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

*パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

☛ 「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、LAN待機画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android)で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスに接続できます。



- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください(本機能は、V1.3.0以降のEpson iProjectionでサポートされています)。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることを勧めます。

- 1 [ネットワーク]メニューで[QRコード表示]を選択します。
QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、[LAN情報表示]を[テキストとQRコード]に設定します。
☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [LAN情報表示] p.104
- QRコードを非表示にしたいときは、【Esc】ボタンを押してください。
- QRコードが非表示のときは、【↩】ボタンを押すと表示されます。

- 2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。
- 3 投写されているQRコードを読み取ってプロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、をタップして[コンテンツ]から投写するファイルを選択します。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP]設定を[オン]にします。

☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [その他] - [セキュアHTTP] [p.111](#)

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューとSDカードを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.89](#)

- 1** 本機に対応した形式の証明書をSDカードのルートディレクトリーに保存します。
☛ 「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.89](#)
- 2** リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3** 【ネットワーク】を選択し、【↵】ボタンを押します。
- 4** 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【↵】ボタンを押します。

- 5** [その他]を選択し、【←】ボタンを押します。



- 6** [セキュアHTTP]を[オン]に設定します。
- 7** [Webサーバー証明書]を選択し、【←】ボタンを押します。
- 8** 画面の指示に従って[登録]を選択し、【←】ボタンを押します。
- 9** 本機のSDカードスロットにSDカードを挿入します。
- 10** 【←】ボタンを押して証明書の一覧を表示します。
- 11** 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 12** 証明書のパスワードを入力し、【←】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書(セキュアHTTP)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	SHA-256
鍵長	2048 bit
Common Name	プロジェクター名
Organization	SEIKO EPSON CORP.
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字

*パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

☛ 「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40

Webブラウザで証明書を設定する

セキュリティ設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、ネットワークメニューからも行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ 「無線LANのセキュリティを設定する」 p.84

- 1** 本機に対応した形式の証明書を用意します。

- 2 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、**Epson Web Control**に接続します。
ホーム画面が表示されます。



- 5 [詳細設定]を選択します。



詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)

左上のメニューアイコンをクリックし、メニューを表示します。

- 6 [ネットワーク]から[証明書]を選択します。



- 7 ファイルを参照するボタンをクリックし、証明書ファイルを選択します。
- 8 [パスワード]ボックスにパスワードを入力して[送信]をクリックします。
- 9 設定が終了したら、[反映]をクリックします。



環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

環境設定メニューの操作方法を説明します。

使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

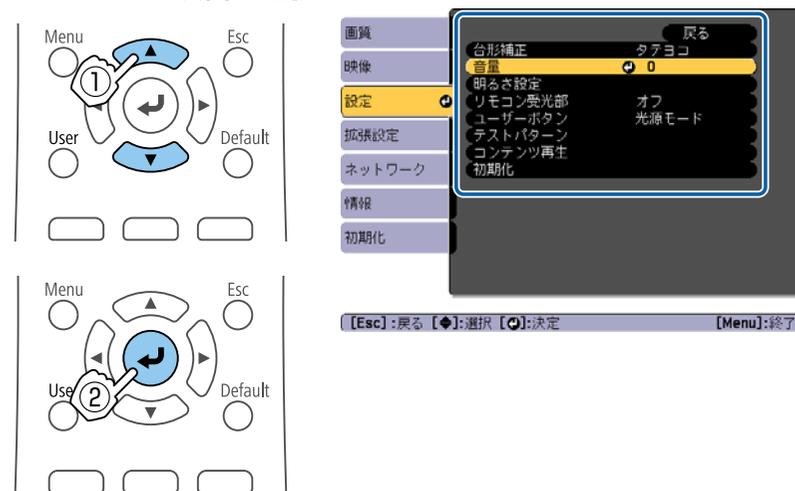
1 環境設定メニュー画面を表示します。



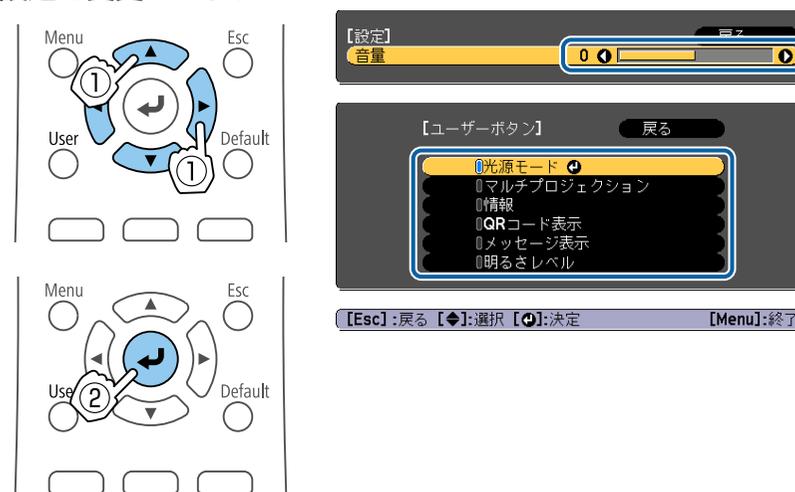
2 トップメニュー項目を選択します。



3 サブメニュー項目を選択します。



4 設定を変更します。



ガイドに [Default] : リセットと表示されているときは、リモコンの [Default] ボタンを押すと調整中の設定値が初期値に戻ります。

- 5 【Menu】ボタンを押して、設定を終了します。

環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質メニュー 🖱️ p.96	カラーモード	ダイナミック、ノーマル
	明るさ	0~100
	コントラスト	0~100
	色の濃さ	0~100
	色合い	0~100
	シャープネス	0~20
	ホワイトバランス	色温度、カスタム
	アドバンスト	ガンマ
映像メニュー 🖱️ p.97	ダイナミックコントラスト	オフ、標準、高速
	アスペクト	オート、ノーマル、4:3、16:9、フル、ズーム、リアル
	アドバンスト	HDMIビデオレベル
設定メニュー 🖱️ p.98	表示倍率	表示倍率、表示倍率モード、タテ倍率、ヨコ倍率、切り出し調整、切り出し範囲
	台形補正	タテヨコ、Quick Corner
	音量	0~20
	明るさ設定	光源モード、明るさレベル
	リモコン受光部	オン、オフ
	ユーザーボタン	光源モード、マルチプロジェクション、情報、QRコード表示、メッセージ表示、明るさレベル

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	テストパターン	スタンダード、クロスハッチ、クロスハッチR、クロスハッチG、クロスハッチB、カラーバーV、カラーバーH、グレースケール、グレーバーV、グレーバーH、チェッカーパターン1、チェッカーパターン2、白、黒、アスペクト枠
	コンテンツ再生	エフェクト、SDビューアー
拡張設定メニュー 🖱️ p.99	表示設定	メッセージ表示、スタートアップスクリーン、スタンバイ確認、ユニフォーミティー
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り
	動作設定	ダイレクトパワーオン、高地モード、オートパワーオン、インジケータ表示、起動時入力設定、HDMI EQ 設定、日付&時刻
	待機モード	待機モード、通信ポート
	マルチプロジェクション	マルチプロジェクション、プロジェクターID、カラーモード、ユニフォーミティー、エッジブレンドリング、表示倍率、明るさ設定、カラーマッチング、初期化
	スケジュール設定画面へ	-
	言語	27言語
ネットワークメニュー 🖱️ p.102	無線LAN電源	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	ネットワーク情報 - 無線LAN	接続モード、無線LAN方式、アンテナレベル、プロジェクター名、SSID、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、MACアドレス、地域コード、IPv6アドレス(手動)、IPv6アドレス(自動)
	ネットワーク情報 - 有線LAN	プロジェクター名、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、MACアドレス、IPv6アドレス(手動)、IPv6アドレス(自動)
	QRコード表示	-
	ネットワーク設定画面へ	-
情報メニュー ☛ p.112	プロジェクター情報	使用時間、入力ソース、入力信号、入力解像度、リフレッシュレート、同期情報、ステータス、シリアル番号、Event ID
	光源情報	光源使用時間
	バージョン	Main
初期化メニュー ☛ p.113	リフレッシュモード	時間、開始
	光源キャリブレーション	今すぐ実行、定期的に実行、スケジュール設定画面へ
	全初期化	-

ネットワークメニュー

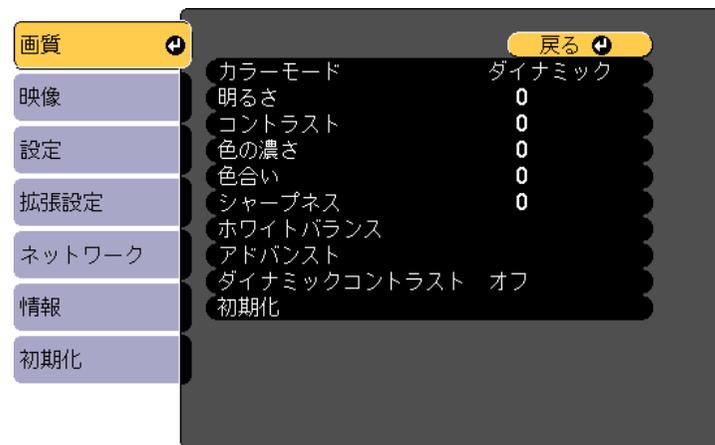
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー ☛ p.104	プロジェクター名	-
	PJLinkパスワード	-

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
無線LANメニュー ☛ p.105	Web制御パスワード	-
	モデレーターパスワード	-
	プロジェクターキーワード	オン、オフ
	キーワード通知	オン、オフ
	LAN情報表示	テキストとQRコード、テキスト
	接続モード	かんたんモード、マニュアルモード
	アクセスポイント検索	-
	SSID	-
	セキュリティー	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK、WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAP
	パスフレーズ	-
	EAP設定	EAP種類、ユーザー名、パスワード、クライアント証明書、サーバー証明書の検証、CA証明書、認証サーバー名
	チャンネル設定	1ch、6ch、11ch
IP設定	DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	
SSID表示	オン、オフ	
IPアドレス表示	オン、オフ	
IPv6設定	IPv6、自動構成、一時アドレスの使用	

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
有線 LAN メニュー ☛ p.108	IP設定	DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
	IPアドレス表示	オン、オフ
	IPv6設定	IPv6、自動構成、一時アドレスの使用
通知メニュー ☛ p.109	メール通知機能	オン、オフ
	SMTPサーバー	-
	ポート番号	-
	差出人	-
	宛先1設定、宛先2設定、宛先3設定	メールアドレス、ノースIGNAL、システム異常、レーザー異常、内部高温異常、レーザー警告、高温警告
	SNMP	オン、オフ
	トラップIPアドレス1、トラップIPアドレス2	-
	コミュニティ名	-
	PJLink通知	オン、オフ
	通知先IPアドレス	-
その他メニュー ☛ p.111	セキュアHTTP	オン、オフ
	Webサーバー証明書	-
	優先ゲートウェイ	有線LAN、無線LAN
	Crestron Connected	オン、オフ
	Art-Net	Art-Net、Net、Sub-Net、Universe、開始チャンネル
	メッセージ配信	オン、オフ

画質メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容はカラーモードごとに保持されます。



[Esc] / [⏪]:戻る [↵]:選択

[Menu]:終了

サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 ☛ 「映り具合を選ぶ (カラーモードの選択)」 p.52
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。

サブメニュー	機能
ホワイトバランス	<p>映像全体の色合いを調整します。</p> <p>[色温度]※1：映像全体の色合いを3200K～10000Kの14段階で調整します。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。[カラーモード]を[ダイナミック]に設定しているときは、設定した色温度と実際の投写光の色温度が大きく異なる場合があります。このメニューは目安としてご使用ください。</p> <p>[カスタム]：R(赤)、G(緑)、B(青)ごとにオフセットとゲインを調整します。</p>
アドバンスト	<p>[ガンマ]：補正値を選んだり、グラフを見ながら映像の発色を調整します。</p>
ダイナミックコントラスト※2	<p>[標準]または[高速]にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。映像のシーン変化に対してより早く光量を調整するときは[高速]を選択してください。</p>
初期化	<p>[画質]メニューのうち、[カラーモード]を除くすべての調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」 p.113</p>

※1 [カラーフィルター]が[ウォームホワイト]または[クールホワイト]のときは設定不可

☛ [設定] - [コンテンツ再生] - [エフェクト] - [カラーフィルター] p.98

※2 [マルチプロジェクション]が[オン]のときは設定不可

映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。



サブメニュー	機能
アスペクト	<p>映像のアスペクト比▶▶を設定します。</p> <p>☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.54</p>
アドバンスト	<p>[HDMIビデオレベル]：HDMI入力端子からの入力信号のビデオレベルを選択します。映像の黒浮きや白飛びが気になるときは、[拡張]に設定します。</p>
表示倍率	<p>本機を複数台使用して一つの映像を投写するときに、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。</p> <p>☛「映像を切り出して表示する」 p.64</p>
初期化	<p>[映像]メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」 p.113</p>

設定メニュー



[Esc] / [⏪]:戻る [◆]:選択

[Menu]:終了

サブメニュー	機能
台形補正	ゆがんだ画面を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「映像のゆがみを補正する」 p.49 [タテヨコ]： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 [Quick Corner]： 投写映像の4つの角を選んで補正します。
音量※1	音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。

サブメニュー	機能
明るさ設定	[光源モード]：([マルチプロジェクション]が[オフ]のときのみ設定可)光源の明るさを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [ノーマル]：明るさを落とさたくないときに選択します。使用時間の目安は約20,000時間です。 [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約50%になります。使用時間の目安は20,000時間です。 [ロング]：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約50%になります。使用時間の目安は約30,000時間です。 [カスタム]：明るさレベルを50～100%の範囲で設定します。 [明るさレベル]：([光源モード]が[カスタム]のときのみ設定可)光源の明るさを設定します。 ☛ 「明るさを設定する」 p.53
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 [オフ]に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【Menu】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。
ユーザーボタン	リモコンの【User】ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。以下の項目を割り当てられます。 [光源モード]、[マルチプロジェクション]、[情報]、[QRコード表示]、[メッセージ表示]、[明るさレベル]
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。 ☛ 「テストパターンを表示する」 p.48
コンテンツ再生	[エフェクト]※2：映像に適用するフィルターの設定を行います。 ☛ 「エフェクトを使用する」 p.45 [SDビューアー]：SDカード内のプレイリストを選択して再生します。 ☛ 「プレイリストを再生する」 p.38

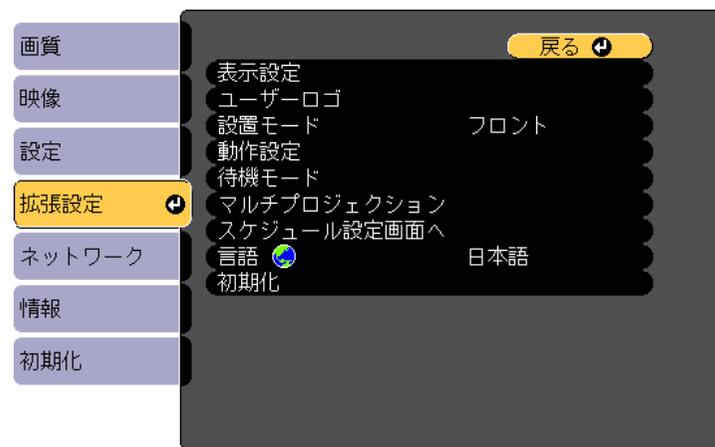
サブメニュー	機能
初期化	<p>[設定]メニューのうち[ユーザーボタン]を除くすべての調整値を初期値に戻します。</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛ 「初期化メニュー」 p.113</p>

※1 入力ソースがスポットライトの場合は設定不可

※2 以下のいずれかの場合は設定不可

- [エッジブレンディング]が[オン]のとき
- 入力ソースがSDプレーヤーで、書き込み不可のエラーとなっているとき
- 入力ソースがSDプレーヤーで、プレイリストを再生していないとき

拡張設定メニュー



[Esc] / [⏪]:戻る [↵]:選択

[Menu]:終了

サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>[メッセージ表示]: [オフ]に設定すると、次の表示がされなくなります。</p> <p>入力ソースやカラーモード、アスペクトを切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。</p> <p>[スタートアップスクリーン]*: [オン]にすると、投写開始時に[ユーザーロゴ]を表示します。</p> <p>[スタンバイ確認]: [オフ]に設定すると、【⏻】ボタンを1回押すだけで電源がオフになります。</p> <p>[ユニフォーミティー]: 画面全体の色味のバランスを調整します。</p> <p>☛ 「色むらを調整する (ユニフォーミティー)」 p.65</p>
ユーザーロゴ *	<p>背景表示、AVミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。</p> <p>☛ 「ユーザーロゴの登録」 p.70</p>

サブメニュー	機能
設置モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。 [フロント]、[フロント・天吊り]、[リア]、[リア・天吊り]</p> <p>【A/V Mute】 ボタンを約5秒間押し続けると、映像の向きを次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・天吊り] [リア] ↔ [リア・天吊り]</p>
動作設定	<p>【ダイレクトパワーオン】：[オン]にすると、コンセントに電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>【高地モード】：標高約1,500m以上でお使いの場合は[オン]にします。</p> <p>【オートパワーオン】：[HDMI]に設定すると、本機がスタンバイ状態でもHDMI入力端子から映像を受信したときに本機の電源が入ります。</p> <p>【インジケータ表示】：[オフ]に設定すると、本機のインジケータを消灯します。[オフ]の場合でも、異常時/警告時/スタンバイ時/ウォームアップ時は点灯します。</p> <p>【起動時入力設定】：プロジェクター起動時に入力するソースを設定します。</p> <p>【HDMI EQ 設定】：HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。スティック型端末を接続して映らない場合は、設定を[1]に変更してください。</p> <p>【日付&時刻】：本機のシステム時刻に関する設定を行います。  「日時の設定」 p.30</p>

サブメニュー	機能
待機モード	<p>【待機モード】：[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも本機のネットワーク監視・制御が可能です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> 本機を無線LAN経由で監視・制御するときは、[接続モード]を[マニュアルモード]に設定してください。  【ネットワーク】 - 【無線LAN】 - 【接続モード】 p.105</p> </div> <p>【通信ポート】：[待機モード]が[通信オン]のときに有効とする通信ポートを選択します。</p>

サブメニュー	機能
マルチプロジェクション	<p>本機を2台以上並べて使用するときの設定を行います。</p> <p>☛ 「複数台で一つの映像を投写する（マルチプロジェクション）」 p.60</p> <p>[マルチプロジェクション]：複数台並べて映像を調整する場合に、[オン]に設定します。</p> <p>[プロジェクターID]：1～9までのIDを設定します。[オフ]はIDを設定していない状態です。</p> <p>☛ 「プロジェクターのID設定」 p.61</p> <p>[カラーモード]：使用シーンに応じて、画質を選択できます。</p> <p>☛ 「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.52</p> <p>[ユニフォーミティー]：画面全体の色味のバランスを調整します。</p> <p>☛ 「色むらを調整する（ユニフォーミティー）」 p.65</p> <p>[エッジブレンディング]：各映像のつなぎ目を補正し、目立たなくします。</p> <p>☛ 「映像のつなぎ目を調整する（エッジブレンディング）」 p.62</p> <p>[表示倍率]：本機を複数台使用して1つの映像を投写するときに、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。</p> <p>☛ 「映像を切り出して表示する」 p.64</p> <p>[明るさ設定]：光源の明るさを設定します。</p> <p>☛ 「エフェクトの明度を調整する」 p.47</p> <p>[カラーマッチング]：各映像の色合いや明るさの差を補正します。</p> <p>☛ 「色合いを調整する（カラーマッチング）」 p.67</p> <p>[初期化]：[マルチプロジェクション]メニューの調整値を初期値に戻します。</p>
スケジュール設定画面へ	<p>プロジェクターが決まった時刻に特定の動作をするスケジュールを設定します。</p> <p>☛ 「イベントスケジュールを設定する」 p.71</p>
言語	<p>メッセージやメニューに表示する言語を設定します。</p>

サブメニュー	機能
初期化	<p>[拡張設定]メニューの調整値を初期値に戻します。ただし、以下の項目を除きます。</p> <p>[ユニフォーミティー]、[設置モード]、[高地モード]、[HDMI EQ 設定]、[待機モード]、[通信ポート]、[マルチプロジェクション]、[プロジェクターID]、[カラーモード]、[カラーマッチング]、[言語]</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛ 「初期化メニュー」 p.113</p>

- ※ [パスワードプロテクト]の[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。
- ☛ 「パスワードプロテクトの種類」 [p.73](#)

ネットワークメニュー

[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

☛ 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 p.73



サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機とコンピューターを無線LANで接続するときは[オン]に設定します。無線LANで接続しないときは、[オフ]に設定しておくことで他人からの不正なアクセスなどを防ぐことができます。

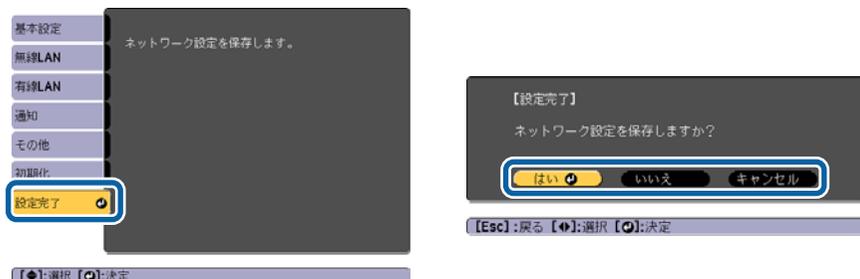
サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 無線LAN	<p>以下のネットワーク設定状況を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード <p>[IPv6]を選択すると以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPv6アドレス(手動)： IPv6アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス • IPv6アドレス(自動)： 一時アドレス、リンクローカルアドレス、ステートレスアドレス、ステートフルアドレス
ネットワーク情報 - 有線LAN	<p>以下のネットワーク設定状況を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • IPv6アドレス(手動)： IPv6アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス • IPv6アドレス(自動)： 一時アドレス、リンクローカルアドレス、ステートレスアドレス、ステートフルアドレス
QRコード表示	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。

サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 [基本設定]、[無線LAN]、[有線LAN]、[通知]、[その他]、[初期化]

ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず[設定完了]メニューを選択して、[はい]、[いいえ]、[キャンセル]のいずれかを選択します。[はい]または[いいえ]を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



[はい]： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。

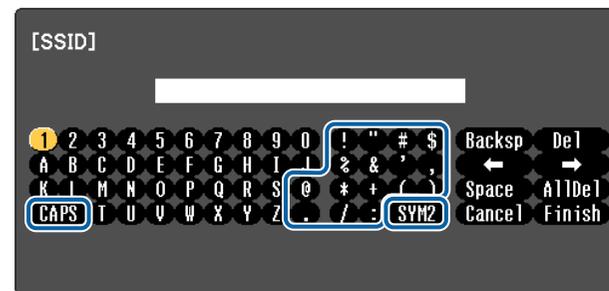
[いいえ]： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。

[キャンセル]： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで目的のキーにカーソルを移動し、【↵】ボタンを押し

て入力します。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。

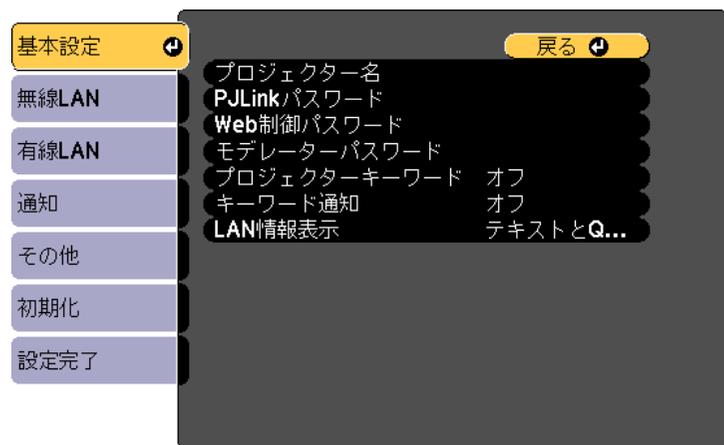


- [CAPS]キーを選択し、【↵】ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
- [SYM1/2]キーを選択し、【↵】ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。

入力できる文字の種類は以下のとおりです。

数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[¥]^_`{ }~

基本設定メニュー

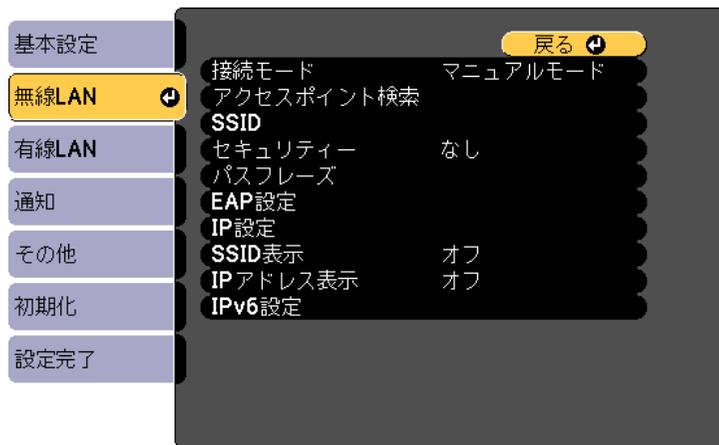


[Esc] / [⏪]: 戻る [↩]: 選択

サブメニュー	機能
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。(*, +, /, ;, <, =, >, ? [¥] ` スペースは使用不可。)
PJLink パスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。(記号とスペースは使用不可。) ☛ 「PJLinkについて」 p.144
Web 制御 パスワード	Epson iProjectionやEpson Web Controlで本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字8文字以内で入力します>(*: スペースは使用不可)。デフォルトのユーザー名は「EPSONWEB」、デフォルトのパスワードは「admin」です。 ☛ 「モバイルデバイスやコンピューターでプロジェクターを操作する」 p.40

サブメニュー	機能
モデレーターパスワード	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを4桁の数字で入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
プロジェクターキーワード	[オン]にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
キーワード通知	[オン]にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。[プロジェクターキーワード]が[オン]に設定されているときのみ有効です。
LAN情報表示	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけでネットワーク接続ができるようになります。初期値は、[テキストとQRコード]に設定されています。

無線LANメニュー



[Esc] / [◀]: 戻る [▶]: 選択

サブメニュー	機能
接続モード	本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを設定します。 [かんたんモード]：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。 [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。インフラストラクチャーモードで接続が構成されます。
アクセスポイント検索	接続モードを[マニュアルモード]に設定しているときに、周囲のアクセスポイントを検索し、その中から接続するSSIDを指定できます。アクセスポイントの設定によっては一覧に表示されない場合があります。 ☛ 「アクセスポイント検索画面」 p.107
SSID	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。

サブメニュー	機能
セキュリティ	無線LANの設定に合わせてセキュリティの種類を選択します。 [なし]：セキュリティを設定しません。 [WPA2-PSK]：WPA2によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスワードに設定した値を入力してください。 [WPA/WPA2-PSK]※：WPAパーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスワードを設定します。 [WPA2-EAP]※：WPA2によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化方式にはAESを使用します。 [WPA/WPA2-EAP]※：WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
パスワード	[セキュリティ]で[WPA2-PSK] または [WPA/WPA2-PSK]を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスワードを入力します。 半角英数字で8文字以上、63文字まで入力できます。 環境設定メニューで入力できる文字数は32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 ☛ 「Epson Web Control (Webブラウザー) で操作する」 p.40 接続モードが[かんたんモード]に設定されているときは、初期状態でパスワードが設定されています。

サブメニュー	機能
EAP設定	<p>WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAPの認証用プロトコルを設定します。</p> <p>[EAP種類]：認証プロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [PEAP]：Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。 • [PEAP-TLS]：Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に選択します。 • [EAP-TLS]：一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。 • [EAP-FAST]、[LEAP]：これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。 <p>[ユーザー名]：認証に使用するユーザー名を入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。</p> <p>環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p> 「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40</p> <p>ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します(ドメイン名\ユーザー名)。</p> <p>[パスワード]：PEAP、EAP-FAST、LEAPで認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p> 「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40</p> <p>パスワードを入力し、[Finish]を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。</p> <p>[クライアント証明書]：PEAP-TLS、EAP-TLSで使用するクライアント証明書をインポートします。</p> <p>[サーバー証明書の検証]：[オン]に設定すると、認証サーバーの証明書の正当性を検証します。サーバー証明書を検証するためのCA証明書を設定する必要があります。</p>

サブメニュー	機能
	<p>[CA証明書]：PEAP、PEAP-TLS、EAP-TLS、EAP-FASTで使用するCA証明書をインポートします。</p> <p>[認証サーバー名]：認証サーバーの名前を指定します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。</p>
チャンネル設定	<p>かんたんモードで接続するとき使用するチャンネルを選択できます。他の電波の干渉を受けるときは、別のチャンネルに設定してください。</p>
IP設定*	<p>ネットワークの設定を行います。</p> <p>[DHCP]：[オン]にすると、DHCP▶を使用してネットワークを設定します。ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>[IPアドレス]：本機に割り当てるIPアドレス▶を入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)</p> <p>[サブネットマスク]：本機のサブネットマスク▶を入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>[ゲートウェイアドレス]：本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)</p>
SSID表示	<p>LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、[オフ]に設定します。</p>
IPアドレス表示	<p>LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。</p>

サブメニュー	機能
IPv6設定	<p>IPv6プロトコルを使用するための設定をします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> 本機では以下の機能がIPv6プロトコルに対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> - Epson Web Control - PLink 手動でIPv6アドレスを設定する場合は、Epson Web Controlの[詳細設定]で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ☛「モバイルデバイスやコンピューターでプロジェクターを操作する」 p.40 </div> <p>[IPv6]：IPv6プロトコルを使用するときは[オン]にします。IPv6使用中は必ず1個のリンクローカルアドレスが設定されています。fe80::と本機のMACアドレスから生成されたインターフェイスIDで構成されます。</p> <p>[自動構成]：RA(Router Advertisement)からIPv6アドレスを自動で取得する場合は[オン]にします。アドレスの構成は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ステートレスアドレス(0～6個)：RA(Router Advertisement)から取得したプレフィックスと本機のMACアドレスから生成されたインターフェイスIDを組み合わせアドレスを自動構成します。 ステートフルアドレス(0～1個)：DHCPv6を使ってDHCPサーバーからアドレスを自動で構成します。 <p>[一時アドレスの使用]：[自動構成]が[オン]のときに一時IPv6アドレス(0～1個)を有効にするには[オン]にします。</p>

※ 接続モードを[マニュアルモード]に設定しているときのみ選択可能。

セキュリティの種類

マニュアルモードでお使いの際は、必ずセキュリティの設定を行うことをお勧めします。

WPAは無線ネットワークのセキュリティー強度を向上するための暗号化規格です。本機は暗号化方式TKIPとAESに対応しています。

WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、認証サーバーを使う方法と、認証サーバーは使わずコンピューターとアクセスポイントの間で認証を行う方法があります。本機は、認証サーバーを使わない認証方法に対応しています。



設定の作業は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従って行ってください。

アクセスポイント検索画面

検出されたアクセスポイントが一覧で表示されます。

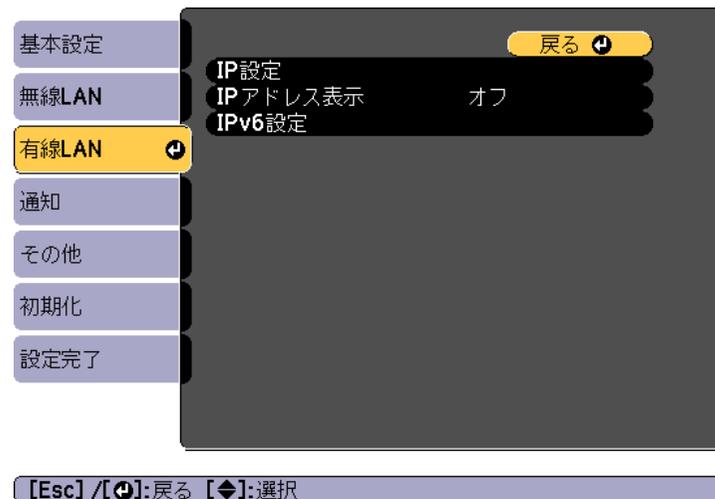


[Esc] / [⏪]: 戻る [⏩]: 選択

サブメニュー	機能
更新	アクセスポイントを再検出します。
	すでに設定済みのアクセスポイントを表します。

サブメニュー	機能
	<p>セキュリティーが設定されているアクセスポイントを表します。</p> <p>セキュリティーが設定されていないアクセスポイントを選択すると、無線LANメニューに移行します。</p> <p>セキュリティーが設定されているアクセスポイントを選択すると、セキュリティーメニューに移行します。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、設定するセキュリティーの種類を選択してください。</p>

有線LANメニュー



The screenshot shows the '有線LAN' (Wired LAN) menu. On the left is a vertical list of menu items: '基本設定', '無線LAN', '有線LAN' (highlighted), '通知', 'その他', '初期化', and '設定完了'. On the right, the '有線LAN' settings are displayed: 'IP設定', 'IPアドレス表示' (set to 'オフ'), and 'IPv6設定'. A yellow '戻る' (Back) button is at the top right. At the bottom, a status bar shows '[Esc] / [⏪]: 戻る' and '[⏩]: 選択'.

サブメニュー	機能
IP設定	<p>以下のアドレスに関する設定を行います。</p> <p>[DHCP]：[オン]にすると、DHCP▶▶を使用してネットワークを設定します。ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>[IPアドレス]：本機に割り当てるIPアドレス▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p> <p>[サブネットマスク]：本機のサブネットマスク▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>[ゲートウェイアドレス]：本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p>
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

サブメニュー	機能
IPv6設定	<p>IPv6プロトコルを使用するための設定をします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ● 本機では以下の機能がIPv6プロトコルに対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> - Epson Web Control - PjLink ● 手動でIPv6アドレスを設定する場合は、Epson Web Controlの[詳細設定]で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「モバイルデバイスやコンピューターでプロジェクターを操作する」 p.40 </div> <p>[IPv6]：IPv6プロトコルを使用するときは[オン]にします。IPv6使用中は必ず1個のリンクローカルアドレスが設定されています。fe80::と本機のMACアドレスから生成されたインターフェイスIDで構成されます。</p> <p>[自動構成]：RA(Router Advertisement)からIPv6アドレスを自動で取得する場合は[オン]にします。アドレスの構成は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ステートレスアドレス(0～6個)：RA(Router Advertisement)から取得したプレフィックスと本機のMACアドレスから生成されたインターフェイスIDを組み合わせでアドレスを自動構成します。 ● ステートフルアドレス(0～1個)：DHCPv6を使ってDHCPサーバーからアドレスを自動で構成します。 <p>[一時アドレスの使用]：[自動構成]が[オン]のときに一時IPv6アドレス(0～1個)を有効にするには[オン]にします。</p>

通知メニュー

プロジェクターが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

 「異常通知メールの見方」 p.143


[Esc]/[⏪]:戻る [↔]:選択

サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1~65535までの有効な数値を入力できます。
差出人	送信者のメールアドレスを入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。("(),,;<>[\]スペースは使用不可。)  「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40

サブメニュー	機能
宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定	通知メールの送信先のメールアドレスと、通知する内容を設定します。送信先は最大3件まで登録できます。半角英数字で最大64文字まで入力できます。環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。("(),,;<>[\]スペースは使用不可。)  「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40
SNMP	[オン]にすると、SNMP▶▶を使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。初期値は[オフ]に設定されています。
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
コミュニティー名	SNMPのコミュニティー名を設定します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。(記号とスペースは使用不可。)
PJLink通知	PJLinkの通知機能を使うときは[オン]に設定します。
通知先IPアドレス	PJLinkの通知機能により本機の動作状態を通知するコンピューターのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)

その他メニュー



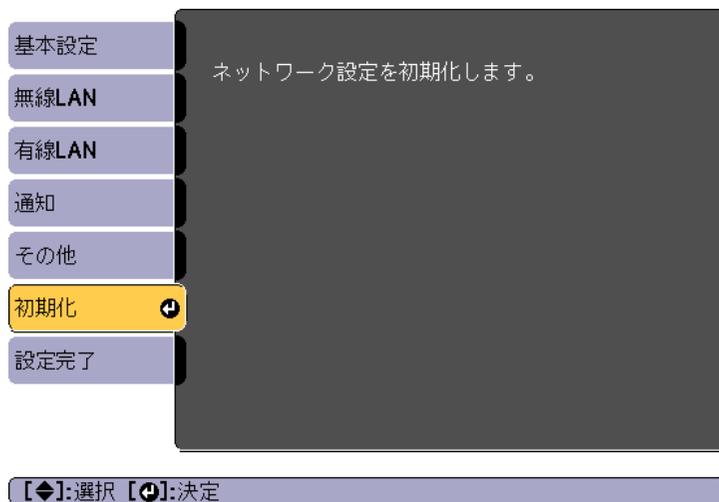
[Esc] / [⏪]: 戻る [⏩]: 選択

サブメニュー	機能
Art-Net	<p>[Art-Net] : Art-Netを使ってプロジェクターを制御するときは[オン]に設定します。</p> <p>☛ 「Art-Net(について)」 p.150</p> <p>[Net]/[Sub-Net]/[Universe] : プロジェクターのNet/Sub-Net/Universeを設定します。</p> <p>[開始チャンネル] : Art-Netを処理する開始チャンネルを設定します。</p> <p>☛ 「チャンネル定義」 p.150</p>
メッセージ配信	<p>Epson Projector Managementのメッセージ配信機能で配信された情報を受信するには[オン]に設定します。</p> <p>ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。</p> <p>http://www.epson.jp/download/</p>

サブメニュー	機能
セキュアHTTP	Epson Web Controlでのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をEpson Web Controlで行う場合は、[オン]に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	セキュアHTTPで使用するWebサーバー証明書をインポートします。
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを[有線]/[無線]のどちらにするか選択します。
Crestron Connected	<p>Crestron Connected®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。</p> <p>☛ 「Crestron Connected®(について)」 p.145</p> <p>設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。[オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Epson Projector Managementのメッセージ配信機能

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。



サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[はい]を選択します。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。



サブメニュー	機能	
プロジェクター情報	使用時間※	プロジェクターの電源をオンにしてからの使用時間を表示します。
	入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
	入力信号	[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
	入力解像度	入力解像度を表示しています。
	リフレッシュレート	リフレッシュレート▶を表示しています。
	同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

サブメニュー		機能
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	ネットワークを介して本機とコンピューターを接続しているときにトラブルが生じると、トラブルの内容が番号(Event ID)で表示されます。Event IDの見方は、次を参照してください。 ☞ 「Event IDについて」 p.136
光源情報	光源使用時間	光源モード別に光源の使用時間を表示します。
バージョン	Main	本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



[Esc] / [⏪]: 戻る [↩]: 選択

[Menu]: 終了

サブメニュー	機能
リフレッシュモード	☞ 「リフレッシュモード」 p.140
光源キャリブレーション	光源キャリブレーションに関する設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [今すぐ実行]：光源キャリブレーションを開始します。以下の場合、[今すぐ実行]は使えません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の電源を入れて20分以内のとき ・ 使用する環境の温度が高く、光源の明るさが自動的に落ちている状態のとき • [定期的に実行]：[オン]に設定すると、使用時間が100時間を経過するたびに光源キャリブレーションを行います。 • [スケジュール設定画面へ]：スケジュール設定画面を表示します。光源キャリブレーションを定期的に実行するよう設定してください。

サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [ユーザーロゴ]、[ネットワーク]メニューの全項目、 [言語]、[日付&時刻]、[ユニフォーミティー]、[カラー マッチング]、[光源情報]、[使用時間]は初期値に戻り ません。

1台のプロジェクターで設定した環境設定メニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます(一括設定機能)。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下のいずれかの方法で設定します。

- SDカードを使って設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

本書では、SDカードを使う方法を説明します。



- 以下の内容は一括設定機能では反映されません。
 - ネットワークメニューの設定(通知メニュー、その他メニューを除く)
 - 情報メニューのステータス、光源情報
- 投写画面の調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、台形補正などの投写画面の調整値も反映されます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

注意

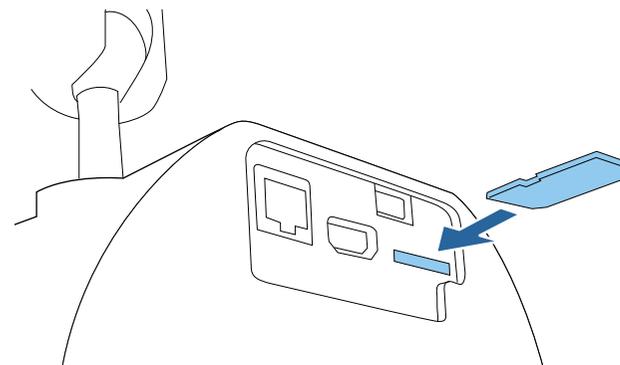
一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

SDカードを使って設定する

SDカードを使って一括設定する方法を説明します。

設定値をSDカードに保存する

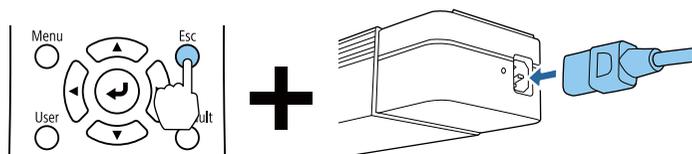
- 1** プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認します。
- 2** SDカードをプロジェクターに挿入します。



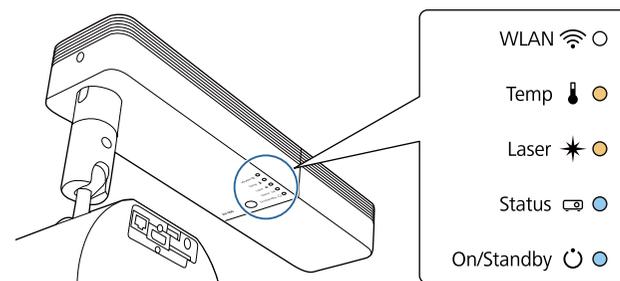


- 空のSDカードを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- SDカード内に他のプロジェクターの一括設定ファイルを保存しているときは、ファイルを削除するかファイル名を変更してください。一括設定機能では、一括設定ファイルの上書きはできません。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

3 【Esc】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続します。



プロジェクターのインジケータが以下のように点灯したら、【Esc】ボタンを離してください。



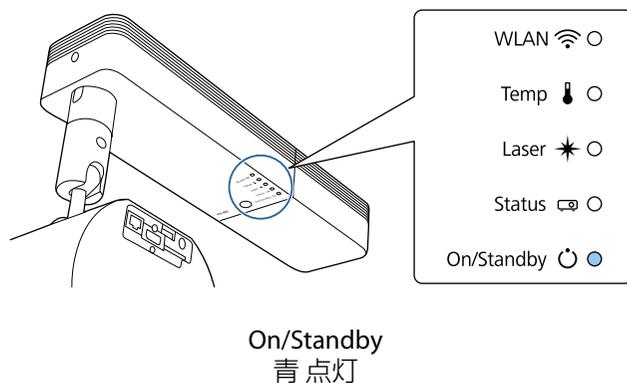
On/Standby	Status	Laser	Temp
青点灯	青点灯	橙点灯	橙点灯

インジケータが点滅になると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

⚠ 注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからSDカードを抜かないでください。SDカードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

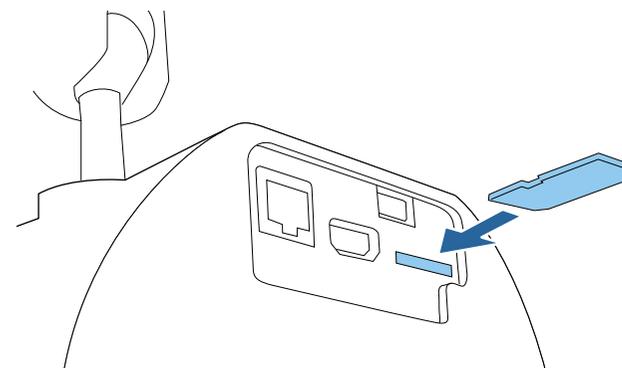
書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。



プロジェクターがスタンバイ状態になったら、SDカードを抜きます。

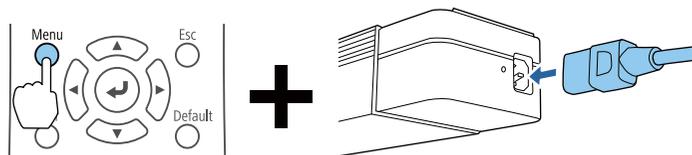
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認します。
- 2 設定値が保存されているSDカードを、プロジェクターに挿入します。

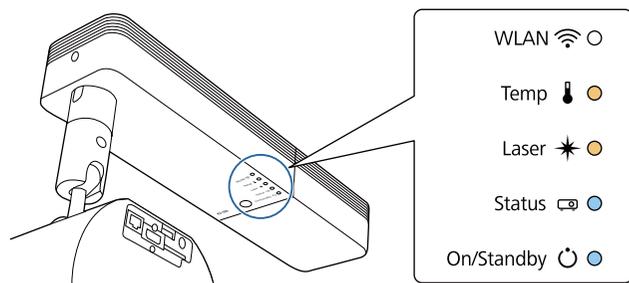


- SDカード内の一括設定ファイルが1~3種類あるとき、同じ型番のプロジェクターのファイルを反映します。同じ型番のプロジェクターのファイルが2つ以上あるときは、設定値が正常に反映できないことがあります。
- SDカード内に4種類以上の一括設定ファイルがあるとき、設定値が正常に反映できないことがあります。
- SDカードには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 【Menu】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続します。



プロジェクターのインジケータが以下のように点灯したら、【Menu】ボタンを離します。



On/Standby	Status	Laser	Temp
青点灯	青点灯	橙点灯	橙点灯

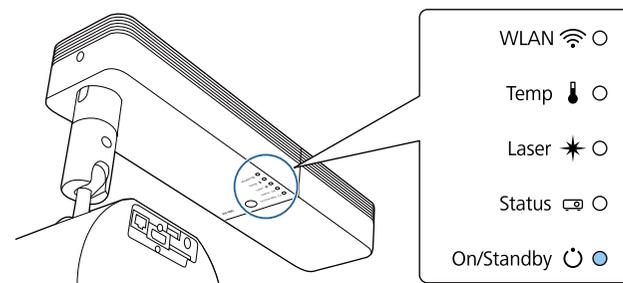
インジケータは、約75秒点灯します。

すべてのインジケータが点滅になると、設定値の書き込みが始まります。

注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからSDカードを抜かないでください。SDカードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

4 書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。



On/Standby
青点灯

プロジェクターがスタンバイ状態になったら、SDカードを抜きます。

設定がうまくいかないときは

エラーが生じたときは、インジケータでお知らせします。インジケータの状態をご確認ください。

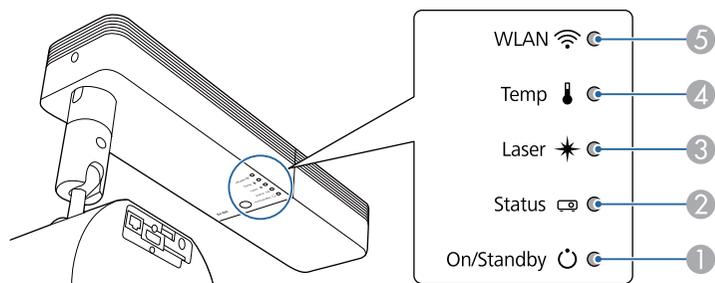
インジケータの状態	対処法
WLAN  ○ Temp   Laser   Status  ○ On/Standby  ○ Temp：橙 速点滅 Laser：橙 速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、SDカードが正しく接続できていない可能性があります。SDカードを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
WLAN  ○ Temp   Laser   Status   On/Standby   Temp：橙 速点滅 Laser：橙 速点滅 Status：青 速点滅 On/Standby：青 速点滅	設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』



困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

本機には、次の5種類のインジケータがあり本機の状態をお知らせします。



- ① On/Standbyインジケータ
本機の状態をお知らせします。
- ② Statusインジケータ
本機の状態をお知らせします。
- ③ Laserインジケータ
光源の状態をお知らせします。
- ④ Tempインジケータ
内部温度の状態をお知らせします。通常は消灯しています。
- ⑤ WLANインジケータ
無線LANの状態をお知らせします。

通常動作時のインジケータ表示は以下のとおりです。

状態依存とは、エラーが起きたときのプロジェクター本体の状態によって、点灯、点滅、もしくは消灯していることを示しています。

インジケータ				本機の状態	説明
On/Standby	Status	Laser	Temp		
● 青点灯	○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	スタンバイ状態	本機に電源が供給されている状態です。この状態でリモコンまたは本機の【⏻】ボタンを押すと投写を開始します。 (電源コードを抜いてもOn/Standbyインジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません)。
				ネットワーク監視状態	ネットワーク経由で、本機の監視と制御を行っている状態です([待機モード]を[通信オン]にしているとき)。 この状態のときに電源コードの抜き差しをすると、On/Standbyインジケータが青色に点滅します。
● 青点灯	⚡ 青点滅	○ 消灯	○ 消灯	ウォームアップ状態	本機の電源を入れた直後の状態です。光源の点灯後、約30秒間ウォームアップ状態になります。 ウォームアップ中は【⏻】ボタンの操作が無効になります。

インジケータ				本機の状態	説明
On/Standby	Status	Laser	Temp		
● 青点灯	● 青点灯	○ 状態依存	○ 消灯	投写中	映像を投写中の状態です。
● 青点灯	⦿ 青点滅	○ 消灯	○ 消灯	クールダウン状態	電源を切った直後の状態です。この状態のときは、すべてのボタン操作が無効になります。
⦿ 青点滅	○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	ネットワーク監視準備中	ネットワーク経由で、本機の監視と制御を行う準備をしています。ネットワーク監視準備中は全ボタン操作が無効になります。
● 青点灯	● 青点灯	○ 消灯	○ 消灯	A/Vミュート実行中	A/Vミュート実行中の状態です。
○ 状態依存	⦿ 青点滅	⦿ 橙点滅	● 状態依存	リフレッシュモード実行中	リフレッシュモード実行中の状態です。

本機にエラーが発生したときなどには、各インジケータの色と点滅/点灯の組み合わせでエラー状態をお知らせします。

インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータ				原因	処置または状態
On/Standby	Status	Laser	Temp		
○ 消灯	 青点滅	 橙点滅	○ 消灯	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 「お問い合わせ先」
○ 消灯	 青点滅	○ 消灯	 橙点滅	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 「お問い合わせ先」
○ 消灯	 青点滅	○ 消灯	 橙点灯	内部高温異常 (オーバーヒート)	光源が自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になります。 次の3点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 吸気口・排気口・本機側面の溝がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • 吸気口・排気口・本機側面の溝にホコリが付着している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除をします。 ☛ 「本機の掃除」 p.139 ☛ 「吸気口および排気口の掃除」 p.139 • 吸気温度が高すぎないか確認します。 確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 「お問い合わせ先」
					標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 ☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.99
○ 消灯	 青点滅	 橙点灯	○ 消灯	レーザー異常 位相差板異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 「お問い合わせ先」

インジケータ				原因	処置または状態
On/Standby	Status	Laser	Temp		
 青点滅	● 状態依存	● 状態依存	 橙点滅	高温警告	異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。次の2点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口・排気口・本機側面の溝がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 ● 吸気口・排気口・本機側面の溝にホコリが付着している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除をします。 <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「本機の掃除」 p.139 ☛ 「吸気口および排気口の掃除」 p.139 ● 吸気温度が高すぎないか確認します。
 青点滅	● 状態依存	 橙点滅	● 状態依存	レーザー警告	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 <ul style="list-style-type: none"> ☛ 『お問い合わせ先』

無線LANの状態

WLANインジケータの状態	状態と対処方法
● 青点灯	無線LANを使用できます。
 速い青点滅	機器に接続中です。
 遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
○ 消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。



- インジケータは異常を示していないのに、投写映像に異常があるときは以下をご覧ください。
 - ☛ 「故障かなと思ったら」 [p.126](#)
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
 - ☛ 『[お問い合わせ先](#)』

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> • 映像が表示されない 投写を開始しない、真っ黒の映像になる、青い映像になる 	☞p.127
<ul style="list-style-type: none"> • 動画が表示されない 再生する動画が黒くなり映像が投写されない、コンピューターで動画が再生されない。 	☞p.127
<ul style="list-style-type: none"> • プレイリストが再生されない 	☞p.128
<ul style="list-style-type: none"> • 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される 	☞p.128
<ul style="list-style-type: none"> • 「映像信号が入力されていません。」と表示される 	☞p.128
<ul style="list-style-type: none"> • ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ 	☞p.129
<ul style="list-style-type: none"> • ノイズが入る、乱れる 	☞p.129
<ul style="list-style-type: none"> • 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない、反転している 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない、映像の上下左右が反転している 	☞p.129
<ul style="list-style-type: none"> • 色合いが違う 全体が赤紫がかっている、緑色がかっている、モノクロになる、色がくすむ 	☞p.130
<ul style="list-style-type: none"> • 暗い 	☞p.131
<ul style="list-style-type: none"> • 液晶パネルの焼き付きがある 	☞p.131

投写開始時のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> • 電源が入らない 	☞p.131
---	--------

ネットワークに関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> • 無線LAN認証できない 	☞p.132
<ul style="list-style-type: none"> • Webブラウザを使って設定を変更できない 	☞p.132

<ul style="list-style-type: none"> • Webブラウザを使ってSDカードを操作できない(プレイリストの保存、削除、素材のアップロード) 	☞p.132
<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない 	☞p.133
<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク経由で投写した映像が乱れる 	☞p.133

その他のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> • 音が出ない、小さすぎる 	☞p.133
<ul style="list-style-type: none"> • リモコンで操作できない 	☞p.134
<ul style="list-style-type: none"> • メッセージやメニューの言語を変更したい 	☞p.134
<ul style="list-style-type: none"> • パスワードが入力できない 	☞p.135
<ul style="list-style-type: none"> • 「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される 	☞p.135
<ul style="list-style-type: none"> • 詳細なログやエラーメッセージが表示されない 	☞p.135
<ul style="list-style-type: none"> • Art-Netでの制御がうまくできない 	☞p.135

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
リモコンまたは本機の【 ⏻ 】ボタンを押しましたか？	【 ⏻ 】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源コードを正しく接続してください。 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	【A/V Mute】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.58
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛ [初期化] - [全初期化] p.113
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
Windows Media Centerを全画面表示にしていませんか？ (ネットワーク接続時のみ)	Windows Media Centerを全画面で表示すると、ネットワーク接続で投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ (ネットワーク接続時のみ)	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

動画が表示されない

確認	対処法
コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	コンピューター側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピューターに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。
動画コンテンツが著作権保護されていませんか？	著作権保護された動画コンテンツをコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

プレイリストが再生されない

確認	対処法
SDカードにプレイリストが保存されていますか？	プレイリストがSDカードに正しく保存されていない可能性があります。SDカード内のデータをご確認ください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ (コンピューター投写時のみ)	コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などをご確認ください。 ☛「対応解像度一覧」 p.158

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか、またはSDカードが正しく挿入されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。
接続した入力端子を正しく選択していますか？	投写したい入力ソースに応じて、リモコンの【HDMI】、【LAN】、または【SD ▶】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.36
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛ コンピューターの取扱説明書など

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	映像を投写し始めてから20分以上たっていることを確認し、リモコンの【Focus】ボタンを押して、ピントを調整します。 ☛「ピントのズレを補正する」p.49
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」p.156
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているかまたはSDカードが正しく挿入されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。 ☛「各種機器との接続」p.24
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」p.158 ☛コンピューターの取扱説明書など

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない、反転している

確認	対処法
アスペクトは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの[アスペクト]から入力信号に合ったアスペクトを選択してください。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.54
[表示倍率]を有効にしていませんか？	環境設定メニューの[表示倍率]を[オフ]にしてください。 ☛[映像] - [表示倍率] - [表示倍率] p.97

確認	対処法
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	接続しているコンピューターのコントロールパネルの[画面のプロパティ]でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.158 ☛ コンピューターの取扱説明書など
映像の向きは正しいですか？	環境設定メニューの[設置モード]で正しく設定してください。 ☛ 「映像の向き（設置モード）の設定」 p.28

色合いが違う

確認	対処法
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[明るさ]を調整してください。 ☛ [画質] - [明るさ] p.96
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているかまたはSDカードが正しく挿入されているか確認します。ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。 ☛ 「各種機器との接続」 p.24
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質] - [コントラスト] p.96
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの[ガンマ]を調整してください。 ☛ [画質] - [アドバンスト] p.96
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[色の濃さ]、[色合い]を調整してください。 ☛ [画質] - [色の濃さ]、[色合い] p.96
光源キャリブレーションは正しく設定されていますか？	複数台で投写し、一部のプロジェクターだけ色合いが変わってしまう場合は、光源キャリブレーションが実行された可能性があります。 すべてのプロジェクターで、光源キャリブレーションを実行してください。 ☛ [初期化] - [光源キャリブレーション] p.113 光源キャリブレーションを自動で開始したくない場合は、[定期的に実行]を[オフ]に設定してください。 ☛ [初期化] - [光源キャリブレーション] - [定期的に実行] p.113

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューから[明るさ]や[明るさ設定]の設定を確認してください。  [画質] - [明るさ] p.96  [設定] - [明るさ設定] p.98
<u>コントラスト</u> ▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。  [画質] - [コントラスト] p.96

液晶パネルの焼き付きがある

確認	対処法
焼き付きを軽減します。	環境設定メニューの[リフレッシュモード]で[開始]を選択してください。  「リフレッシュモード」 p.140

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
リモコンまたは本機の【⏻】ボタンを押しましたか？	【⏻】ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いて差し直してください。 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源コードが接触不良を起こしているか、電源コードが故障している可能性があります。電源コードを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。  『お問い合わせ先』
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。  [設定] - [リモコン受光部] p.98

確認	対処法
ダイレクトシャットダウンをした直後に電源コードのプラグを差し直したかブレーカーをオンにしていますか？	[ダイレクトパワーオン]を[オン]に設定しているときに左記の操作をすると電源が入らないことがあります。 【⏻】 ボタンを押して電源を入れます。

ネットワークに関するトラブル

無線LAN認証できない

確認	対処法
日時の設定を確認します。	無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[拡張設定]メニューで[日付&時刻]を設定し直してください。 ☛ 「日時の設定」 p.30
セキュリティの設定を確認します。	[ネットワーク]メニューで[セキュリティ]の設定を確認します。 ☛ 「無線LANのセキュリティを設定する」 p.84

Webブラウザを使って設定を変更できない

確認	対処法
正しいユーザー名とパスワードになっていますか？	Webブラウザからホーム画面を開くときは、ユーザー名に「EPSONWEB」と入力します。(ユーザー名は変更できません。)[リモコン]機能以外の項目のパスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは「admin」です。 ☛ [ネットワーク]-[基本設定]-[Web制御パスワード] p.104
プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権はありますか？	ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、ホーム画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

Webブラウザを使ってSDカードを操作できない(プレイリストの保存、削除、素材のアップロード)

確認	対処法
SDカードを書き込みロックにしていますか？	SDカードの書き込みロックを解除してください。

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
[待機モード]を[通信オン]に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの[待機モード]を[通信オン]に設定します。また、お使いのネットワーク環境に合わせて[通信ポート]を変更してください。 ☛ [拡張設定]-[待機モード] p.99
本機に電源が供給されていますか？	本機が設置されている地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメール通知機能が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの[通知]の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛ 「通知メニュー」 p.109

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

確認	対処法
電波状況を確認します。	アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているときは、近づけて接続します。 映像の表示が遅いときや、投写映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。

その他のトラブル

音が出ない、小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio Out端子からケーブルを抜いて差し直してください。
プロジェクターの音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛ [設定]-[音量] p.98 ☛ 「音量を調整する」 p.57

確認	対処法
コンピューターまたは映像機器の音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。
AVミュートの状態になっていませんか？	【AV Mute】ボタンを押してAVミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す (AVミュート)」 p.58

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☛「リモコンの操作可能範囲」 p.26
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離をご確認ください。 ☛「リモコンの操作可能範囲」 p.26
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.98
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☛「リモコンの電池を入れる」 p.26

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
[言語]の設定を変更します。	環境設定メニューの[言語]で目的の言語を選択してください。 ☛ [拡張設定] - [言語] p.99

パスワードが入力できない

確認	対処法
パスワードを設定していますか？	パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード「0000」を入力します。
正しいパスワードを入力していますか？	誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
リモコンはありますか？	リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される

確認	対処法
時刻を保持する内部電源の残量が低下している可能性があります。	お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  【お問い合わせ先】

詳細なログやエラーメッセージが表示されない

確認	対処法
瞬時の電圧低下、瞬時停電、電源を切った直後にすぐ電源を入れたときなど、環境によってはエラーや警告を表示できない場合があります。	電源ボタンでオフにするか電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過した後に、再度電源をオンにするか電源プラグをコンセントに接続してください。電源が入ったら、ステータス情報を確認してください。

Art-Netでの制御がうまくできない

確認	対処法
Art-Netでの制御中に、リモコンで本機を操作していませんか？	Art-Netで制御しながらリモコンで本機を操作すると、DMXコントローラーやアプリケーションソフトでの操作が本機にうまく反映されないことがあります。すべてのチャンネルの制御を本機に反映するときは、チャンネル13を「操作不可」に設定し、再度「操作可能」に設定してください。  「Art-Netについて」 p.150

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。 ☛ [ネットワーク] - [無線LAN] p.105
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定を[オフ]にしてください。 ☛ [ネットワーク] - [無線LAN] p.105、[有線LAN] p.108
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☛ 『お問い合わせ先』
089A	EAP認証タイプが不一致です。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。 ☛ [ネットワーク] - [無線LAN] p.105
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。	

Event ID	要因	対処法
089D	鍵交換が失敗しました。	
0920	時刻を保持する内部電源の残量が低下しています。	お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞ 「お問い合わせ先」



メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意

掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを落としてください。感電の原因となることがあります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

本機側面の溝に入ったホコリは掃除機で吸い取ってください。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

警告

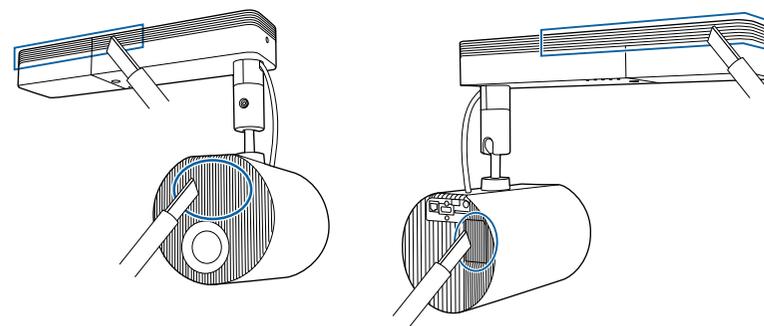
レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

吸気口および排気口の掃除

掃除機で吸気口および排気口のホコリを表側から吸い取ります。



ユニフォーミティー

投写映像の色むらが気になるときは、ユニフォーミティーで調整します。

☛ 「色むらを調整する（ユニフォーミティー）」 p.65

リフレッシュモード

静止画像や動きの少ない映像を長時間投写すると、映像に残像(焼き付き)が残ることがあります。

焼き付きが気になるときは、リフレッシュモードで軽減します。

☛ [初期化]-[リフレッシュモード] p.113

設定した時間が経過すると電源がオフになります。



- エフェクト機能を使うときは、リフレッシュモードを定期的に実行してください。
- リフレッシュモードを実行しても、残像(焼き付き)が見えるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
☛ 『お問い合わせ先』
- 次の状態では、リフレッシュモードが自動停止してから電源がオフになります。
 - ・ メッセージ配信受信時
 - ・ 異常通知受信時
 - ・ 位相差板警告(異常)発生時

1 投写中に【Menu】ボタンを押します。

2 [初期化]から[リフレッシュモード]を選択し、【↵】ボタンを押します。



[Esc]:戻る [◆]:選択 [↵]:決定

[Menu]:終了

3 [時間]を選択し、【↵】ボタンを押します。



[Esc]:戻る [◆]:選択 [↵]:決定

[Menu]:終了

4 【▲】【▼】ボタンで時間を設定し、【↵】ボタンを押します。

5 [開始]を選択し、【←】ボタンを押します。

6 [はい]を選択し、【←】ボタンを押します。

光源キャリブレーション

光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスが補正されます。定期的に行うことをお勧めします。



- 使用時間が100時間を経過するたびに、電源オフと同時に自動で光源キャリブレーションが開始します。ただし、24時間以上連続して使用する場合や定期的にダイレクトシャットダウンを使用する場合は、自動で開始されません。[今すぐ実行]で実行、またはスケジュール機能で[光源キャリブレーション]を設定し、定期的に光源の補正をしてください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション]p.113
 - ☛ 「イベントスケジュールを設定する」 p.71
- 光源キャリブレーションを自動で開始したくない場合は、[定期的に行う]を[オフ]に設定してください。
 - ☛ [初期化]-[光源キャリブレーション]-[定期的に行う]p.113
- [光源キャリブレーション]を実施する20分前に電源を入れてください。



付録

Epson Projector Managementについて

Epson Projector Managementを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所においても本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク] - [通知] - [メール通知機能] p.109



- 送信先(宛先)は最大3つまで登録でき、一括して送ることができます。
- 本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- [待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。

☛ [拡張設定] - [待機モード] p.99

異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定していて本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

メール差出人：[差出人]で設定したメールアドレス

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は以下のとおりです。

- Internal error(内部異常)
- Fan related error(ファン異常)
- Sensor error(センサー異常)
- Laser error(レーザー異常/レーザー不点灯)
- Laser warning(レーザー警告)
- Retardation Plate Error(位相差板異常)
- Internal temperature error(内部高温異常/オーバーヒート)
- High-speed cooling in progress(高温警告)
- No-signal(ノーシグナル)

本機に映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。

異常/警告の対処方法は、以下をご覧ください。

☛ 「インジケーターの見方」 p.121

SNMPを使って管理する

環境設定メニューで[SNMP]を[オン]に設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されま

す。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク] - [通知] - [SNMP] p.109



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使って本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。
- 本機のSNMPエージェントはバージョン1(SNMPv1)に準拠しています。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。

ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン「:」(3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信します。

主な内容は以下のとおりです。

項目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	HDMI	SOURCE 30
	LAN	SOURCE 53
	SDプレーヤー	SOURCE 57
	スポットライト	SOURCE 58
AVミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☛ 『お問い合わせ先』

PJLinkについて

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

本機は、JBMIAが策定したPJLink Class2の規格に適合しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352(UDP)です。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

☛ 「ネットワークメニュー」 p.102

PJLink Class2で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL : <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

● 非対応コマンド

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

● 入力端子名称および入力ソース番号

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI	32
SDプレーヤー	43
スポットライト	44
LAN	52

● 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON

● 「機種情報問合せ」で表示する機種名
EPSON EV105/EV100

Crestron Connected®について

Crestron Connected®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron Connected®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron Connected®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。(英語のみの表示となります。)

<https://www.crestron.com/products/line/crestron-connected>

Crestron Connected®の概要は次のとおりです。

● Webブラウザを利用した遠隔操作

コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

● アプリケーションソフトを利用した監視・制御

Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron Fusion®でシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。



- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron Connected®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
Epson Projector Managementのメッセージ配信機能
- [待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
☛ [拡張設定]-[待機モード] p.99

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

操作画面を表示する

操作の前に以下の点をご確認ください。

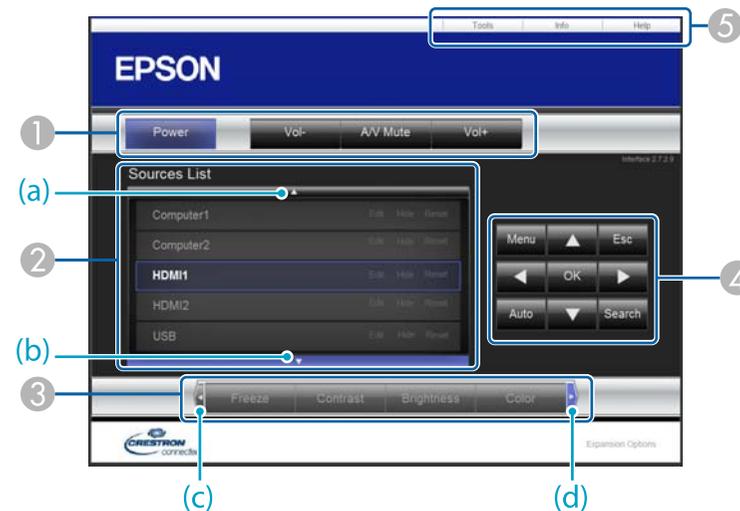
- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。
- [ネットワーク]メニューの[Crestron Connected]を[オン]に設定してください。
 ● [ネットワーク]-[その他]-[Crestron Connected] p.111

- 1 コンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードのEnterキーを押します。
Epson Web Controlのホーム画面が表示されます。



- 3 [Crestron Connected]を押します。
操作画面が表示されます。

操作画面の使い方



- 1 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。
Vol-/Vol+	音量の調整を行います。

ボタン	機能
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。  「映像と音声を一時的に消す (A/Vミュート)」 p.58

- ② クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。ソース名は任意で変更できます。
- ③ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[Q]ボタンをクリックすると、投写サイズを拡大します。[Q]ボタンをクリックすると、投写サイズを縮小します。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで拡大表示する位置を移動します。

- ④ [▲][▼][◀][▶]ボタンをクリックするとリモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

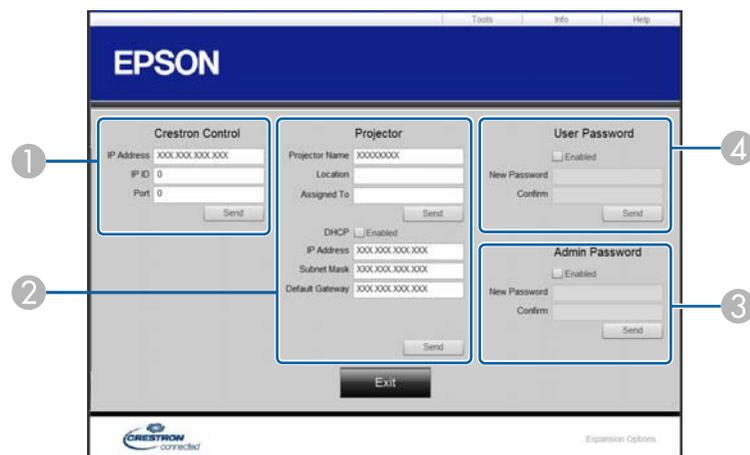
ボタン	機能
OK	リモコンの【↵】ボタンと同じ操作を行えます。  「リモコン」 p.18
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Esc	リモコンの【Esc】ボタンと同じ操作を行えます。  「リモコン」 p.18

- ⑤ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron Connected®を利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。



- ① **Crestron Control**
Crestron®の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。
- ② **Projector**
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
Projector Name	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。(半角英数字15文字以内)
Location	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意に入力します。(半角英数字記号32文字以内)
Assigned To	プロジェクターの利用者名を任意に入力します。(半角英数字記号32文字以内)
DHCP	DHCPを使用するときは、 Enabled にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。

項目名	機能
IP Address	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	Projector で変更した内容を確定するときをクリックします。

- ③ **Admin Password**
Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	Admin Password で変更した内容を確定するときをクリックします。

- ④ **User Password**
コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。 (半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	User Password で変更した内容を確定するときにクリックします。

Art-Netについて

Art-NetはTCP/IPプロトコルに基づいたイーサネット通信プロトコルです。

DMXコントローラーやアプリケーションシステムを使って本機を制御できます。

チャンネル定義

Art-Netで本機を制御するときのチャンネル定義は下記のとおりです。

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容	
1	光量調整(Dimming)	0% - 100%		0 - 255	0	映像の明るさを設定します。	
2	シャッター制御	シャッター	開	0 - 63	128	A/Vミュートを有効/無効にします。	
		無操作		64 - 191			
		シャッター	閉	192 - 255			
3	ソース切替	無操作		0 - 7	0	指定したソースに切り替えます。	
		HDMI		8 - 15			
		LAN		16 - 23			
		SDプレーヤー		24 - 31			
		スポットライト		32 - 39			
		無操作		40 - 255			
7	ズーム	(+)	レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせてズームを実行します。
				移動量 中	32 - 63		
				移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159			
		(-)	レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
				移動量 中	192 - 223		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容		
			移動量大	224 - 255			
8	電動フォーカス	(+)	レンズ調整	移動量大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
			移動量中	32 - 63			
			移動量小	64 - 95			
		無操作		96 - 159			
		(-)	レンズ調整	移動量小	160 - 191		
			移動量中	192 - 223			
			移動量大	224 - 255			
10	コンテンツ再生	無操作		0 - 3	0	指定したプレイリストを再生します。	
		Playlist1		4 - 7			
		Playlist2		8 - 11			
		Playlist3		12 - 15			
		Playlist4		16 - 19			
		Playlist5		20 - 23			
		Playlist6		24 - 27			
		Playlist7		28 - 31			
		Playlist8		32 - 35			
		Playlist9		36 - 39			
		Playlist10		40 - 43			
		Playlist11		44 - 47			
		Playlist12		48 - 51			
		Playlist13		52 - 55			
		Playlist14		56 - 59			
		Playlist15		60 - 63			

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	コンテンツ再生	Playlist16	64 - 67	0	指定したプレイリストを再生します。
		Playlist17	68 - 71		
		Playlist18	72 - 75		
		Playlist19	76 - 79		
		Playlist20	80 - 83		
		Playlist21	84 - 87		
		Playlist22	88 - 91		
		Playlist23	92 - 95		
		Playlist24	96 - 99		
		Playlist25	100 - 103		
		Playlist26	104 - 107		
		Playlist27	108 - 111		
		Playlist28	112 - 115		
		Playlist29	116 - 119		
		Playlist30	120 - 123		
		Playlist31	124 - 127		
		Playlist32	128 - 131		
		Playlist33	132 - 135		
		Playlist34	136 - 139		
		Playlist35	140 - 143		
Playlist36	144 - 147				
Playlist37	148 - 151				
Playlist38	152 - 155				
Playlist39	156 - 159				

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	コンテンツ再生	Playlist40	160 - 163	0	指定したプレイリストを再生します。
		Playlist41	164 - 167		
		Playlist42	168 - 171		
		Playlist43	172 - 175		
		Playlist44	176 - 179		
		Playlist45	180 - 183		
		Playlist46	184 - 187		
		Playlist47	188 - 191		
		Playlist48	192 - 195		
		Playlist49	196 - 199		
		Playlist50	200 - 203		
		無操作	204 - 255		
11	電源制御	電源オフ	0 - 63	128	電源をオン/オフします。
		無操作	64 - 191		
		電源オン	192 - 255		
13	ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
		操作可能	128 - 255		



Art-Netで本機を制御しながらリモコンで本機を操作すると、DMXコントローラーやアプリケーションソフトの設定と本機の状態が異なる場合があります。すべてのチャンネルの制御を本機に反映するときは、チャンネル13を一度「操作不可」に設定し、再度「操作可能」に設定してください。

Web APIについて

Web APIによってプロジェクターを操作できます。

Web APIはWebブラウザから有効にできます。

1 WebブラウザでEpson Web Controlのホームページを開きます。

2 [開発者メニュー]を押します。

3 [API有効]を[オン]にします。

☛ 「Epson Web Control (Webブラウザ) で操作する」 p.40

本機で対応しているWeb APIは以下の通りです。

URL	対応メソッド	説明
http://<ip address>/api/v01/contentmgr/remote/power/on	GET/POST/PUT	プロジェクターの電源をオンにします。 (WebAPIが応答するまでしばらく時間がかかります。)
http://<ip address>/api/v01/contentmgr/remote/power/off	GET/POST/PUT	プロジェクターの電源をオフにします。
http://<ip address>/api/v01/contentmgr/playlist/play/:id	GET/POST/PUT	指定したIDのプレイリストを再生します。 :idにはプレイリストのIDを入力してください。プレイリストのIDはホームページの[開発者メニュー]から確認できます。
http://<ip address>/api/v01/contentmgr/playlist/stop	GET/POST/PUT	現在再生しているプレイリストを停止します。

<ip address>にはプロジェクターのIPアドレスを入力してください。

例えば、IPアドレス 192.168.0.2のプロジェクターに対して、プレイリストID 3の再生を指示するURLは以下になります。

http://192.168.0.2/api/v01/contentmgr/playlist/play/3

セキュアHTTPを有効にしている場合は、URLのhttpをhttpsに変更してください。

下記のオプションを用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2018年4月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

配線ダクト取付金具(白) ELPMB54W

配線ダクト取付金具(黒) ELPMB54B

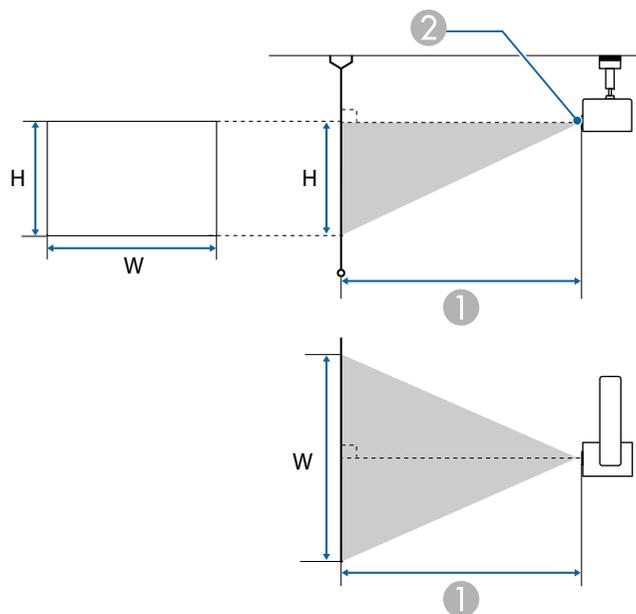
本機を配線ダクトに取り付けるときに使用します。

床置き金具(白) ELPMB55W

床置き金具(黒) ELPMB55B

本機を床に置いて使用するときを使用します。

※ 天井や壁への設置には特別な技術が必要となります。必ず専門業者にご依頼ください。



- ① 投写距離
- ② レンズ中心

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)
29型	63x39	85 ~ 136
30型	64x40	88 ~ 141
40型	86x54	118 ~ 189
50型	108x67	149 ~ 237
60型	129x81	179 ~ 285
80型	172x108	239 ~ 381
100型	215x135	300 ~ 476
120型	258x162	360 ~ 572

16:10スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)
133型	286x179	400 ~ 634
150型	323x202	451 ~ 716

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)
25型	51x38	83
30型	61x46	100 ~ 160
40型	81x61	134 ~ 214
50型	102x76	169 ~ 268
60型	122x91	203 ~ 323
80型	163x122	271 ~ 431
100型	203x152	340 ~ 540
120型	244x183	408 ~ 648
133型	270x203	453 ~ 719
150型	305x229	511 ~ 811
200型	406x305	682 ~ 1082

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)～最長(テレ)
28型	62x35	84
30型	66x37	91 ~ 145
40型	89x50	122 ~ 194
50型	111x62	153 ~ 243
60型	133x75	184 ~ 293

16:9スクリーンサイズ		①
		最短(ワイド)～最長(テレ)
80型	177x100	246 ~ 391
100型	221x125	308 ~ 490
133型	294x166	411 ~ 652
150型	332x187	464 ~ 736
200型	443x249	619 ~ 982
250型	553x311	775 ~ 1228

※ アスペクト比が16:9のときは、投写映像の上端がレンズ中心からずれます。

プロジェクターのパネル解像度より大きな解像度の信号を入力したときは、画質が劣化する場合があります。

チェックマークが入っている信号に対応しています。

信号タイプ	信号フォーマット	解像度(Dot)		V Sync(Hz)	HDMI			
					RGB(8bit)	YCbCr (8bit)		
						4:4:4	4:2:2	4:2:0
PC	VGA	640	480	60	✓			
				72				
				75				
				85				
	SVGA	800	600	60	✓			
				72				
				75				
				85				
	XGA	1024	768	60	✓			
				70				
				75				
				85				
	WXGA	1280	768	60				
				60	✓			
		1280	800	75				
				85				
	1366	768	60	✓				
	WXGA+	1440	900	60	✓			
				75				
85								
WXGA++	1600	900	60	✓				
SXGA	1280	960	60	✓				

信号タイプ	信号フォーマット	解像度(Dot)		V Sync(Hz)	HDMI					
					RGB(8bit)	YCbCr (8bit)				
						4:4:4	4:2:2	4:2:0		
				75						
				85						
				1280	1024	60	✓			
				75						
				85						
	SXGA+	1400	1050	60	✓					
				75						
	WSXGA+	1680	1050	60	✓					
	UXGA	1600	1200	60	✓					
	1920x1080	1920	1080	50						
				60						
	WUXGA RB※	1920	1200	60	✓					
SD	SDTV (480i)	720	480	60	✓	✓	✓			
	SDTV (576i)	720	576	50	✓	✓	✓			
	SDTV (480p)	720	480	60	✓	✓	✓			
	SDTV (576p)	720	576	50	✓	✓	✓			
HD	HDTV (720p)	1280	720	50	✓	✓	✓			
				60	✓	✓	✓			
	HDTV (1080i)	1920	1080	50	✓	✓	✓			
				60	✓	✓	✓			
	HDTV (1080p)	1920	1080	24	✓	✓	✓			
				30	✓	✓	✓			
				50	✓	✓	✓			
60				✓	✓	✓				

※ VESA CVT-RB (Reduced Blanking)準拠

本機仕様

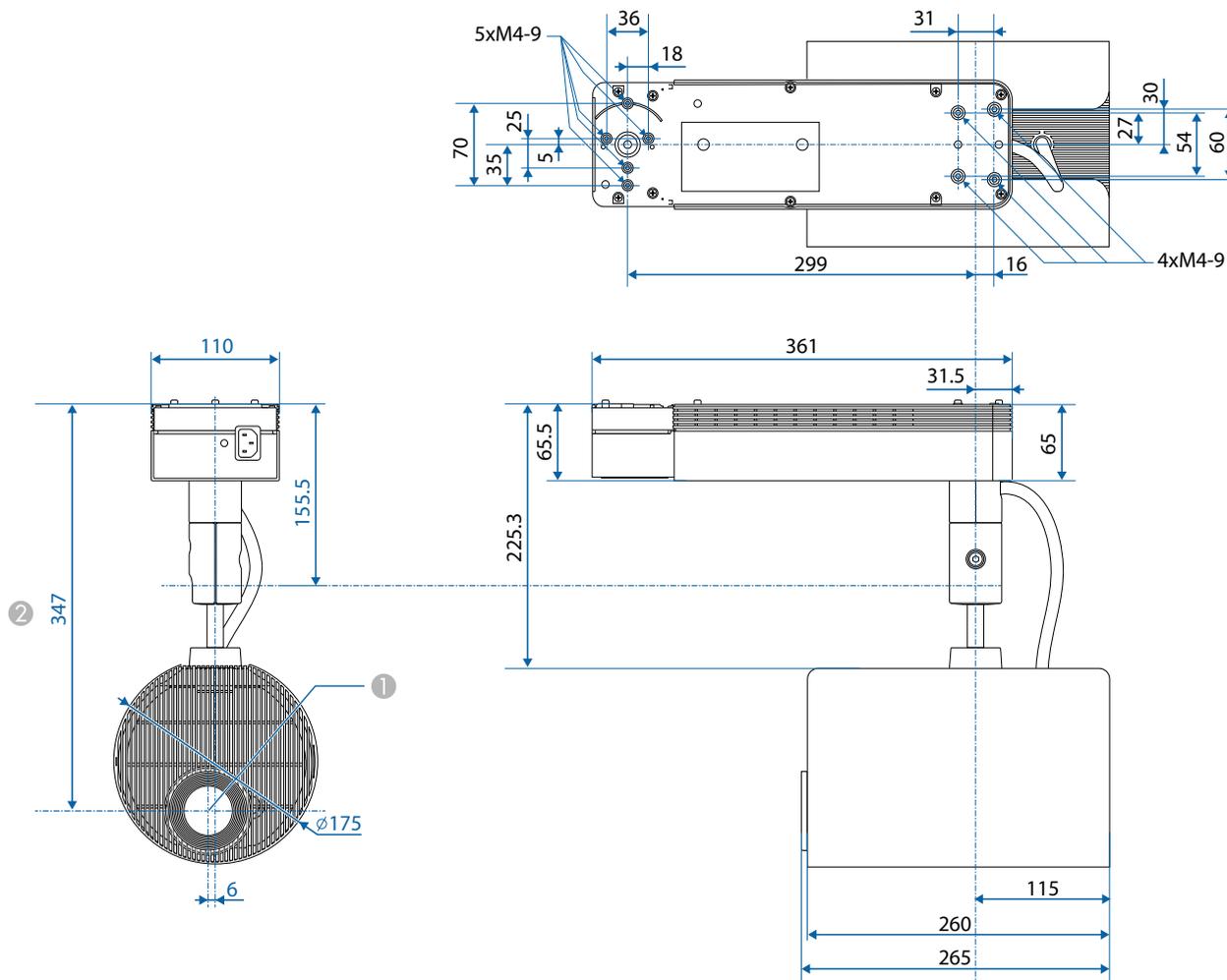
商品名	EV-100(白) EV-105(黒)	
外形サイズ	映像投写部：直径175x奥行260mm 電源部：幅361x奥行110x高さ65mm(電源アダプターカバー含まず) 電源部：幅459x奥行110x高さ65mm(電源アダプターカバー含む)	
液晶パネルサイズ	0.59型ワイド	
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス	
画素数	1,024,000個 WXGA(横1280x縦800ドット)x3	
フォーカス調整	電動	
ズーム調整	電動(1-2.21) (光学1-1.58、デジタル1-1.4)	
光源	レーザーダイオード	
光源出力	最大88W	
波長	440-460nm	
光源寿命	約20,000時間(光源モード：ノーマル、静音) 約30,000時間(光源モード：ロング)	
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 1.8-0.8A	
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：173W 待機時消費電力(通信オン)：2.0W 待機時消費電力(通信オフ)：0.3W
	220-240Vエリア	定格消費電力：170W 待機時消費電力(通信オン)：2.0W 待機時消費電力(通信オフ)：0.3W
動作高度	標高 0~3,048m	
動作温度範囲	+5~+40℃※(結露しないこと)	
保存温度範囲	-10~+60℃(結露しないこと)	

質量	約6.9kg(本体約5.0kg/直付け金具約1.9kg)
----	------------------------------

※ 使用する環境の温度が高くなったときは、光源の明るさを自動的に落とします。
(標高0～1,500mでは約40℃、標高1,501m～3,048mでは約35℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。)

接続端子	HDMI入力端子	1系統	HDMI HDCP対応(音声はPCMのみに対応)
	Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
	LAN端子	1系統	RJ-45
	USB端子(給電専用)	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	SDカードスロット	1系統	SDHC/microSDHC、Class10以上、最大32GB、FAT16/FAT32に対応

単位：mm



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から設置金具固定部までの寸法

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 IPアドレス ▶を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。HDCP2.2は4Kコンテンツの著作権保護規格です。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ▶走査、iはインターレース▶走査) • 画面のアスペクト比▶は16:9
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV ▶の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といえます。SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスク ▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といえます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のズレ)を合わせることを同期を合わせるといえます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターの IPアドレス ▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標と著作権について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、iOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edge、Windows Media、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Android、Chrome、Chromebook、Google Playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

 SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Crestron、Crestron Connected、Crestron RoomView、Crestron Fusion は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Art-Net™ Designed by and Copyright Artistic Licence Holdings Ltd.

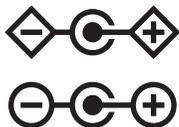
Extron® and XTP® are registered trademarks of Extron Electronics.

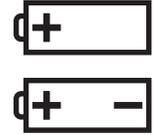
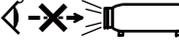
本製品には、RSA Security Inc.のRSA BSAFETMを使用しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEは、米国およびその他の国におけるRSA Security Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2018. All rights reserved.

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	意味
①		IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No.5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
⑧		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	意味
⑩		IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑪		IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑫		IEC60417 No.5017	アース No.11の使用が明示的に要請されない場合の接地(アース)端子であることを示す。
⑬		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
⑯		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
⑰		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
⑱		---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
⑲		---	プロジェクターの上にものを置いてはならないことを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	意味
20		ISO 3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
21		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
22		IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
23		ISO 3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
24		IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを指示する。
25		IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
26		---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止

数字・アルファベット

A/Vミュート	58
Art-Net	111, 150
Audio Out端子	17
Crestron Connected	111, 145
DHCP	106, 109
Epson iProjection	40
Epson Projector Management	143
Epson Web Control	40
ESC/VP21	144
Event ID	113
HDMI入力端子	17
IPアドレス	106, 109
LAN端子	17
PJLink	144
PJLinkパスワード	104
QRコード	86
Quick Corner	51, 98
SDカード	38
SDカードスロット	17
SMTPサーバー	110
SNMP	143
USB-A端子	17
WEB API	154
Webサーバー証明書	88, 111
Web制御パスワード	104

ア

明るさ	96
明るさ設定	53
アクセスポイント検索	107
アスペクト	54, 97
一括設定機能	115

色合い	96
色の濃さ	96
インジケータ	16, 121
映像メニュー	97
エッジブレンディング	62, 101
エフェクト	45
オートパワーオン	100
オーバーヒート	123
音量	57, 98

カ

解像度	158
拡張設定メニュー	99
各部の名称と働き	15
画質メニュー	96
カラー調整	55, 97
カラーフィルター	46
カラーマッチング	67, 101
カラーモード	52, 96, 101
環境設定メニュー	92
基本設定メニュー	104
吸気口	15
形状フィルター	45
ゲートウェイアドレス	106, 109
言語	101
光源キャリブレーション	6, 113, 141
高地モード	100
コンテンツ再生	98
コントラスト	96

サ

サブネットマスク	106, 109
直付け金具固定部	18

シャープネス	96
仕様一覧	160
情報メニュー	112
初期化メニュー	113
シリアル番号	113
ズーム	49
スクリーンサイズ	156
スケジュール	71
スケジュール設定画面へ	101
スタートアップスクリーン	99
ステータス	113
スポットライト	37
セキュアHTTP	88, 111
設置モード	100
設定メニュー	98
全初期化	114
掃除	139
その他メニュー	111
ソフトキーボード	103

タ

対応解像度	158
待機モード	100
台形補正	49, 98
ダイナミックコントラスト	54, 97
ダイレクトパワーオン	100
タテヨコ補正	50, 98
通知メールアドレス1/2/3	110
通知メニュー	109
テストパターン	48, 98
電源アダプターカバー	16
電源端子	16
電池の交換方法	26

同期再生	69
同期情報	112
動作温度範囲	160
動作設定	100
投写距離	156
トラップIPアドレス1/2	110

ナ

入力解像度	112
入力信号	112
入力ソース	112
ネットワーク情報	102
ネットワーク設定画面	103
ネットワークメニュー	102

ハ

排気口	16
配線ダクト取付金具固定部	18
パスワードプロテクト	73
日付&時刻	30, 100
表示設定	99
表示倍率	97, 101
ピント	49
フォーカス	49
プレイリスト	38
プロジェクター	34, 35
プロジェクターID	61
プロジェクターキーワード	104
プロジェクター名	104
フロント	100
ポート番号	110
ボールジョイント	15
保存温度範囲	160

ホワイトバランス	97
本機の掃除	139

マ

マルチプロジェクション	60, 101
無線LANメニュー	105
明度	47
メール通知機能	110, 143
メールの見方	143
メッセージ配信	111
メッセージ表示	99
メニュー	92
モデレーターパスワード	104

ヤ

ユーザーボタン	98
ユーザーロゴ	70
有線LANメニュー	108
優先ゲートウェイ	111
床置き金具固定部	18
ユニフォーミティ	65, 99, 101

ラ

リア	100
リフレッシュレート	112
リフレッシュモード	113, 140
リモコン	18
リモコン受光部	16